

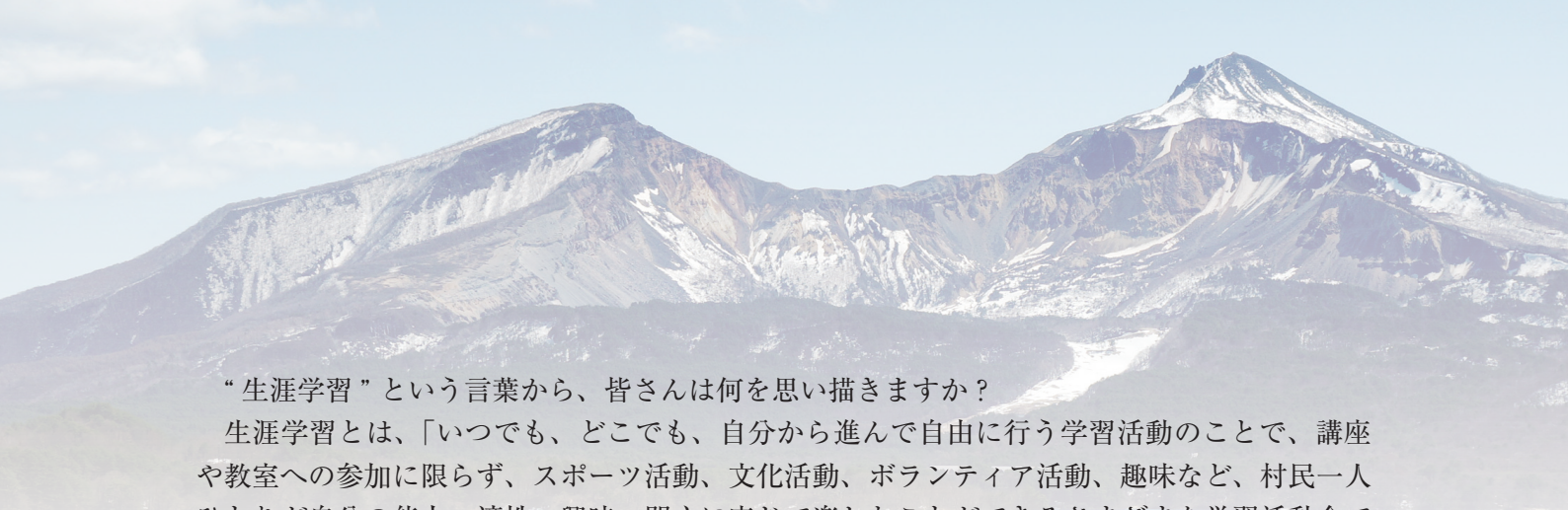


2018-2027年度
第四次北塩原村
生涯学習推進計画

北塩原村生涯学習推進本部
平成30年3月



2018 - 2027
第四次北塩原村
生涯学習推進計画



“生涯学習”という言葉から、皆さんは何を思い描きますか？

生涯学習とは、「いつでも、どこでも、自分から進んで自由に行う学習活動のことで、講座や教室への参加に限らず、スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、趣味など、村民一人ひとりが自分の能力・適性・興味・関心に応じて楽しむことができるさまざまな学習活動全てのこと」と、私は考えます。

生涯学習活動を楽しむということは、村民の皆さんの大切な人生を心豊かに生きがいのある充実したものにするにはもちろん、学びを通じた仲間づくりや、学習成果を活かした地域づくりなど、人と人が互いに尊重し合い、交流を深めながら住みよい豊かな地域社会づくりに大きな役割を果たすことが期待されています。

現在、我が国では、過疎化や家族形態の変容、価値観やライフスタイルの多様化等により、地域における人間関係の希薄化や人々の孤立が指摘されています。その一方で、東日本大震災の影響もあり、個々人が、積極的に社会活動に参画し、他者と協働しながら、主体的に「互助（ごじょ）・共助（きょうじょ）」による活力ある地域づくりに貢献していこうという意識の高まりを見せています。

このような状況の中で、地域住民の協働による地域課題の解決や活性化などの地域づくりの取組みを促進するためには、生涯学習を通じて得た知識や知恵を生かして社会参画や社会貢献の活動につなげる仕組みづくりが重要となっています。

「第四次北塩原村生涯学習推進計画」は、このような環境の変化に適切に対応し、村の生涯学習施策を一層総合的、計画的に推進するための指針として、「北塩原村第五次総合振興計画」との整合性を図り策定するものです。

「気づきから 学び・つながり 未来を築く」を基本理念とし、“学べる”・“活かせる”・“つながる”の3つの視点で基本施策を体系化しました。これを踏まえ、生涯学習機会の拡充に加え、地域コミュニティの活性化や、地域の教育力の向上に向けて、生涯学習によるむらづくりを進めてまいります。

結びに、この計画の策定にあたりまして、貴重なご意見をいただきました生涯学習推進会議委員の皆さまをはじめ、アンケート調査にご協力をいただきました村民、社会教育関係団体、学校関係者の皆さまに心からお礼を申し上げ、あいさついたします。

平成 30 年 3 月

北塩原村生涯学習推進本部長
北塩原村長 小椋 敏一



目次 index

北塩原村 村の歌〔作詞・作曲 小椋佳（裏磐梯観光大使）〕	6
僕の誇り〔作詞・作曲 普天間かおり（裏磐梯観光大使）〕	6

第1章 第四次北塩原村生涯学習推進計画策定の趣旨

1 北塩原村の特色ある生涯学習	8
2 生涯学習とは	11
3 計画策定の趣旨	11
4 計画の位置づけ	12

第2章 現状と課題

1 村の概要	14
2 村の生涯学習の現状	16
3 村の生涯学習施策	20
4 第三次北塩原村生涯学習推進計画の成果と課題	23

第3章 基本構想

1 基本理念	28
2 村が目指す生涯学習社会	29
3 基本方針	30
4 施策展開分野の設定と体系図	33

第4章 基本計画 35

- 1 《学べる》～すべての村民が学べる環境づくり～ 36
- 2 《活かせる》～学んだ成果を活かせる地域社会の実現～ 41
- 3 《つながる》～地域の教育力向上とつながる地域社会の構築～ 44
- 4 基本施策等の目標値 47

第5章 計画の推進と進行管理 49

- 1 計画の推進体制 50
- 2 計画の進行管理 51

資料編 53

- 北塩原村生涯学習推進計画策定の体制及び各種委員名簿 54
- 村民アンケート調査報告書 59
- 団体アンケート調査報告書 85
- 青少年アンケート調査報告書 93

北塩原村 村の歌

作詞・作曲：小椋佳（裏磐梯観光大使）

一、愛を歌おう 北塩原の

青空高く 豊かな緑
黄金^{こがね}広がる 大地の恵み
心潤^{うるお}す 四季の彩り

三、声を掛けよう 桧原^{うみ}の湖を
疲れ癒^{ふるさと}しか 故郷捜し
心和みに 訪ねる人に
湖沼^{こしよ}渡りの そよ風送り

二、勇み励もう 裏磐梯の

山の雄姿を 瞳に映し
夕陽^{つむ}に紡ぐ 豊かな暮らし
村人熱く 皆睦^{むつ}み合い

四、夢を抱^{いだ}こう 大塩川の
澄んだ流れに 心を洗い
薬師の森に 未来を誓い
仰ぐ夜空は 満点の星

僕の誇り

作詞・作曲：普天間かおり（裏磐梯観光大使）

一、おじいちゃんとおばあちゃんが 生まれたところ

お父さんとお母さんが 出逢ったところ
そして僕が泣いて笑って 過ごすこの場所は
世界で一つだけの 大切なふるさと
春の朝は鳥と歌い 夏の月を映す水鏡
君に見せたい景色があるんだ ガイドブックには載らなくたって
数え切れない 思い出たちも
僕の誇り 僕のふるさと

二、いつか僕が大人になって どこか遠い街へと

旅立って行くとしても 決して忘れない
秋の夕日色付く森 冬に光る雪の山並みを
君に見せたい景色があるんだ ギネスブックには載らなくたって
もしも心が折れそうなとき おかえりなさいと 迎えてくれるだろう
僕の誇り 僕のふるさと（繰り返し）

第1章

第四次北塩原村生涯学習推進計画 策定の趣旨

1. 北塩原村の特色ある生涯学習
2. 生涯学習とは
3. 計画策定の趣旨
4. 計画の位置づけ



第1章 第四次北塩原村生涯学習推進計画策定の趣旨

ふるさどを知ること 自分自身を知ること

ふるさどを愛することは 自分自身を愛すること

だから・・・

ふるさどに遊び・学び ふるさどへの 自信と誇りを 持ち続けたい

1 北塩原村の特色ある生涯学習

ここでは、北塩原村の魅力や特徴的な生涯学習事業・施設などを紹介します。

(1) 村民が考える村の魅力ランキング

はじめに、今回行った村民と青少年を対象にしたアンケート調査の中で、村民自身が「自慢したい・残したい・伝えたい」北塩原村の魅力ランキングの結果は以下のとおりでした。

村 民			青 少 年		
ランキング	カテゴリ	票数	ランキング	カテゴリ	票数
第1位	自然	173	第1位	自然	174
第2位	食べもの	53	第2位	食べもの	76
第3位	イベント	26	第3位	イベント	52
第4位	人	20	第4位	人	19
第4位	祭	20	第5位	施設	12

※第6位以下は省略。詳細は、本書資料編の各アンケート調査報告書に掲載。

※村民アンケート（20歳以上の男女対象）での票数の合計は“325”。

これは、村民アンケート有効回収122人から北塩原村ベスト5を挙げてもらった際の合計数。

※青少年アンケート（小学5・6年生と中学生）での票数の合計は“351”。

これは、青少年アンケート有効回収126人から北塩原村ベスト3を挙げてもらった際の合計数。

偶然にも、第1位から第4位までは、20歳以上の村民の方と青少年の回答が同じ順位となりました。特に、第1位の“自然”は、全票数の半数以上を占めており、村民が世代を超えて村の自然に対し魅力・誇り・愛着を抱いていることを示す結果となりました。

ずーっとここに
住んでいたい

楽しいイベントが
たくさん

おいしいものが
たくさん

村を守って
いきたい

住み心地
がいい

きれいな景色を
みていたい

安心
できる村

家族との
時間を大切に
したい

自然



裏磐梯が有する雄大な自然はもちろん、会津盆地の眺めや棚田、澄んだ空気なども挙がっています。

食べもの



平成19年から生産が始まった山塩や桧原地区で出荷される高原野菜が人気です。

イベント



裏磐梯地区を中心に行われているイベントのほか、きたしおばら交流フェスタや学校と地域の合同イベントが挙げられました。

人



村民の人柄や温かさに惹かれている回答が多くありました。また、世代を超えたつながりの強さや助け合いの心など、協調性・協力性の素晴らしさが挙げられています。

(2) 特色ある主な生涯学習事業

① 学校・幼稚園・地域合同の運動会と文化祭

- ・[北塩原村の学社連携]=[運動会・文化祭]といっても過言ではない昭和50年代から長きにわたって村民に親しまれ、村全体に浸透している事業。
- ・地域の絆を育んでいることはもちろん、“地域の子どもは地域で育てる”といった考えのもと、村の家庭教育推進の一翼を担っています。



学校・幼稚園・地域合同の運動会と文化祭

② 友好都市交流事業

- ・沖縄（小6）と台湾（中2）に希望する児童・生徒が全員参加できる事業。
- ・民泊や異文化学習により自身の視野を広げ、豊かな人間性と創造性をもった青少年を育成しています。



ちびっこ探検学校（沖縄）

台湾派遣交流事業

③ きたしおばら交流フェスタ

- ・2012年度（平成24年度）から始まった全村民を対象にしたイベント。
- ・現在では約650人の村民が集まるなど、村民の5人に1人以上が参加。
- ・スポーツや文化をテーマに、世代間・地域間交流など人とのつながりを推進しています。



村民ふれあい健康マラソン大会

④ 学校の応援団（学校支援地域本部事業）

- ・学校と地域が連携して子どもへの教育を支援する事業。
- ・村民の方が持つ意欲・スキルを子どもの教育に活かすことが“やりがい”と“生きがい”にもつながっています。
- ・2016年度（平成28年度）にはその取り組みが高く評価され、文部科学大臣表彰を受賞しました。



異世代交流・茶道体験

⑤ 市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）

- ・村民らの健康づくりの一環として「走る（歩く）」ことへの動機づけや関心の高揚を図るとともに、ふくしま駅伝が地域コミュニティのツールとして「集う」ことを推進する事業。
- ・地域住民や学校、家庭、関係団体、スポーツ少年団の子ども達など村が一体となって事業に取り組んでおり、その輪が広がっています。
- ・競技力のみならず、感謝の気持ちをもつ大切さや社会との関わりを通して、選手らの人格形成にもつながっています。



ふくしま駅伝大会

⑥ 磐梯山ジオパーク

- ・県内唯一の日本ジオパーク。※全国にある43地域の一つ。
- ・当エリアの最大の地質的特徴である“岩なだれ”が人々の生活や経済、歴史に与えた影響と、そこで育まれた独自の文化を感じ、学ぶことができます。



ジオパーク出前授業

(3) 特色ある主な施設・環境

① 北塩原村生涯学習センター

- ・旧大塩小学校の廃校利用として整備され、2014年（平成26年）4月に供用が開始されました。
- ・複数にまたがる機能を有する施設として、村民間の交流が図れる施設となっています。



生涯学習センター

- ◎地域コミュニティ機能→ラウンジルームや図書スペース、情報提供スペース
- ◎活動スペース機能→多様な状況に対応した自主活動ルーム
- ◎文化振興機能→村文化財の展示のほか、企画展などによる文化・芸術作品の展示
- ◎スポーツ機能→いつでも・だれでも・気軽にランニングやグラウンドゴルフができる多目的広場
- ◎防災拠点機能→災害時における地域防災拠点としての機能も有しています。

② ラビスパ裏磐梯

- ・天然温泉や温水プールを利用することができる全天候型の施設。
- ・フィットネスジムも有しており、施設の特徴を生かした学習が行われるなど、村民のレクリエーション施設として親しまれています。



ラビスパ裏磐梯

③ トレッキングコース

- ・総延長80キロに及ぶ19のトレッキングコース。
- ・気軽に楽しめるウォーキングから2,000m級の登山まで多様なコースを有しています。
- ・四季折々の風景を楽しむことができることも魅力の一つです。



自然に囲まれたトレッキングコース

④ 多岐にわたるアクティビティ

- ・トレッキングコースのほか、裏磐梯のフィールドを活用したアクティビティの宝庫です。
- ・カヌー、サイクリング、スキー、写真、釣り、自然観察、ボルダリングなど、まさに多種多様。
- ・それらを生業としている村民も多く、人材の宝庫でもあり、自然体験を学ぶ環境としては県内随一。



豊富なアクティビティ (村内に3つあるスキー場)

⑤ 学校体育施設の開放

- ・村内小中学校の体育施設を、村民のスポーツ交流活動の場として開放しています。



村民への学校体育館の開放

2 生涯学習とは

生涯学習とは、乳幼児期から高齢期までのライフステージに応じて、生活の向上や仕事、地域へのかかわりなど自己の充実を目指し、自発的な意思に基づいて行うことを基本とした学習活動です。生涯学習は、一人ひとりの人生を、生きがいのある充実したものにするだけでなく、学びを通じて人と人がつながり、お互いに尊重し合い、交流を深めながら住みよい豊かな地域社会づくりに大きな役割を果たすことも期待されています。

3 計画策定の趣旨

過疎化や家族形態の変容、価値観やライフスタイルの多様化等により、地域における人間関係の希薄化や人々の孤立が指摘されています。その一方で、東日本大震災の影響もあって、個々人が、積極的に社会活動に参画し、他者と協働しながら、主体的に「互助（ごじょ）・共助（きょうじょ）」による活力ある地域づくりに貢献していこうという意識の高まりを見せています。

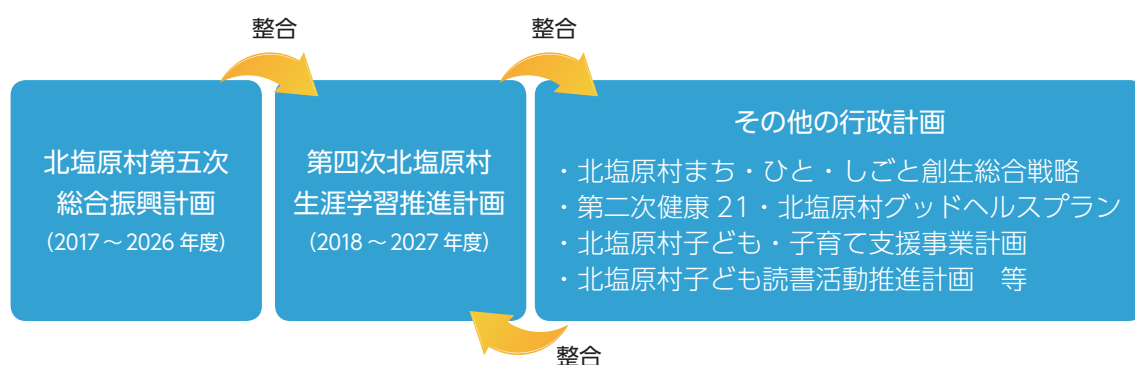
こうした状況の中で、地域住民の協働による地域課題の解決や活性化などの地域づくりの取組みを促進するためには、生涯学習を通じて得た知識などを社会参画や社会貢献の活動につなげていけるようにするための仕組みづくりが重要となっています。このような現状を踏まえ、「第三次北塩原村生涯学習推進計画」の計画期間終了に伴い、生涯学習振興のための中長期的な基本構想や基本計画を盛り込んだ「第四次北塩原村生涯学習推進計画」を策定するものです。

4 計画の位置づけ

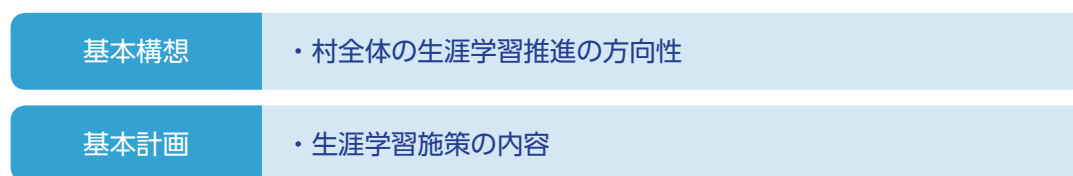
2013年（平成25年）3月に策定した第三次北塩原村生涯学習推進計画期間が2017年度（平成29年度）に終了することから、本村を取り巻く環境の変化などを踏まえ、また、本村の最上位に位置する北塩原村第五次総合振興計画に基づき、第四次北塩原村生涯学習推進計画を策定するものです。計画期間は2018年度（平成30年度）から2027年度（平成39年度）までの10年間とします。

なお、施策・事業の進捗状況、村民のニーズや社会状況の変化に柔軟に対応するため、必要に応じて見直しを行います。

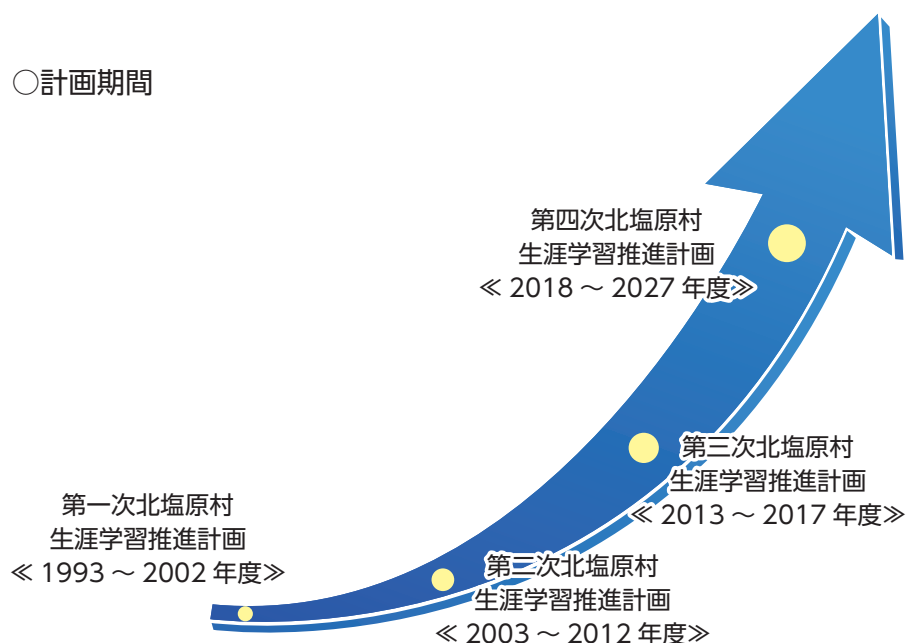
○計画の位置づけ



○計画の構成



○計画期間



第2章

現状と課題

1. 村の概要
2. 村の生涯学習の現状
3. 村の生涯学習施策
4. 第三次北塩原村生涯学習推進計画の成果と課題



第2章 現状と課題

1 村の概要

(1) 北塩原村及び近隣市町村等の人口の推移

北塩原村の人口は、1955年(昭和30年)にピークの5,468人となり、その後、減少に転じました。

1985年(昭和60年)から1995年(平成7年)にかけては、大型ホテル等の観光施設や個人宿泊業(ペンション等)の開業等により、一時的に人口も増加、1990年(平成2年)に3,812人に回復しました。しかし、その後は社会経済情勢の影響等もあり、転入の流れも弱まって、転出超過となり、2005年(平成17年)に3,475人、2010年(平成22年)に3,185人、2015年(平成27年)に2,831人と推移しています。

2015年(平成27年)国勢調査によると、福島県の人口は2011年(平成23年)の東日本大震災時に起きた東京電力原子力発電所の事故の影響を受け、200万人を大きく下回っています。

●近隣市町村等の人口の推移(国勢調査)

(単位：人、%)

	2005	2010	2005⇒2010 増減率	2015	2010⇒2015 増減率
福島県	2,091,319	2,029,064	△ 3.0	1,914,039	△ 5.7
福島市	297,357	292,590	△ 1.6	294,247	0.6
会津若松市	131,389	126,220	△ 3.9	124,062	△ 1.7
郡山市	338,834	338,712	△ 0.0	335,444	△ 1.0
喜多方市	56,396	52,356	△ 7.2	49,377	△ 5.7
北塩原村	3,475	3,185	△ 8.3	2,831	△ 11.1
西会津町	8,237	7,366	△ 10.6	6,582	△ 10.6
磐梯町	3,951	3,761	△ 4.8	3,579	△ 4.8
猪苗代町	17,009	15,805	△ 7.1	15,037	△ 4.9

(2) 北塩原村の人口及び世帯数の推移

世帯数は、1985年（昭和60年）に926世帯でした。その後の大型ホテル開業に伴う従業員の転入、松陽台団地や村営住宅の整備、供用により増加したものの、近年は減少傾向にあります。

2015年（平成27年）の世帯数は1,008世帯、平均世帯人数は2.71人となり、ともに減少傾向にあります。5～6人の世帯が減少するなか、2人世帯が増加するなど、進学や就職を契機に村で生まれ育った若者が転出し、親世代のみとなる傾向がみられます。

●人口及び世帯数の推移（国勢調査）

（単位：人、世帯）

年	人口			世帯数	一般世帯						その他世帯	1世帯当り
	総数	男	女		総数	1人	2人	3～4人	5～6人	7人以上		
1990	3,812	1,865	1,947	994	992	158	184	282	233	135	2	3.84
1995	3,859	1,893	1,966	1,188	1,188	347	208	287	241	105	0	3.25
2000	3,644	1,783	1,861	1,094	1,093	261	231	291	215	95	1	3.33
2005	3,475	1,718	1,757	1,106	1,103	288	238	323	186	68	3	3.15
2010	3,185	1,590	1,595	1,052	1,049	242	270	332	152	53	3	3.04
2015	2,831	1,434	1,397	1,008	1,004	248	284	325	110	37	4	2.71

人口年齢構造を2010年（平成22年）と2015年（平成27年）とで比較してみると、0～14歳人口は91人の減、15～64歳人口も271人も減となっています。

65歳以上人口は8人の増と微増ですが、14歳以下、15～64歳人口の減もあり、少子高齢化の進行が懸念されます。

●人口（年代別）の推移（国勢調査）

（単位：人）

年	合計	0～14歳	15～64歳						65歳～		
			小計	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～64歳	小計	65～74歳	75歳～
1990	3,812	744 19.5%	2,377 62.4%	204	325	547	472	829	691 18.1%	430	261
1995	3,859	640 16.6%	2,359 61.1%	253	404	414	619	669	860 22.3%	549	311
2000	3,644	521 14.3%	2,197 60.3%	236	377	388	543	653	926 25.4%	519	407
2005	3,475	439 12.6%	2,101 60.5%	193	357	312	447	792	935 26.9%	411	524
2010	3,185	415 13.0%	1,879 59.0%	129	280	304	371	795	891 28.0%	345	546
2015	2,831	324 11.4%	1,608 56.8%	116	193	279	300	720	899 31.8%	399	500
	増減	▲91	▲271	▲13	▲87	▲25	▲71	▲75	+8	+54	▲46

2 村の生涯学習の現状

(1) 村民

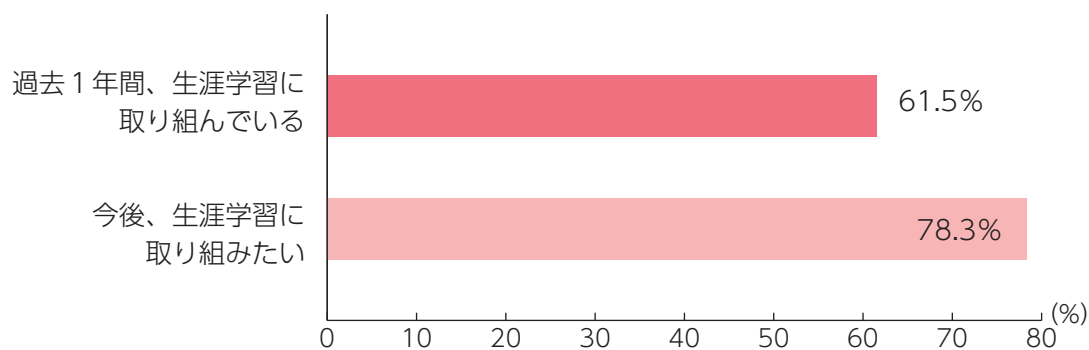
今回実施しました村民アンケート調査によると、過去1年間に生涯学習に取り組んだ人は61.5%です。今後取り組みたいと考える人は78.3%で、多くの村民が生涯学習に取り組むと考えています。

取り組んだ内容は「スポーツやレクリエーション活動」「趣味に関すること」「行政区や地域団体での活動」をはじめ多様な分野にわたっています。生涯学習の目的については「健康や体力づくりのため」「仕事や家事以外で生きがいを持つため」「人間関係を豊かにするため」が多くなっています。

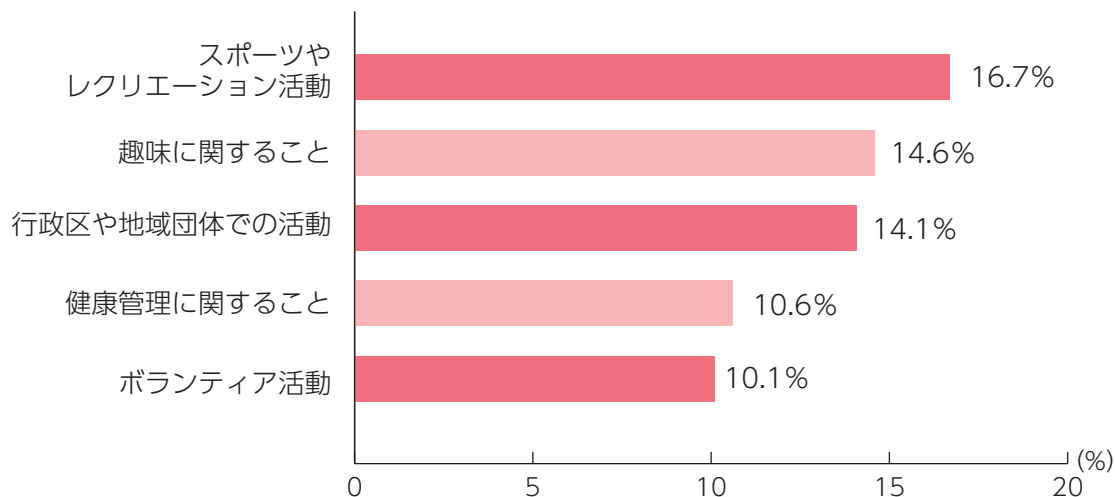
生涯学習に取り組むとき問題となる点について、「時間に余裕がない」「希望する内容のものがない」などがあがっています。

また、村民の週1回以上の運動やスポーツ実施率は41.3%で、文化的な活動の実施率は14.7%です。村民の月1回以上の文化的な活動の実施率は33.7%です。

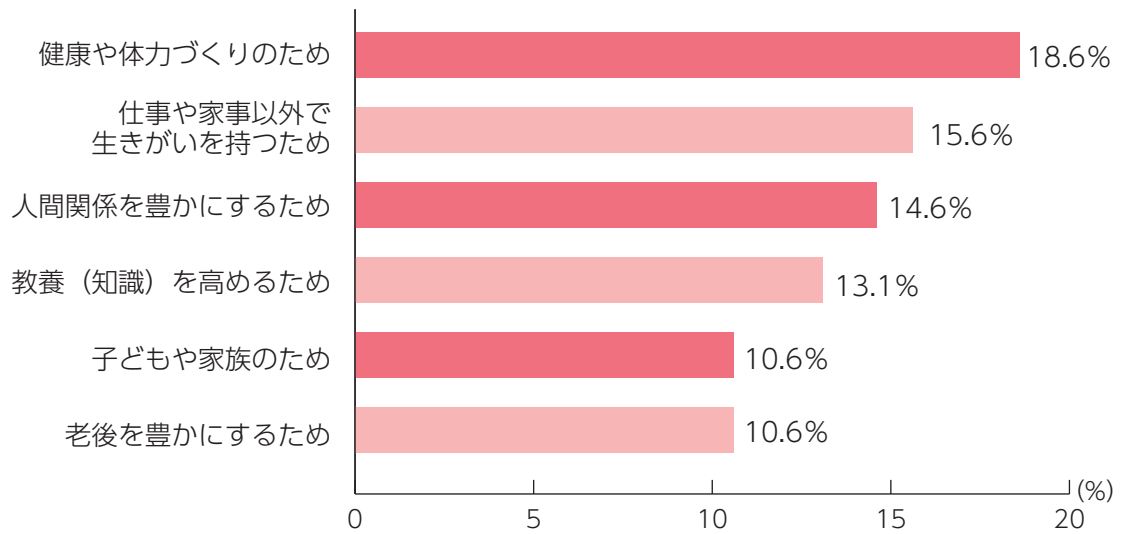
① 生涯学習の取り組み状況と今後の意向〔※資料編 P64 問6・P69 問9-1 参照〕



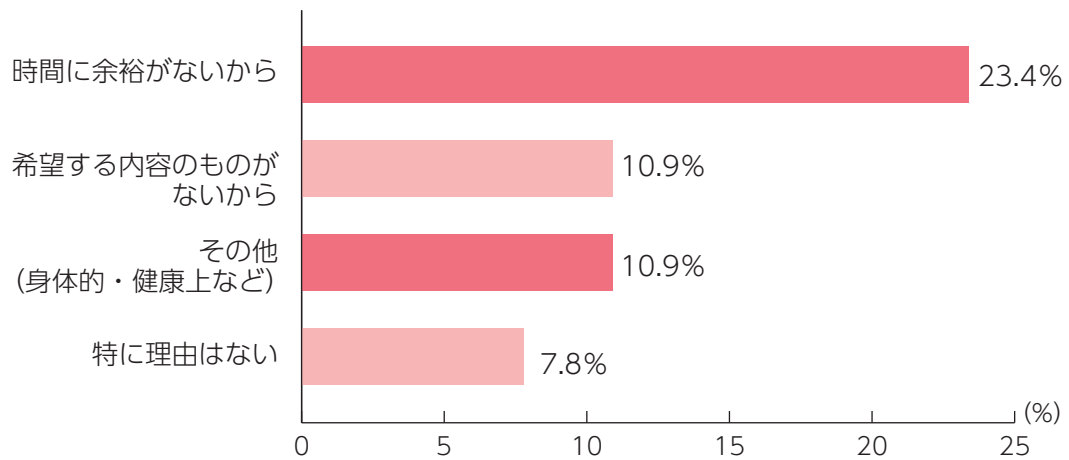
② 取り組んだ分野（上位5項目）〔※資料編 P65 問7-1 参照〕



③ 生涯学習の目的（上位6項目）〔※資料編 P65 問 7-2 参照〕

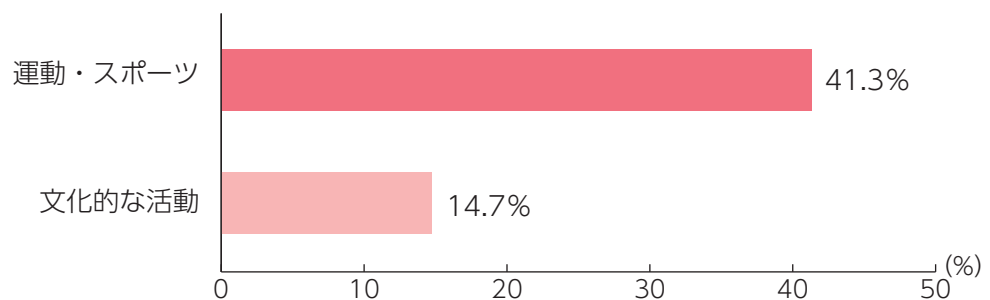


④ 生涯学習を行う上で問題となること（上位4項目）〔※資料編 P69 問 8 参照〕



⑤ 村民の週1回以上の運動・スポーツ及び文化的な活動の実施状況

〔※資料編 P78 問 19-1・P79 問 20-1 参照〕

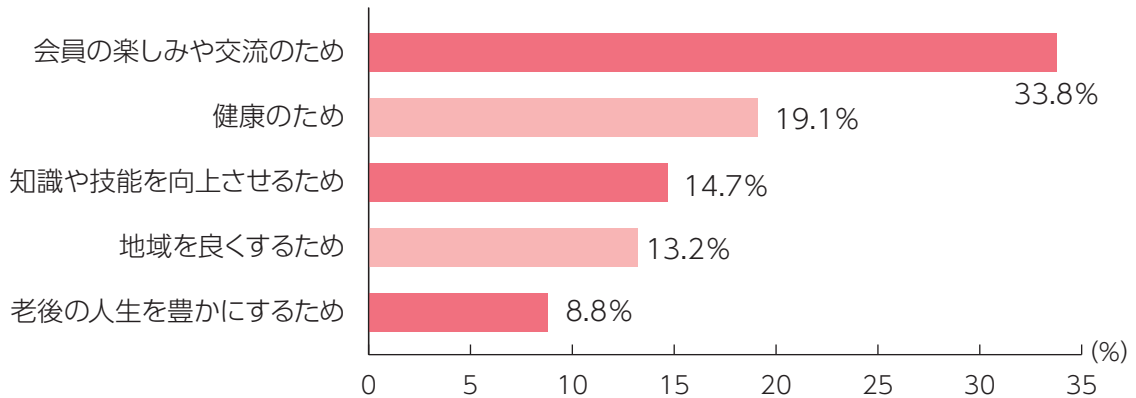


(2) 団体

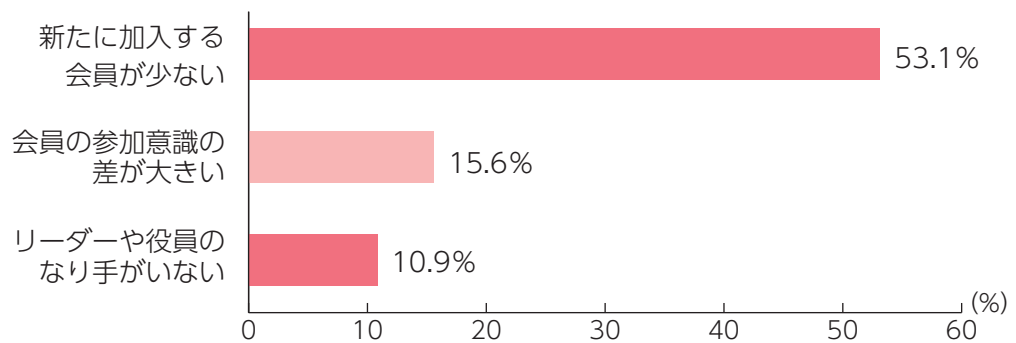
今回実施しました団体アンケート調査によると、活動目的は「会員の楽しみや交流のため」「健康のため」「知識や技能を向上させるため」などが多く、活動をする中での課題は、「新たに加える会員が少ない」「会員の参加意識の差が大きい」「リーダーや役員のなり手がいない」など、メンバーに関する課題が上位となっています。

村民アンケート調査で行った村体育協会や村文化団体連絡協議会の存在や活動内容を知らない人は73.5%で、加入したいと思わない人は69.3%です。その主な理由は「どんな活動をしている団体があるのかわからない」「いつ活動しているのかわからない」などが多くなっています〔※資料編 P81 問 21-3 参照〕。

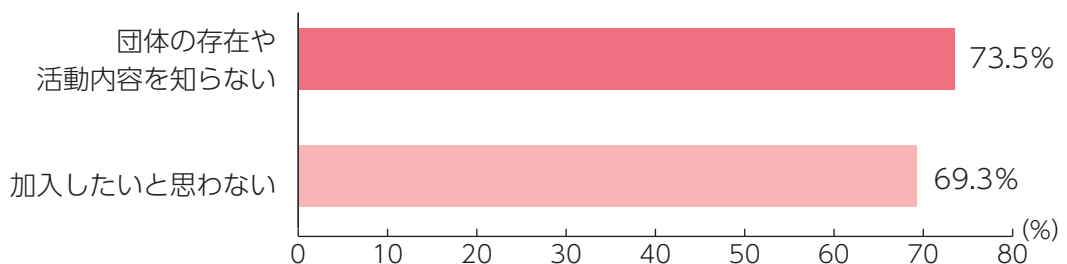
① 活動目的（上位5項目）〔※資料編 P89 問 7 参照〕



② 活動をする中での課題（上位3項目）〔※資料編 P89 問 8 参照〕



③ 団体の認知度と加入の意向〔※資料編 P81 問 21-1・問 21-2 参照〕



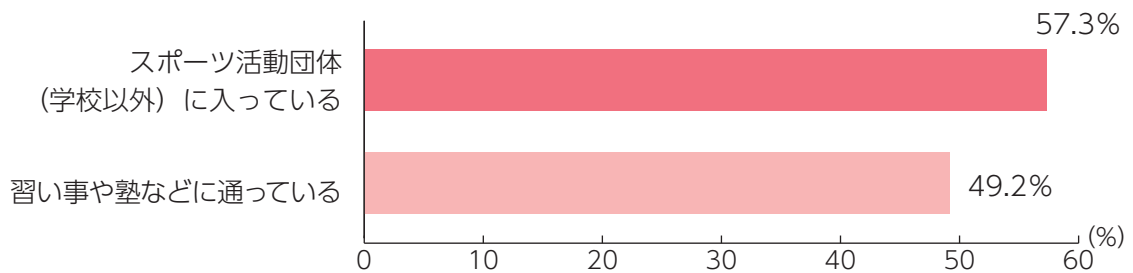
(3) 青少年

今回実施しました青少年アンケート調査によると、スポーツ少年団などのスポーツ活動団体に入っている人は57.3%で、習い事や塾に通っている人は49.2%です。

小・中学生がスポーツ活動団体に入るためには「好きなスポーツ種目の活動団体が近くになれば入りたい」「もともと興味がない」などが多くなっています。また、小・中学生が行っている習い事は「塾」「ピアノ・習字・そろばん」が多くなっています〔※資料編 P98 問 5-2 参照〕。

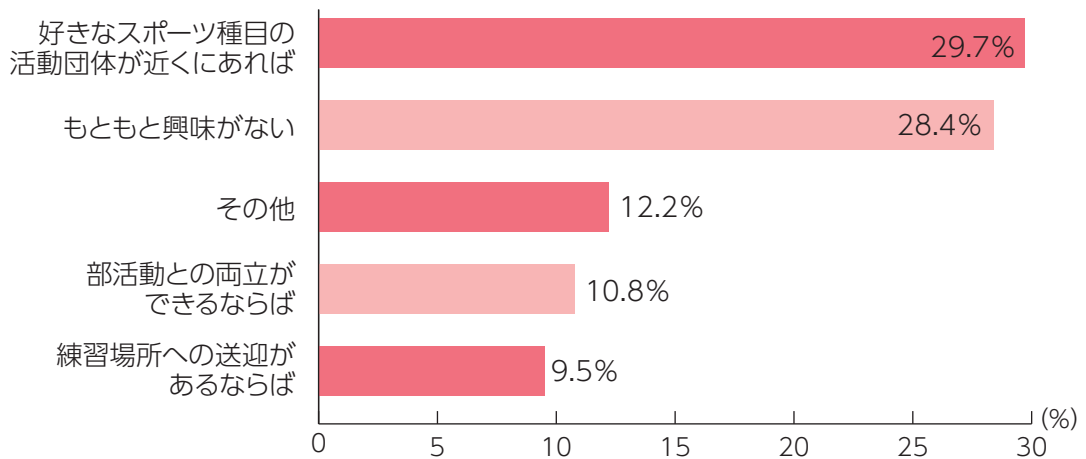
① スポーツ活動団体への加入及び習い事や塾の利用状況

〔※資料編 P96 問 4-1・P98 問 5-1 参照〕



② 小学生のスポーツ活動団体に加入する条件 (上位5項目)

〔※資料編 P97 問 4-4 参照〕



アクティブスポーツ



火の山杯スポーツ大会・バレーボール競技

3 村の生涯学習施策

(1) 事業

本村の生涯学習施策は、教育、スポーツ、文化、芸術、歴史、健康づくり、福祉、子育て支援など多様な分野にわたっています。本村の生涯学習施策のうち、主な生涯学習事業は次のとおりです。

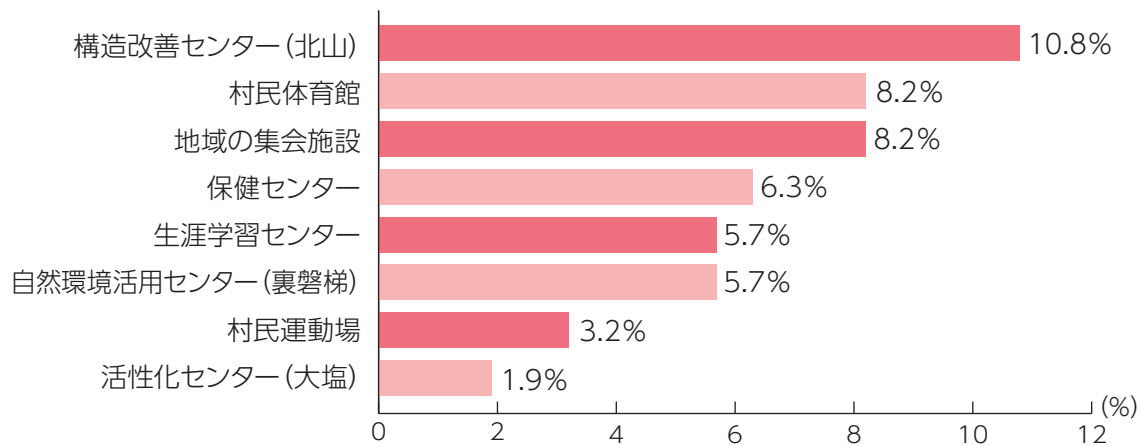
事業名	概要
村民向け各種講座等	生涯学習センターや保健センター、教育施設等において、各種講座や地域特性を活かしたスポーツ・運動教室を開催し、学習機会を提供する。
学社連携による事業	学区ごとに幼稚園・学校・地域合同による運動会と文化祭を開催。世代間交流を図る。
成人式	村内在住及び村の中学校を卒業した者の成人を祝う事業。学び舎を共にした同郷の成人者が一同に会する機会を提供する。
きたしおばら交流フェスタ	村民相互のコミュニケーションを深めるため、全村民が一堂に集う機会を設け、地域間・世代間の交流を促進する。
県内市町村対抗競技大会	駅伝・野球・ソフトボール競技について県内の市町村が一同に会する競技大会。体力向上や地域の活性化、市町村間交流を図る。
杉並区交流自治体スポーツ交流会	杉並区と交流のある自治体とスポーツ（家庭婦人バレーボール）を通じて親睦を図り、友好の輪をひろげる。
スポーツ少年団本部事業	青少年がスポーツ活動を通して交流・連携を図り、心身の健全な育成に資する。
学校の応援団	地域住民が子ども達を「地域で見守り・地域で育てる」事業。地域住民の特技等を活かすことができる場となることで「生きがい」づくりにもつなげる。
文化財保存利活用事業	村の歴史や文化、自然などの文化財の保存調査整備を行い、講演会や展示、工芸体験を通して村の歴史資産を村内外に発信する。
地域活動や人材育成に向けた補助制度	地域づくり活動や地域コミュニティ担い手の育成に向けた補助制度を設け、村民の主体的な参画を促す。
生涯学習カレンダーの制作	行政情報やイベントの開催、学校の行事予定など、各種団体等の年間を通じた情報を伝えるカレンダーを作成し、村民に周知する。
友好都市交流事業	希望する小・中学生を沖縄・台湾に派遣。異文化学習により、視野を広げ、豊かな人間性と社会性を養う。
磐梯山ジオパーク活動	磐梯山を中心に自然の楽しみ方や保全の在り方、防災や歴史・文化などに触れ、郷土の素晴らしさを再確認し、郷土愛の醸成を図る。
きたしおばら大使事業	きたしおばら大使を活用した社会教育事業の実施により、村への意識の高まりやスポーツ技術の向上を図る。
東京農業大学連携事業	大学生に村の魅力を発信することによる1ターンや新規就農者の確保、新たな作物の導入に加え、学生と村民の交流を深める。
高齢者生きがい健康づくり事業	高齢者の生きがいと健康づくりを図るため、活動への支援や発表・交流の場を提供し、元気な高齢者を増やす。

(2) 生涯学習施設

北塩原村生涯学習センターをはじめ、各地区には拠点となる生涯学習施設が整備されています。

生涯学習施設の利用経験についてアンケートを行ったところ、「自宅・友人・知人宅」「その他（近隣市町村の施設が多数）」「構造改善センター」の利用が多いです。各地区の拠点となっている「構造改善センター」「生涯学習センター」「活性化センター」「自然環境活用センター」を利用したことがある人は累計で24.1%となっており、そのうち「生涯学習センター」を利用したことがある人は5.7%となっています。どの施設においても利便性の向上や、村民へのPRに取り組む必要があります。

① この1年間の主な生涯学習施設の利用状況〔※資料編 P67 問 7-5 参照〕



ラウンジルーム（生涯学習センター）



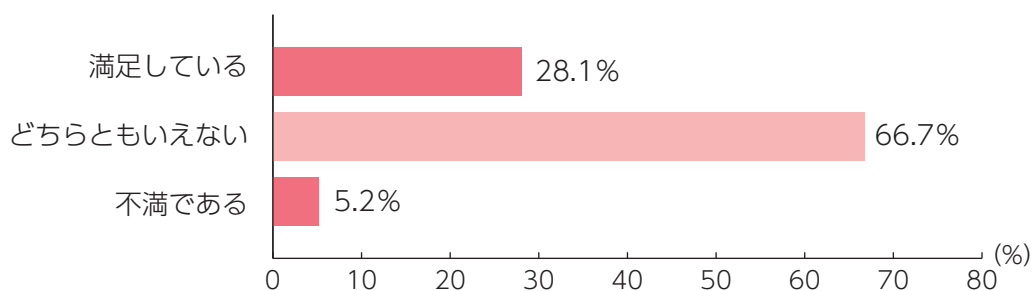
料理教室（保健センター）

(3) 村民の評価と期待

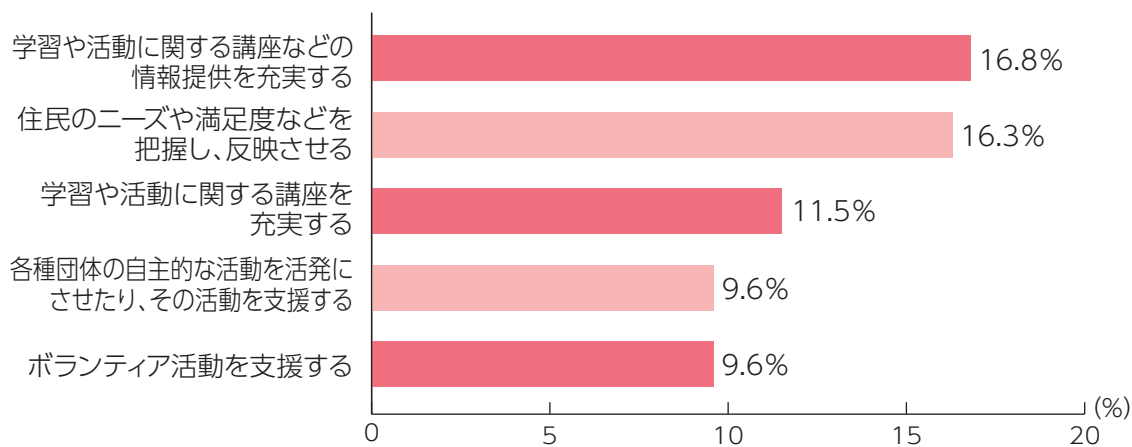
生涯学習施策の村民の満足度については、28.1%の人が「満足」しており、5.2%の人が「不満」でした。66.7%の人は「どちらともいえない」となっています。

本村が今後力を入れるべきことは、「学習や活動に関する講座などの情報提供を充実する」が最も多く、次いで「住民のニーズや満足度などを把握し、反映させる」「学習や活動に関する講座を充実する」「各種団体の自主的な活動を活発にさせたり、その活動を支援する」などが上位となっています。

① 村の生涯学習施策の満足度〔※資料編 P77 問 18 参照〕



② 村が力を入れるべきこと（上位5項目）〔※資料編 P77 問 17 参照〕



会津米沢街道歴史交流会の活動支援



北塩原村 24 時間テレビチャリティ募金活動

4 第三次北塩原村生涯学習推進計画の成果と課題

(1) 成果

① 多岐にわたる生涯学習事業の展開

村民それぞれのライフステージに応じた生涯学習事業を展開しています。幼・小・中や保育園、村内の各種団体など様々な関係機関との連携により、幼児・家庭教育の支援、青少年や成人に対する体験活動、青年層の交流促進など、本村の特性を生かした特色ある事業を構築し、推進しています。

また、一年を通してスポーツや歴史、文化的なイベントを展開しており、中でも世代間・地域間交流の促進を図ることを目的に開催している“きたしおばら交流フェスタ”には、約650人の村民が参加するなど、村民の5人に1人以上の方が参加するイベントとなっています。



きたしおばら交流フェスタ

② 交流人口の増加

スポーツや文化、体験活動等を通じた交流自治体や友好都市との交流を継続しながら、事業内容の充実を図っています。また、県内の市町村対抗による駅伝・野球・ソフトボール大会に参加することで、近隣市町村との交流につながっています。他にも、東京農業大学との連携や在京きたしおばら会の発足など、新たな事業が展開されており、多方面からの交流の輪が村内に広がっています。



市町村対抗福島県ソフトボール大会

③ 生涯学習施設の整備と運営

2014年（平成26年）4月に村の生涯学習の拠点となる北塩原村生涯学習センターの供用が開始しました。これにより、村民の生涯学習活動を促進するとともに、個人や団体、世代を超えた村民相互の交流が図られています。

また、村の文化財や歴史に関する展示会や講演会、体験学習メニュー等を開催するなど、村民が郷土について学ぶことのできる拠点としても活用されています。



展示室（生涯学習センター）

④ 連携・協働型事業への取組み

村民が個々の特性を生かし、連携・協働により教育活動を支援する“学校の応援団”の実績が年々増しており、質・量ともに充実した活動が展開されています。2016年度（平成28年度）にはこの活動が認められ、文部科学大臣表彰を受賞することができました。

他にも、地域活動の盛り上がりを促すことを目的とした“生涯学習モデル地区事業”や、若者や女性の活躍、社会参画を目的とした“若者や女性の想いをカタチに。事業”を新設するなど、若者や女性、地域が共に学びながら連携・協働によるむらづくりが図られることを目指しています。



絵本の読み聞かせ（学校の応援団）

(2) 課題

① 気軽に学習・活動できる機会

村民アンケート調査の結果から、生涯学習の必要性の高さが伺えます。その中で、学習や活動に関する講座などの情報提供や、誰でも気軽に参加できるような講座や行事の充実を望む声が多く聞かれました。

ライフスタイルや価値観の多様化を背景に、村民が今後取り組んでみたいと考える学習や活動は幅広い分野にわたっていますが、健康や体力づくりの分野は、比較的多くの村民が興味を持っており、生涯学習のきっかけづくりとしての関心が高いことが分かります。年齢別にみると、20～30歳代はスポーツやレクリエーション活動、60歳以上では趣味や健康管理に関することなど、世代で関心が異なっており、また、子育て世代は「時間に余裕がない」、高齢者は「一緒に活動する仲間が少ない」など直面している課題も様々で、関心やライフステージを踏まえて、参加の機会を充実させていくことが求められています。

また、情報の取得方法の中で、比較的若い世代ではインターネットの利用が多く、情報提供の方法を検討する必要があります。



スポーツ推進委員によるビーチボールバレー教室

② グループ活動の環境づくり

生涯学習のグループ・サークル活動は、学び合いや力を合わせることを通じて、人と人を結んでいく貴重な場といえます。

団体アンケート調査では、「新たなメンバーの確保」や「団体の活動紹介」を課題としてあげている団体が多い反面、既存団体の存在や活動内容を把握している村民が少ない状況です。よって、団体の活動を様々な方法で村民に紹介していく必要があります。

併せて、グループ・サークル活動の充実や新規発掘のためには、多様な考え方を持つ村民の調整役や相談先となるリーダーの育成を図る必要があります。



あやめ会による村イベントでのおもてなしブース出店

③ 「村民ひとり1スポーツ・1文化」運動の推進

国が定めるスポーツ基本計画では、2021年度（平成33年度）末までに成人の週1回以上スポーツ実施率65.0%を目標としています。2015年（平成27年）6月現在の国の実施率は40.4%です。本村の実施率は今回の村民アンケート調査の結果によると41.3%となっています。文化的な活動は14.7%です。

スポーツは、運動能力や体力の向上のみならず、青少年の健全育成や心身の健康保持、地域社会の再生など、多面にわたる役割を担っています。スポーツを通じて村民が幸福で豊かな生活を営むことができる社会を目指す必要があります。

また、文化的な活動については、趣味や芸能を通し、人とのふれあいで身体や心に刺激を与える役割を担っており、特に高齢者に対する生きがいづくりの場としても必要な活動です。しかし、文化的な活動が何を示すのか、人によって捉え方が異なることから、村としての計画をつくるにあたり、その定義を行う必要があります。



スイスイ健康教室

④ 地域社会貢献活動の展開

村民アンケートでは、知識・技能・経験を地域活動やボランティア活動に活かしていくことに肯定的な人が多くみられます。特に、自然豊かな土地柄から、環境美化や保全など、自然や環境に関するボランティア活動を希望する村民が各世代で上位となっています。一方で、学習や活動の今後の活用方法についての設問に対し、全ての世代で最も多いのは「自己の充実や自分の生活の改善などに活用したい」となっています。

村民が学んだ成果を地域社会に還元し、より豊かな地域社会をつくっていき、そのような地域社会から村民がさらに力を蓄えていく好循環を生むことを目指し、生涯学習を通じて得た知識などを活かす活動を支援していく必要があります。



趣味愛好会による体験教室

⑤ 情報提供の充実

本村では様々な生涯学習事業を行っており、生涯学習施設も整備されています。また、村が行う事業以外にも、村民が主体的に行う学習会や教育機関などが行う生涯学習事業があります。しかし、村が行う事業や公共施設、村内で活動するグループ・サークルについては認知度が低いものが多く、特に若い世代の認知度が低くなっています。このため、多様な手段を通じて、様々な生涯学習情報を提供していく仕組みをつくる必要があります。



食生活改善推進員による主催事業（アスパラ収穫体験）

⑥ 生活圏における生涯学習機会の創出

本村は、喜多方市や猪苗代町、会津若松市などに通勤、通学者が多く、さらには買い物などの面で生活圏となっています。当該自治体には、平日夜間や休日などに開館する体育、文化施設があり、また、民間や住民団体などによるスポーツ、文化教室、サークルなども数多くあります。

本村は小規模自治体であるため、一人ひとりに応じたニーズを満足させる環境を整備することは困難であることから、生活圏にある環境も含め見つけ直す必要があります。

近年は、スポーツ少年団や中学校部活動に関して、希望する競技がないことに対して悩みを持つ家庭も多いことから、近隣自治体の活動環境の情報を共有する必要があります。

また、本村で盛んなスポーツ競技、文化活動の情報を村外に発信するとともに、入会者の門戸を積極的に開くことにより、他エリア住民の入会などが促進され、地域が活性化することも期待されます。



やどかりクラブ（公民館事業）による他エリアでの体験

第3章

基本構想

1. 基本理念
2. 村が目指す生涯学習社会
3. 基本方針
4. 施策展開分野の設定と体系図



第3章 基本構想

1 基本理念

気づきから 学び・つながり 未来を築く ～地域・学校・行政の協働による生涯学習社会の実現へ～

生涯学習にゴールはありません。しかし私たちは、その見えないゴールに向かって常に学び続けており、ずっと歩き続ける・求め続ける姿が生涯学習であると考えます。村民一人ひとりが生涯学習に親しみ、そして、村の生涯学習の推進力を高めていくうえで基本となるものは何か。生涯学習を通じて、村の良さや村に生まれ育ってきたことへの誇り、そして、自信を持つためにはどうすればよいか。それは、村民が村の資源に【気づく】ことが根幹であると考えました。

北塩原村には風光明媚で雄大な自然があります。豊かな生活文化や歴史資源があります。美しい田畑で生産される農産物、心が込もったおいしい食べ物があります。感性豊かで人情味あふれる人が暮らしています。

この、北塩原村が持つ多様な資源にまず【気づく】。そして、その気づきを元に、【学びたい】という想いを個々人が持ち、学んだ人同士が【つながり】、連携し協働することで北塩原村の【未来を築く】。このような未来につながるストーリーを一人でも多くの村民に抱いてもらいたい。

そのような想いから、本計画のキャッチフレーズを上記のように掲げ、生涯学習の推進に向けて各施策を展開していきます。



2 村が目指す生涯学習社会

近年、地域づくりや高齢者福祉の分野では「自助（じじょ）、互助（ごじょ）、共助（きょうじょ）、公助（こうじょ）」という言葉が使われています。

自分でできることはまず自分で（自助）、互いに手を取り合えばできることは互いで（互助）、社会の仕組みとしての支援が必要なことは社会で（共助）、そして最終的には行政が施策として取り組む（公助）、そしてそれらが相互に連携（地域一体となって取り組む）することで、住民の暮らしを豊かにする考えです。

本村が目指す生涯学習社会は、村民ニーズに応じた多様な生涯学習の機会や情報をより充実したものにするとともに、学習機会を享受するだけでなく、村民自ら学習機会を創り出し、個人の学習成果を地域社会に還元することで、やりがいや生きがいを持ちながら地域づくりに役立て、「村民力」や「地域力」の向上を目指すものです。

「村民力」や「地域力」のあるむらづくりに取り組むことができる生涯学習社会の実現に向け、地域住民、地域団体等や行政との連携・協働によって、継続的に生涯学習事業に取り組んでいきます。



3 基本方針

(1) すべての村民が“学べる”環境づくり

生涯学習は、個人や団体の主体的な活動が基本となります。これは、他から強制されるものではなく、自らの人生や生活上の必要性に基づく自発的な学習要求といえます。

すべての人が学べる社会とは、主体的な学習活動を行っている人のみならず、学ぶことに無関心な人や躊躇している人、学ぶことに支障・制約等があり学習活動へ踏み込めない人などへも扉が開かれている社会であると考えます。

村民だれもがアクセスしやすい学習機会となるよう、学習情報を提供する発信力の強化や既存施設の有効活用なども含め、学習環境の整備を進めていく必要があります。

多様な学習機会が確保された、すべての村民が学べる地域社会を目指します。



介護予防講演会



郷土史研究会による調査

(2) 学んだ成果を“活かせる”地域社会の実現

学習することによって自らの心を豊かにするだけでなく、その学習成果を地域社会へ還元していくことは、学習者にとって大きな喜びとなるものです。自らの学習成果が他の人々の役に立つことでやりがいも生まれ、さらなる学習への動機づけともなります。

村民アンケート調査の結果では、「学習や活動を今後おこないたい」と約8割が回答していますが、その活かし方については「自己の充実や自分の生活の改善に活用」などの個人に関する回答が多く、「行政区や地域団体での活動」や「ボランティア活動」に活用したいと回答した方は少ない傾向にあります。

「自助（じじょ）、互助（ごじょ）、共助（きょうじょ）、公助（こうじょ）」の理念のもと、生涯学習の成果を自己の充実のみならず、地域にも活かしたいという意識が高まる社会の実現のため、その仕組みづくりや成果を活用できる機会の拡充、さらには成果を活かそうとする学習者の意欲を育てることなども含めて、施策の一層の充実を図っていく必要があります。

学習成果を地域や社会で活かせる仕組みの構築に取り組み、学習成果を活用した活動を地域に広げるなど、つながりのある地域社会を目指します。



スポーツ民踊愛好会による慰問活動



KSB 虹彩コーラスによる文化祭での発表

(3) 地域の教育力向上と“つながる”地域社会の構築

学習を通じて生涯にわたって社会とつながり、ネットワークを広げていくことで、地域社会の活性化や教育力向上が期待されています。

また、様々な交流・連携を通じて村民や団体同士がつながることで、お互いを高め合い、学び合い、支え合うという関係性へ発展し、生涯学習による仲間づくりから地域づくりが進んでいくことも期待されます。

地域コミュニティの活性化や地域の教育力向上に向けた「つながる」施策として、学習による仲間づくりや交流の場の拡充、地域・学校・行政が連携・協働した事業の推進など、地域課題をともに解決するためのネットワークの構築に取り組んでいく必要があります。

地域・学校・行政との連携・協働により、地域課題の共有や解決に努めるとともに、地域の教育力を高め、学びを通じた地域づくり社会を目指します。



スポーツ吹矢愛好会による体験教室



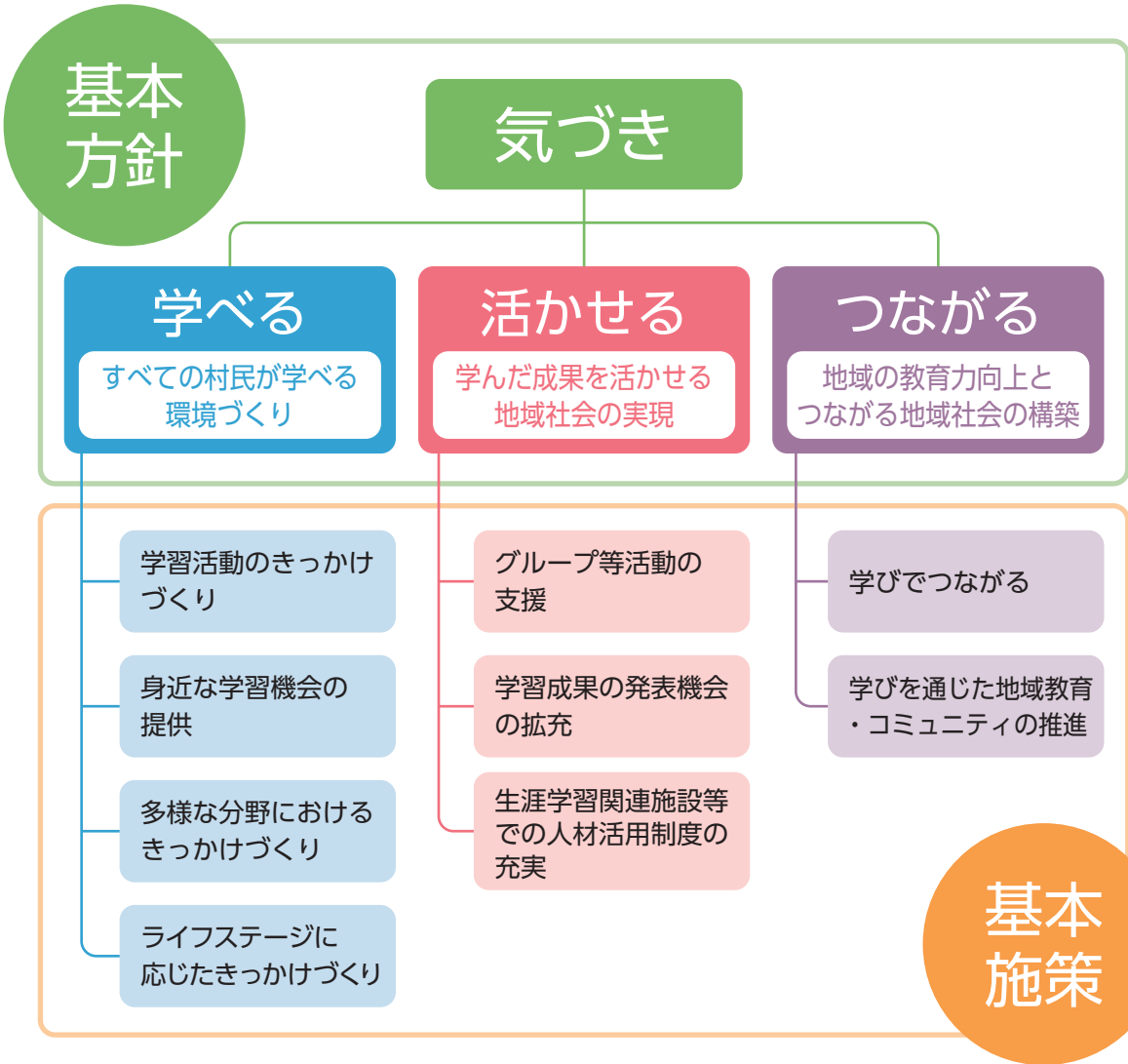
児童クラブでの将棋教室（学校の応援団）

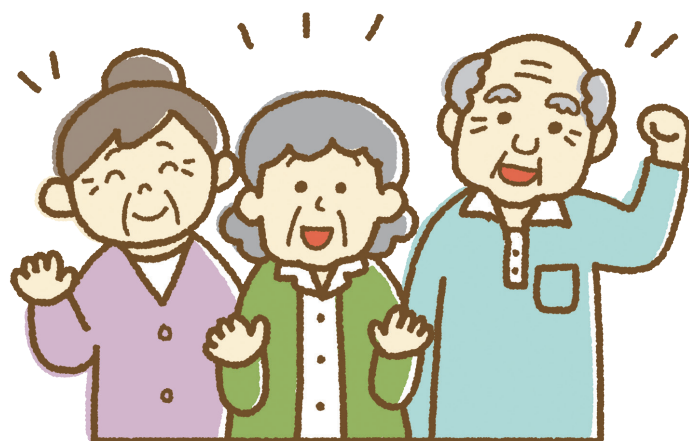
4 施策展開分野の設定と体系図

第四次北塩原村生涯学習推進計画 キャッチフレーズ

気づきから 学び・つながり 未来を築く

～地域・学校・行政の協働による生涯学習社会の実現へ～





第4章

基本計画

1. ≪学べる≫ ～すべての村民が学べる環境づくり～
2. ≪活かせる≫ ～学んだ成果を活かせる地域社会の実現～
3. ≪つながる≫ ～地域の教育力向上とつながる地域社会の構築～
4. 基本施策等の目標値



第4章 基本計画

1 《学べる》 ～すべての村民が学べる環境づくり～

村民アンケート調査では、61.5%の方がこの1年間になんらかの生涯学習を行っているという回答しています。これは、2015年（平成27年）12月に実施された内閣府全国調査の同様の質問における47.5%と比べ14ポイント高く、北塩原村民の生涯学習活動は全国平均よりも活発であると考えられます。

その一方、学習をするうえでの支障となる設問に対して、「時間に余裕がない（23.4%）」、「一緒にする仲間が少ない（16.8%）」、「希望する内容のものが少ない（10.9%）」等の回答も得られており、気軽に参加できるなどきめ細やかな学習機会の提供が必要となっています。

また、村が何に力を入れるべきかという設問に対して、「学習や活動に関する講座などの情報提供を充実する（16.8%）」、「住民のニーズや満足度などを把握し、反映させる（16.3%）」等の回答が得られており、学習情報の提供や住民ニーズの把握が求められています。



(1) 学習活動のきっかけづくり

生涯学習に関する講座やイベントは、様々な場所で開催されており、その情報を収集・整理し、村民に必要な情報を提供していくことが必要です。広報誌、チラシ、ホームページなど多様な方法で学習情報を提供します。また学習活動を行っていない村民に対し、生涯学習の普及・啓発に努め、村民の主体的な学習活動のきっかけづくりを支援します。

施策	内容
情報誌・チラシの活用	村広報誌やチラシ・生涯学習カレンダーなどで、講座・イベントなど生涯学習情報を提供します。また、掲載方法などを工夫し、参加欲求を促すような情報媒体の発行を行います。
ホームページなどの活用	村ホームページやSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用して、生涯学習情報を提供します。
地域団体の活動情報の提供	身近で活動している地域団体の活動情報の収集・提供を支援し、気軽に参加できる環境を整備します。
幼稚園・学校への効果的な情報提供	幼稚園児や小中学生を対象とした生涯学習関連事業の年間スケジュールを取りまとめて、情報を提供します。
介護施設等に関する情報提供・発信	村内の介護関連施設に入所している方へ生涯学習情報を提供するとともに、当施設で行われるイベント情報を発信し、入所者との交流の機会を提供します。
近隣自治体との生涯学習情報の共有・発信	村内外関わらず生活圏における皆さんの活動がより盛んになるよう、近隣自治体における生涯学習情報を村内に周知するとともに、村内で行われている活動を村外に広く発信します。
普及・啓発活動の充実	学ぶことの意義や楽しさなども含めた生涯学習の理念について、普及・啓発に努めます。



平成29年度 北塩原村公民館社会教育事業年次予定表	
事業名	生涯学習講座
実施時期	10月10日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	10月17日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	10月24日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	10月31日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	11月7日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	11月14日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	11月21日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	11月28日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	12月5日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	12月12日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	12月19日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	12月26日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	1月2日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	1月9日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	1月16日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	1月23日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	1月30日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	2月6日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	2月13日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	2月20日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	2月27日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	3月6日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	3月13日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	3月20日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	3月27日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	4月3日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	4月10日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	4月17日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	4月24日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	5月1日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	5月8日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	5月15日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	5月22日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	5月29日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	6月5日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	6月12日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	6月19日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	6月26日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	7月3日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	7月10日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	7月17日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	7月24日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	7月31日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	8月7日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	8月14日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	8月21日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	8月28日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	9月4日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	9月11日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	9月18日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	9月25日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	10月2日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民館
講師	北塩原公民館
参加費	無料
申込	不要
お問い合わせ	北塩原公民館 電話 0245-82-1111
備考	
事業名	生涯学習講座
実施時期	10月9日(土) 14時～16時
実施場所	北塩原公民

(2) 身近な学習機会の提供

身近な学習機会の提供をするため、対象者に配慮した多様な分野における村民向けの講座を充実します。また、村や教育機関が企画するだけでなく、村民や地域団体の企画による講座の開催促進など、様々な主体による講座の開催を支援します。

施策	内容
村民向け講座の開催	多様な分野における村民向けの講座の充実を図ります。また、講座の対象者を想定し、参加しやすい日時での講座を開催します。
村民等の企画による講座の開催	村民や地域団体などの企画による生涯学習講座を募集し、新たな指導者として活躍する機会の提供と、地域団体への関心の醸成を図ります。
地域に関する講座の開催	地域への関心を高めるために、地域の歴史、自然、特色など地域性を重視した内容についての講座を開催します。
図書の充実	村民の読書活動による学習機会の提供と集える場の確保のため、図書室の蔵書数・内容の充実を図り、気軽に図書に親しめる環境の整備に努めます。



村民を講師とした講演会（写真講座）



村民を対象にした歴史講座



図書室の環境整備

(3) 多様な分野におけるきっかけづくり

ライフスタイルや価値観の多様化を背景に、村民の学習ニーズも多様化しています。文化、芸術、歴史、スポーツ、健康づくり、交流活動など多様な分野における学習のきっかけづくりに取り組みます。

施策	内容
文化・芸術にふれるきっかけづくり	生涯学習センターの展示スペースの利用のほか、近隣市町村で催されるイベントへの参加を促し、文化・芸術にふれるきっかけづくりを行います。
歴史・文化財を学ぶきっかけづくり	展示会や史跡での説明会、講座等の開催により、村の歴史や文化財にふれる機会を充実します。また、ガイドボランティアなど村民と協力して、村の歴史を学ぶきっかけづくりを行います。
本に親しむきっかけづくり	ブックスタートや絵本の読み聞かせを行い、幼いころから読書する習慣を身につけるように支援します。
スポーツに親しむきっかけづくり	ニュースポーツの振興を図り、スポーツを気軽にはじめるきっかけづくりを行います。また、身近で活動しているスポーツ団体の活動情報や、村体育協会やスポーツ推進委員が行っている既存事業のPRを行い、参加促進を図ります。
身近な場での健康づくり	保健衛生協力員や食生活改善推進員などによる地区活動を支援し、身近な場での健康づくりの重要性や、気軽に取り組む方法について啓発に努めます。また、栄養教室や運動教室、個別健康相談など健康づくりの機会を提供します。
国際、県内外等交流活動の推進	国際交流のほか、交流自治体や大学など村が推進する各種機関との積極的な交流を行い、異文化や多様性にふれるきっかけづくりと、人間力の向上を図ります。
多彩なツーリズムの推進	エコツーリズムやジオパークなどを通して、地域の魅力や素晴らしさを体感できるよう学習する機会を提供します。



柏木城跡の発掘体験



乳幼児を対象にしたブックスタート



いきいき百歳体操

(4) ライフステージに応じたきっかけづくり

生涯にわたって生き生きと充実した生活を送るために、乳幼児期、青少年期、青年期、成人期、子育て期、高齢期といったライフステージに応じて様々な学びが必要となります。それぞれのライフステージにあった課題や学習方法を踏まえて、内容、日時、場所を設定し、講座を開催します。

施策	内容
乳幼児期	親子が身近な地域で安心して過ごせる場づくりとして、生涯学習センターや保育園、幼稚園などの施設を利用し、親子で参加する遊びや交流の場を提供します。
青少年期	心豊かに成長し、自立していくための学習支援として、村が有する自然・文化を活かした事業や、スポーツ、食育などを体験する機会を提供します。
青年期	青年（若者）らによるコミュニティの形成と、村づくりに対して主体的に参画する人材の発掘・育成を図り、社会貢献活動をする機運を高めます。
成人期	ライフスタイルや関心に応じた学習支援として、各種講座やイベントの開催、グループ・サークル活動の支援、生涯学習情報を提供します。
子育て期	乳幼児期や青少年期の保護者を対象とした子育て講座を開催し、家庭教育を支援するとともに、子育て中の親の学習や活動への参加を支援します。
高齢期	高齢者教室をはじめ、高齢者の余暇の充実、健康づくり、社会貢献活動につながる講座を開催するとともに、福祉施設などにおける、高齢者の活動の場を提供します。



幼児教育支援事業



成人セミナー



子ども体験活動事業

2 《活かせる》 ～学んだ成果を活かせる地域社会の実現～

学習成果を適切に活かすことのできる社会の実現は、教育基本法に定められた生涯学習の理念であり、本村の生涯学習を推進する上でも大きな柱となるものです。学習者にとっても、成果を活かせることでより大きな喜びを得ることができるとともに、さらなる学習への動機づけともなり、生涯学習全体を活性化させるものです。

村民アンケート調査では、53.2%の方が生涯学習を通じて身につけた知識や技能を活かしていると回答しています。しかし、その活用方法としては、「自己の充実や自分の生活の改善（36.8%）」が最も高くなっており、地域活動などに生かしていると回答した割合は比較的少なくなっています。「自助（じじょ）、互助（ごじょ）、共助（きょうじょ）、公助（こうじょ）」の理念のもと、学習成果を個人にとどめるだけでなく、他の人のため、地域社会のために活かすという意識が高まるような施策についても、推進していきます。

(1) グループ等活動の支援

グループ・サークルによる継続的な活動は、人と人の絆をつくるだけでなく、地域の一体感が生まれ、地域づくりが進んでいくことも期待されます。

このため、講座受講後のグループ結成の促進、グループ・サークルのメンバー募集の支援など、グループ活動の支援に取り組みます。

施策	内容
活動（学習）グループ結成の促進	講座受講後など、村民が継続して学習や活動ができるように、グループ等活動の結成や既存活動団体への参加促進を支援します。
グループ活動の運営支援	グループのリーダー等を対象に、グループ運営の参考となる講座の開催や、グループ間の交流を促す機会を提供します。
メンバー募集の支援	講座受講者やイベント時におけるPRのほか、村の広報媒体を活用するなど、グループ等によるメンバー募集を支援します。



村民を対象にした登山活動（きびたき山の会）



ぶどうツル採り（手わっさの会）



凍み大根づくり（食生活改善推進員）

(2) 学習成果の発表機会の拡充

日ごろの活動の成果を発表したり、他のグループ等と交流したりすることは、学習の動機づけとなり、活動の活性化につながります。

文化祭や交流フェスタなどのイベントのほか、地域の特性を生かした発表の機会を設けるなど、学習活動を通じて身につけた知識や技能などの学習成果を発表する機会の拡充や、学習成果を活かせる場の充実を図ります。

施策	内容
発表の場 交流の場づくり	生涯学習センターなど、公共の施設において定期的に学習や活動をしているグループ等の展示・発表の機会を設け、グループ等間の交流を図ります。
地域における発表・ 交流の支援	学校と地域合同による運動会や文化祭、全村民を対象にしたきたしおばら交流フェスタへの参加を呼びかけ、展示・発表の機会の拡充を図ります。
高齢者の生きがい 健康づくりの発表・ 交流機会の提供	高齢者の生きがいと健康づくりを促進するため、高齢者のサークル活動に対する支援のほか、発表・交流の機会を提供します。
観光イベント等における 発表・交流の 機会創出	観光事業者や福祉施設、事業所との連携を図り、観光イベントや福祉施設への慰問活動など新たな展示・発表の機会を支援します。



文化祭での展示



きたしおばら芸術交流会



生涯学習センターでの発表

(3) 生涯学習関連施設等での人材活用制度の充実

学習の成果を地域社会で活かしていくことは、学習の意欲を一層高めるとともに、人々の触れ合いや仲間づくりの機会を創出し、豊かな人間関係の形成や地域社会の活性化をもたらします。

生涯学習センターや学校などの生涯学習関連施設における積極的なボランティアの活用など、人材活用の促進を図り、学習の成果を社会に活かすことができる機会を提供します。

施策	内容
生涯学習指導者の発掘等	生涯学習の講師として活動する村民で構成されている既存の生涯学習指導者名簿について、新規指導者の発掘や情報発信、利用促進を図ります。
シルバー人材センターの充実	シルバー人材センターの充実に努め、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の福祉の向上・活性化を支援します。
村民等のボランティア活動の支援	村ボランティアセンターや学校支援ボランティアなどによるボランティアに関する情報の提供や働きかけ、相談などを充実させ、村民や地域団体がボランティア活動をしやすい環境を図ります。



炊き出し訓練



中学生による雪かきボランティア



見守り隊活動

3 《つながる》 ～地域の教育力向上とつながる地域社会の構築～

東日本大震災を経て、人々の間で改めて「つながる」ことの大切さが認識されています。生涯学習を通じて新しい人間関係をつくり、地域のつながりを再構築していく取組みが求められています。

生涯学習関連施設等でのボランティアや学校支援の活動への参加、まちづくり・地域づくりの活動など、地域における様々な学習活動に参加している人の割合を増加させていくことを目標とします。

村民アンケート調査において、58.2%の方がこの1年間になんらかのボランティア活動を行っているという回答しています。また、村が何に力を入れるべきかという設問に対して、「各種団体の自主的な活動を活発にさせたり、その活動を支援する」、「ボランティア活動を支援する」を選択した割合がいずれも約1割となっているなど、地域活動の必要性についてはある程度認識されていることがうかがえます。

生涯学習を通じて地域や社会とつながっている人を増やしていくとともに、地域活動への関心を高める取組についても推進していきます。



(1) 学びでつながる

地域における人のつながりや連帯感の希薄化が指摘されている中で、学びを通じた仲間づくりや活動団体の交流を促進します。また、地域や団体の実情に合わせた交流の場の拡充に努めます。

施策	内容
学びを通じた仲間づくりの推進	講座等の参加者同士が学習活動を通じて交流できる機会を充実し、仲間づくりや生きがいづくりを推進します。
交流の場拡充の推進	村民や活動団体同士が気軽に情報交換などの交流が図れるよう、身近な生涯学習関連施設等における交流の場としての機能の充実を図ります。
地域団体活動への参加促進	身近で活動している地域団体の活動に参加することで生まれる、村民同士のつながりを促進します。
活動団体の交流促進	体育協会や文化団体連絡協議会加盟団体のほか、その他の地域活動団体など、団体間の交流・連携が図れるよう支援し、新たなつながりを生み出します。
交流を核とした農業振興の推進	村の農業振興を図るため包括連携協定をしている東京農業大学の学生と村民の交流を促進し、地域課題の掘り起しと新たな視点によるむらづくりに役立てます。



東京農業大学生との交流



幼稚園児との世代間交流



公民館事業を通じた交流

(2) 学びを通じた地域の教育・コミュニティの推進

家庭教育の自主性を尊重しつつ、学校をはじめとする地域のつながりの中で、家庭教育を支援する仕組みづくりに努めるとともに、学校教育と社会教育の連携・融合により、地域の教育を一体となって支えていく取組を推進します。

また、学習活動を通して社会的視野を広げ、地域の様々な活動に参加することで、地域コミュニティの担い手として力を発揮できる環境整備を進めます。

施策	内容
学校・家庭・地域の連携強化	村の宝である子どもを地域ぐるみで育てることを主体とし、地域による家庭教育の支援など学校・家庭・地域の連携強化に努めます。
学社連携・融合の推進	学校の応援団を通して、子どもに様々な体験活動の機会を提供し「生きる力」を育成するとともに、地域全体の教育力の向上を図ります。
学校図書の開放	地域の読書活動を盛んにすることに加え、読書を通じた子どもと村民相互の交流の場を広げること、地域社会の教育力の向上につなげます。
地域コミュニティ担い手の育成	若者や女性を核としたコミュニティの形成と、村づくりに対して主体的に参画する人材の発掘・育成を図り、活躍できる場を創出します。
地域づくり活動への支援	学びを通して、地域の宝を継承・保存・PRするなど自主的に活動を進める村民等を支援します。
地域で見守り・育む高齢者の支援	地域のつながり・支え合いをテーマとした講演会等を開催し、一人暮らしなどで支援を必要とする高齢者を地域で見守る体制づくりを整備します。



学校の応援団による雄国沼散策支援



若者による地域づくりアイデア



地域の支え合いを考えるワークショップ

4 基本施策等の目標値

(1) 基本施策の目標値

～ すべての村民が学べる環境づくり ～

指 標	現状値 2017年	目標値 2027年	備 考
生涯学習を行っている人を増やす	61.5%	65.0%	国の現状値：47.5%

※現状値は、村民アンケート調査設問「問6」〔資料編P64参照〕において、「ある」と回答した方の割合

～ 学んだ成果を活かせる地域社会の実現 ～

指 標	現状値 2017年	目標値 2027年	備 考
生涯学習を通じて身につけた知識や技能を活かしている人を増やす	53.2%	65.0%	

※現状値は、村民アンケート調査「問7-6」〔資料編P68参照〕において、「特に活用していない」と回答した方と「未回答」だった方以外の割合

～ 地域の教育力向上とつながる地域社会の構築 ～

指 標	現状値 2017年	目標値 2027年	備 考
生涯学習を通じて地域や社会とつながっている人を増やす	23.7%	50.0%	

※現状値は、村民アンケート調査「問7-6」〔資料編P68参照〕において、「行政区や地域団体での活動～」と「ボランティア活動など～」と回答した方の割合

(2) その他の目標値

～ 村民ひとり1スポーツ・1文化運動の推進 ～

指 標	現状値 2017年	目標値 2027年	備 考
村民ひとり1スポーツ運動を推進する ※週1回以上の実施率	41.3%	65.0%	国の現状値：40.4% 国の目標値：65.0%
村民ひとり1文化運動を推進する ※月1回以上の実施率	33.7%	50.0%	文化活動の定義が必要

※現状値は、村民アンケート調査設問「問19-1」〔資料編P78参照〕及び「問20-1」〔資料編P79参照〕において、週1回以上、又は月1回以上と回答した方の割合

～ 生涯学習関連施設の利用促進 ～

指 標	現状値 2017年	目標値 2027年	備 考
生涯学習センターを利用する人を増やす	5.7%	20.0%	
各地区の拠点施設を利用する人を増やす（累計） ※生涯学習センターを除く	18.4%	30.0%	

※現状値は、村民アンケート調査設問「問7-5」〔資料編P67参照〕における各施設別の割合

～ 各種団体の活動人口の向上 ～

指 標	現状値 2017年	目標値 2027年	備 考
体育協会・文化団体連絡協議会の活動内容の認知度を上げる	26.5%	50.0%	
スポーツ活動団体に加入する青少年を増やす	57.3%	65.0%	

※現状値は、村民アンケート調査設問「問21-1」〔資料編P81参照〕で「存在も活動内容も知っている」と回答した方の割合と、青少年アンケート調査設問「問4-1」〔資料編P96参照〕で「入っている」と回答した子どもの割合

～ 生涯学習施策の満足度の向上 ～

指 標	現状値 2017年	目標値 2027年	備 考
村の生涯学習施策に満足している人を増やす	28.1%	50.0%	

※現状値は、村民アンケート調査設問「問18」〔資料編P77参照〕で「とても満足している」と「満足している」と回答した方の割合

第5章

計画の推進と進行管理

1. 計画の推進体制
2. 計画の進行管理



第5章 計画の推進と進行管理

1 計画の推進体制

生涯学習は広範な領域にわたるため、計画の推進に当たっては、総合的、体系的な推進体制が必要となります。行政における全庁的な組織と、村民と行政が協働する体制により計画を推進します。

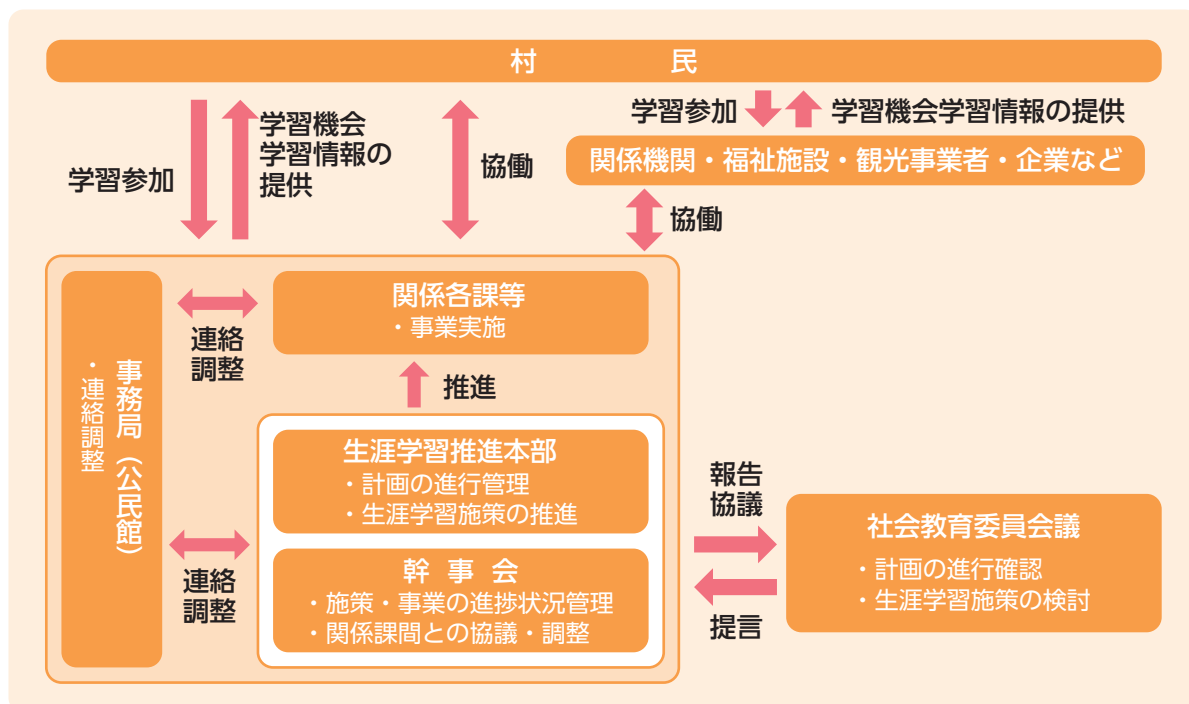
(1) 北塩原村生涯学習推進本部

「北塩原村生涯学習推進本部」において生涯学習推進計画の総合的な進行管理を行い、本村の生涯学習施策の推進を図ります。また、推進本部の下部組織である「幹事会」において、施策・事業の進捗状況の管理や、関係課間の協議・調整を行い、全庁的に生涯学習施策・事業を推進します。

(2) 北塩原村社会教育委員会

「北塩原村社会教育委員会」は、学校教育、社会教育、家庭教育に関連する機関・団体の代表者や学識経験者から構成され、社会教育に関し、教育委員会からの諮問に対する答申や提言等を行うとともに、広く生涯学習全般にわたり協議しています。

生涯学習推進計画を実効性のあるものとするため、施策・事業の進捗状況を確認し、行政外部の立場から生涯学習施策の検討を行います。



2 計画の進行管理

計画の推進に当たり、関連する事業について進捗状況を把握し、推進本部等で進行管理を行います。実施状況の適切な評価など効果的な進行管理により、施策・事業の充実・改善を図ります。

また、基本方針の3つの体系ごとに掲げた目標の達成度を測る指標として、2017年度（平成29年度）に実施したアンケート調査の結果から基準となる数値を掲載しており、計画を評価する指標とします。

(1) 施策・事業の進行管理

生涯学習推進計画に関連して、全庁で行われている施策・事業について、進捗状況を把握し、事業の充実・改善等を図ります。

所管課において進捗状況を把握したものについて、社会教育委員会議や推進本部、幹事会にて実施状況を確認するなど、進行管理を行います。

(2) 計画の評価

本計画では、基本方針の「学べる」「活かせる」「つながる」ごとに目標を掲げています。目標の達成度を測る指標として、2017年度（平成29年度）に実施したアンケート調査の結果から基準となる数値を掲載しています。基準となる数値が計画終了年度の時点でどのように変化しているかによって目標の達成度を測り、本計画を評価します。

(3) 計画の見直し

計画期間の途中においても社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを実施するものとします。



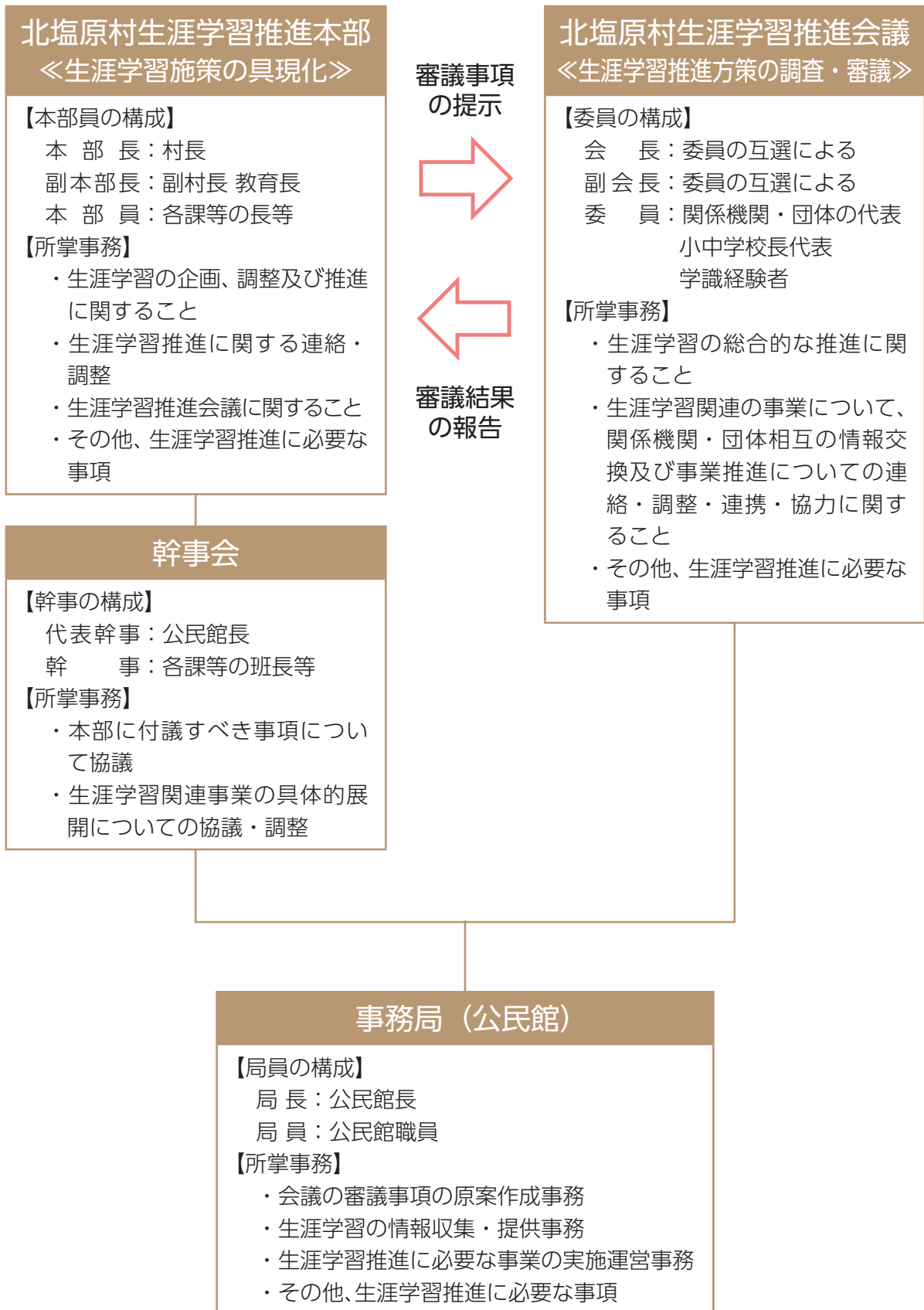


資料編

北塩原村生涯学習推進計画策定の体制及び各種委員名簿
村民アンケート調査報告書
団体アンケート調査報告書
青少年アンケート調査報告書



北塩原村生涯学習推進計画策定の体制



北塩原村生涯学習推進本部

本部員名簿

役職	所属	氏名	備考
本部長	北塩原村 村長	小 椋 敏 一	
副本部長	北塩原村 副村長	小 椋 涉	
副本部長	北塩原村教育委員会 教育長	鈴 木 力 雄	
本部員	総務企画課長兼企画室長	高 橋 淳	
本部員	税務課長兼徴収班長	伊 藤 淳 一	
本部員	住民課長	井 上 健	
本部員	商工観光課長	小 椋 正 任	
本部員	農林課長兼土地調整班長	五十嵐 信 也	農業委員会事務局 局長併任
本部員	建設課長	佐 藤 康 一	
本部員	会計管理者兼出納室長	高 久 光 子	
本部員	議会事務局長	佐 藤 博	
本部員	教育委員会教育課長兼公民館長	渡 部 富美雄	

北塩原村生涯学習推進会議

委員名簿

役 職	所 属	氏 名	備 考
委員	北塩原村教育委員会教育長職務代理者	斎 藤 弘 幸	
委員	北塩原村社会教育委員会 委員長	五十嵐 力 雄	副会長
委員	北塩原村 PTA 連絡協議会 会長	江 川 尚 武	
委員	北塩原村商工会 会長	相 原 久 榮	
委員	裏磐梯観光協会 会長	浅 沼 泰 匡	
委員	北塩原村社会福祉協議会 会長	高 橋 光 秋	
委員	北塩原村行政区長会 代表	藤 田 基 吉	
委員	北塩原村文化団体連絡協議会 会長	松 崎 豊	
委員	北塩原村体育協会 会長	目 黒 修 世	
委員	会津よつば農業協同組合女性部 いいで地区北塩原支部 支部長	内 海 美和子	
委員	あやめ会 代表	五十嵐 智恵子	
委員	和 DO 改珍 会長	雅樂川 弘 之	
委員	北塩原村老人クラブ連合会 会長	外 島 二 郎	
委員	北塩原村スポーツ推進委員会 会長	岩 田 多 吉	
委員	会津米沢街道歴史交流会 松原地区代表	金 子 一 二 三	
委員	北塩原村学校支援地域本部 コーディネーター	酒 井 美代子	
委員	北塩原村学校経営研究協議会 会長	國 分 洋 志	会 長

北塩原村生涯学習推進本部幹事会

幹事名簿

役職	所属	氏名	備考
代表幹事	教育委員会教育課長兼公民館長	渡部 富美雄	
幹事	総務企画課総務班長	遠藤 和 広	
幹事	総務企画課財政班長	佐藤 幸 治	
幹事	総務企画課企画室企画班長	高橋 宏 典	
幹事	税務課税務班長	齋藤 信 也	
幹事	住民課生活班長	猪俣 学	
幹事	住民課健康づくり班長	渡部 久 子	
幹事	住民課医療福祉班長	大塚 修	
幹事	商工観光課商工観光班長	須藤 裕 三	
幹事	農林課農林班長	遠藤 久 彦	
幹事	建設課建設班長	渡部 和 昭	
幹事	出納室出納員	後藤 ゆみ子	
幹事	議会事務局書記	唐橋 弘 行	
幹事	教育委員会教育課教育班長	相原 哲 也	
幹事	教育委員会公民館公民館班長	石田 和 典	
幹事	教育委員会さくら幼稚園副園長	五十嵐 美枝子	
幹事	教育委員会裏磐梯幼稚園副園長	鈴木 小百合	

事務局員名簿

役 職	所 属	氏 名	備 考
事務局長	教育委員会教育課長兼公民館長	渡 部 富美雄	
事務局員	教育委員会公民館 公民館班長	石 田 和 典	
事務局員	教育委員会公民館 主任主査	布 尾 和 史	
事務局員	教育委員会公民館 主査	武 藤 聖 文	
事務局員	教育委員会公民館 主事	内 海 友 毅	
事務局員	教育委員会 社会教育指導員	内 海 睦	

第四次北塩原村生涯学習推進計画策定に基づく 村民アンケート調査 報告書

1. 調査の目的

「第四次北塩原村生涯学習推進計画」の策定にあたり、村民の生涯学習に対する意識・意見・要望などを把握し、計画策定のための基礎資料を得ることを目的とします。

2. 調査方法

- (1) 調査対象 村内在住の満20歳以上の男女300人
- (2) 抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出
(4 地区別・男女別・人口構成割合から算出した抽出)
- (3) 配布・回収方法 郵送による配布・回収
- (4) 実施期間 平成29年9月25日～10月5日

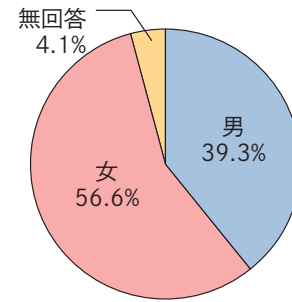
3. 回収結果

- (1) 回収数 122 (人)
- (2) 有効回収数 122 (人) (有効回収率=40.7%)
 - 男女比 男 48人 ・ 女 69人 ・ 無回答 5人
 - 年齢層 20歳～30歳代 18人 ・ 40歳～50歳代 36人
60歳代 36人 ・ 70歳代以上 29人
無回答 3人



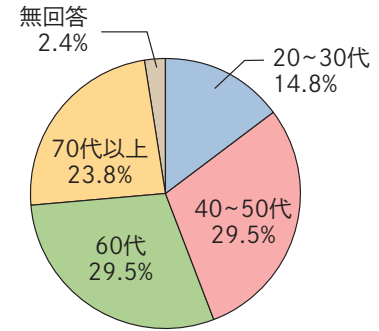
問 1-1 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

	回収数	配布数	回収率	男女比率
男	48	147	32.7%	39.3%
女	69	153	45.1%	56.6%
無回答	5	-	-	4.1%
計	122	300	40.7%	



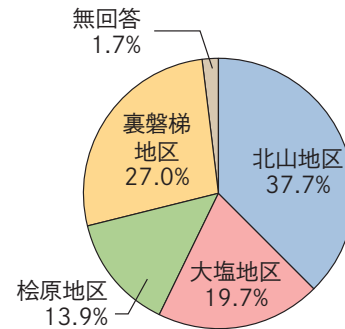
問 1-2 あなたの年代をお答えください。(○は1つだけ)

	回収数	配布数	回収率	年代比率
20～30代	18	63	28.6%	14.8%
40～50代	36	85	42.4%	29.5%
60代	36	74	48.6%	29.5%
70代以上	29	78	37.2%	23.8%
無回答	3	-	-	2.4%
計	122	300		

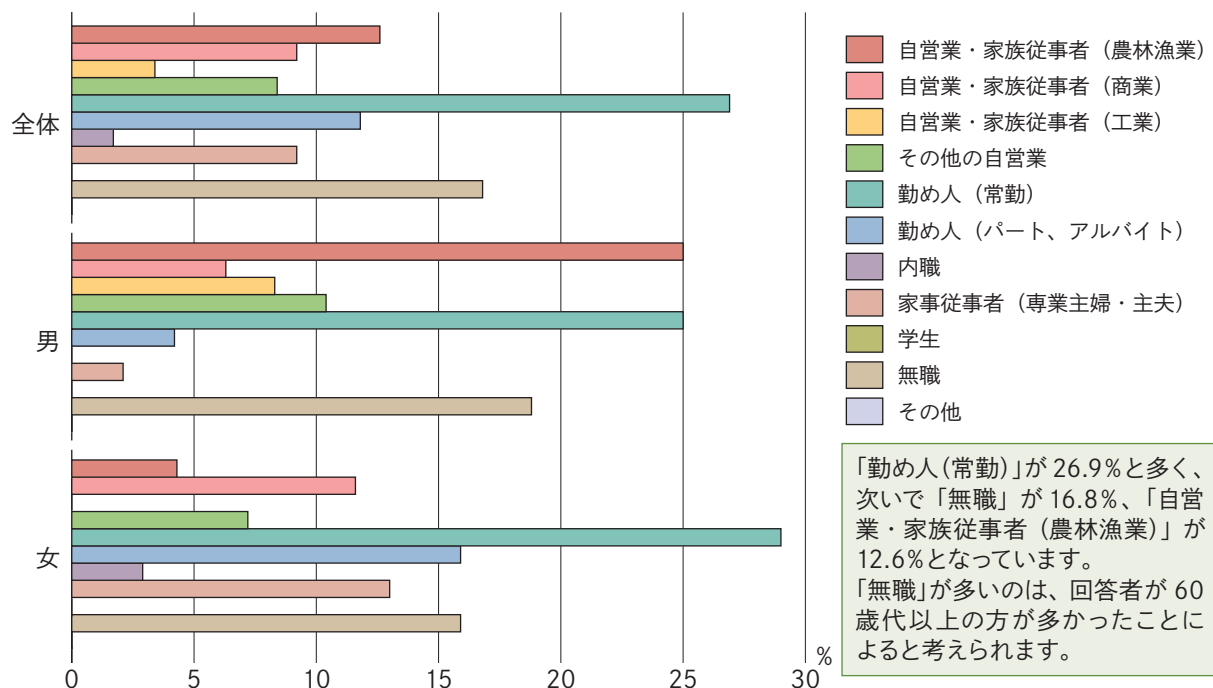


問 1-3 あなたがお住まいのエリアをお答えください。(○は1つだけ)

	回収数	配布数	回収率	地区比率
北山地区	46	116	39.7%	37.7%
大塩地区	24	62	38.7%	19.7%
桧原地区	17	33	51.5%	13.9%
裏磐梯地区	33	89	37.1%	27.0%
無回答	2	-	-	1.7%
計	122	300		



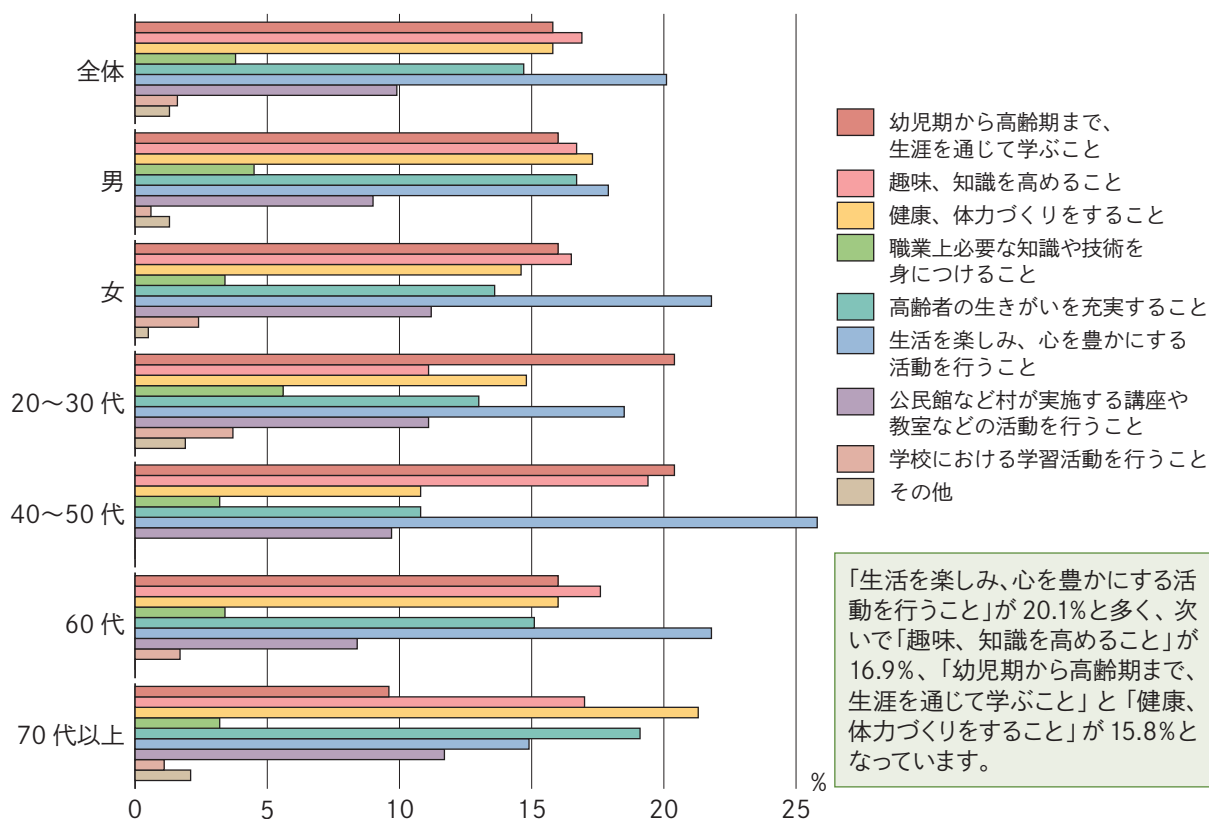
問 1-4 あなたのご職業をお答えください。(○は1つだけ)



問1-5 あなたの「自慢したい」・「残したい」・「伝えたい」北塩原村ベスト5を教えてください。「自然・景色・食べもの・イベント・行事・人」など何でも結構です。

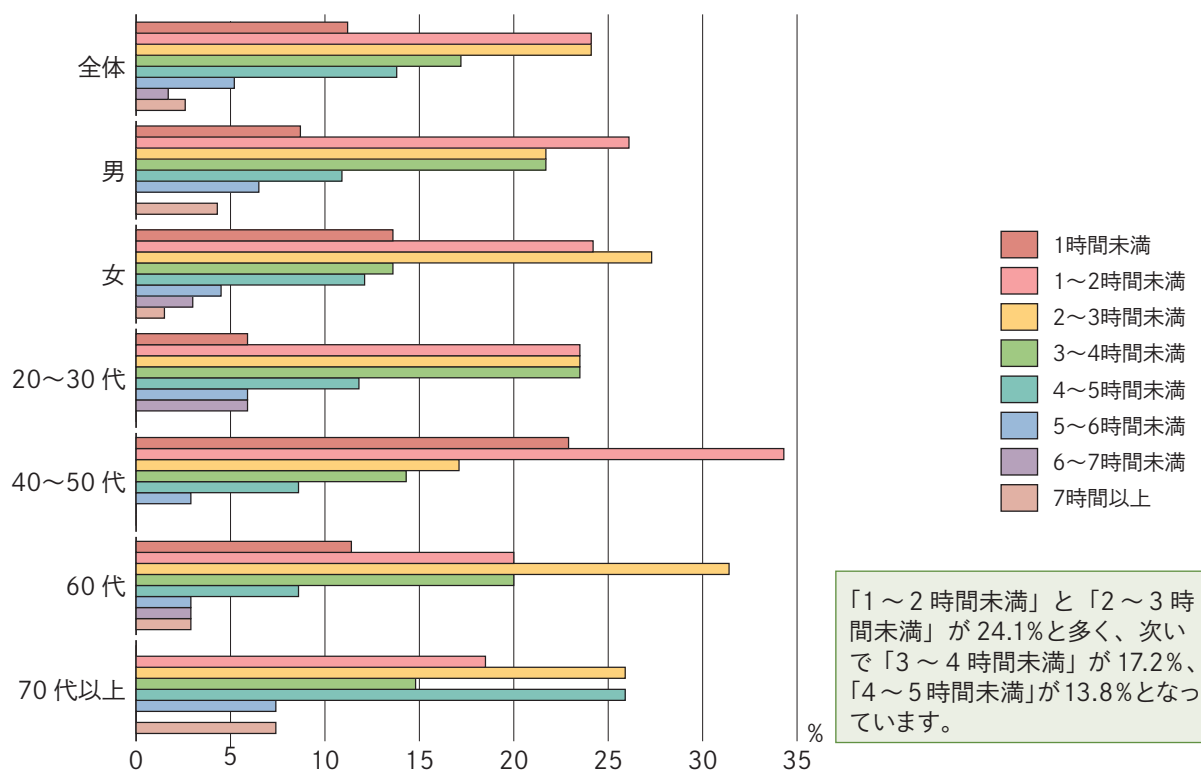
ランキング	カテゴリ	指数	特に多かった主なもの
第1位	自然	173	自然 58、景色 36、五色沼 23、磐梯山 14、桧原湖 8、 気候 4、会津盆地の眺め 2、空気 2 他
第2位	食べもの	53	山塩 17、野菜(高原)13、食べもの 11、そば 3、 花豆・米 2 他
第3位	イベント	26	イベント 19、サイクリング・交流フェスタ 2、 学校と村民合同の行事 他
第4位	人	20	人(人柄・人の温かさ・見守り隊・友達)14、 協力性(近所付き合い、世代を超えたつながり、助け合い)6 他
第5位	祭	20	祭 15、火の山まつり 3、山車 2 他
第6位	歴史	16	歴史 5、薬師寺 4、二つ児参り 2、柏木城 他
第7位	温泉	7	
第8位	暮らし	6	集落 2、学校が近い、下水道完備、村営住宅 他
第9位	子育て	4	教育、手当てが充実している、子育て、保育 他
番外	その他	11	平和、ボランティア精神、遊歩道、文化、北山剣道 他
	計	325	

問2 北塩原村では、「生涯学習推進計画」を策定いたします。「生涯学習」という言葉からどのようなイメージを持ちますか？(○はいくつでも)

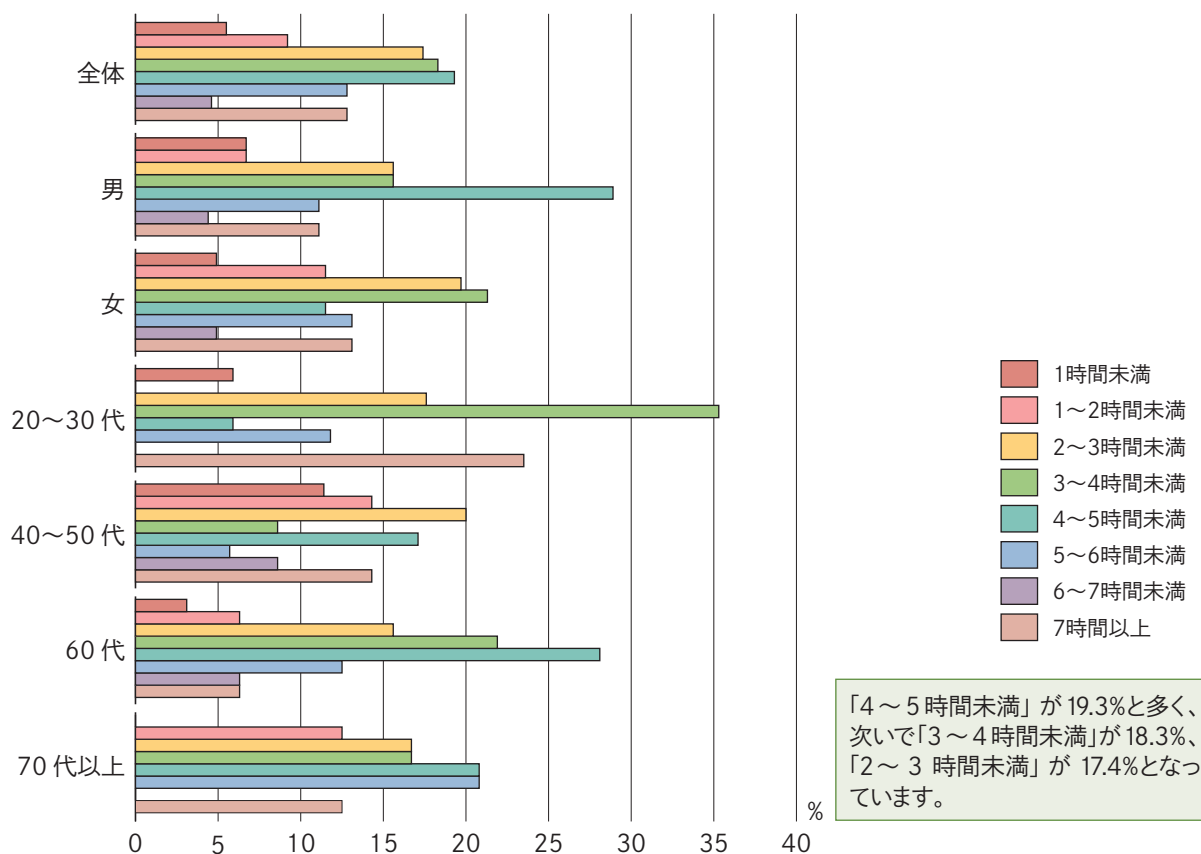


問3 ふだんの生活で余暇として自由に使える時間（家事・育児等を含む仕事以外の時間）はどれ位ありますか？

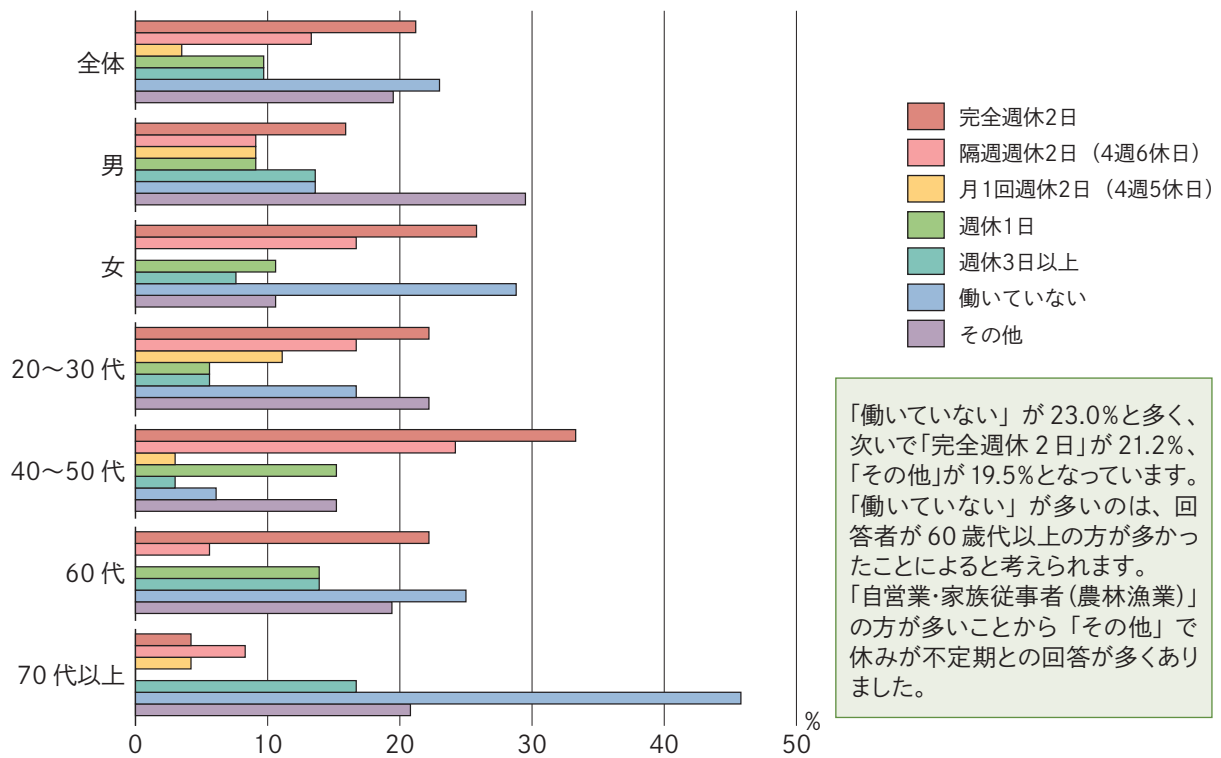
問3-1 平日について（1日の平均）（○は1つだけ）



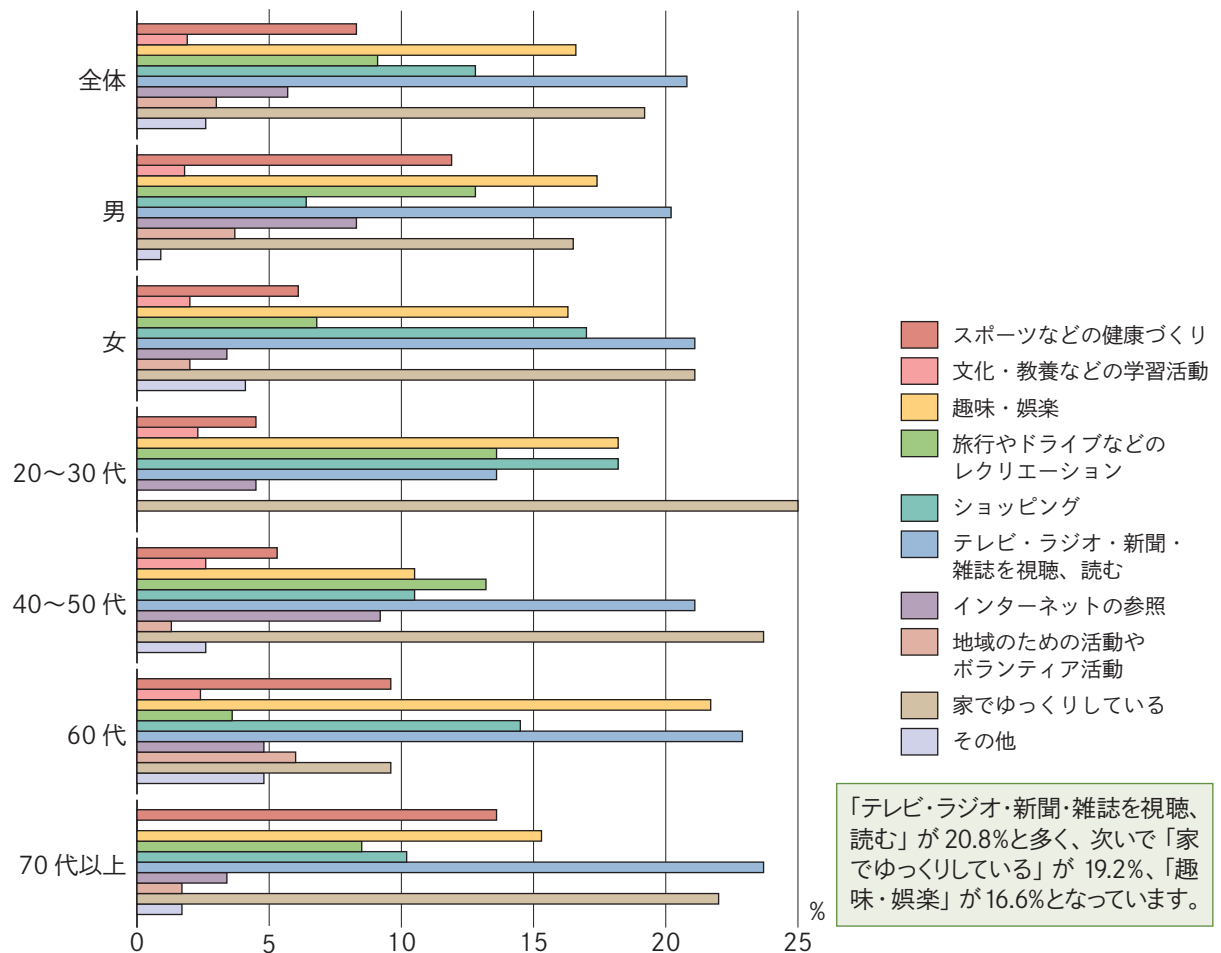
問3-2 休日について（1日の平均）（○は1つだけ）



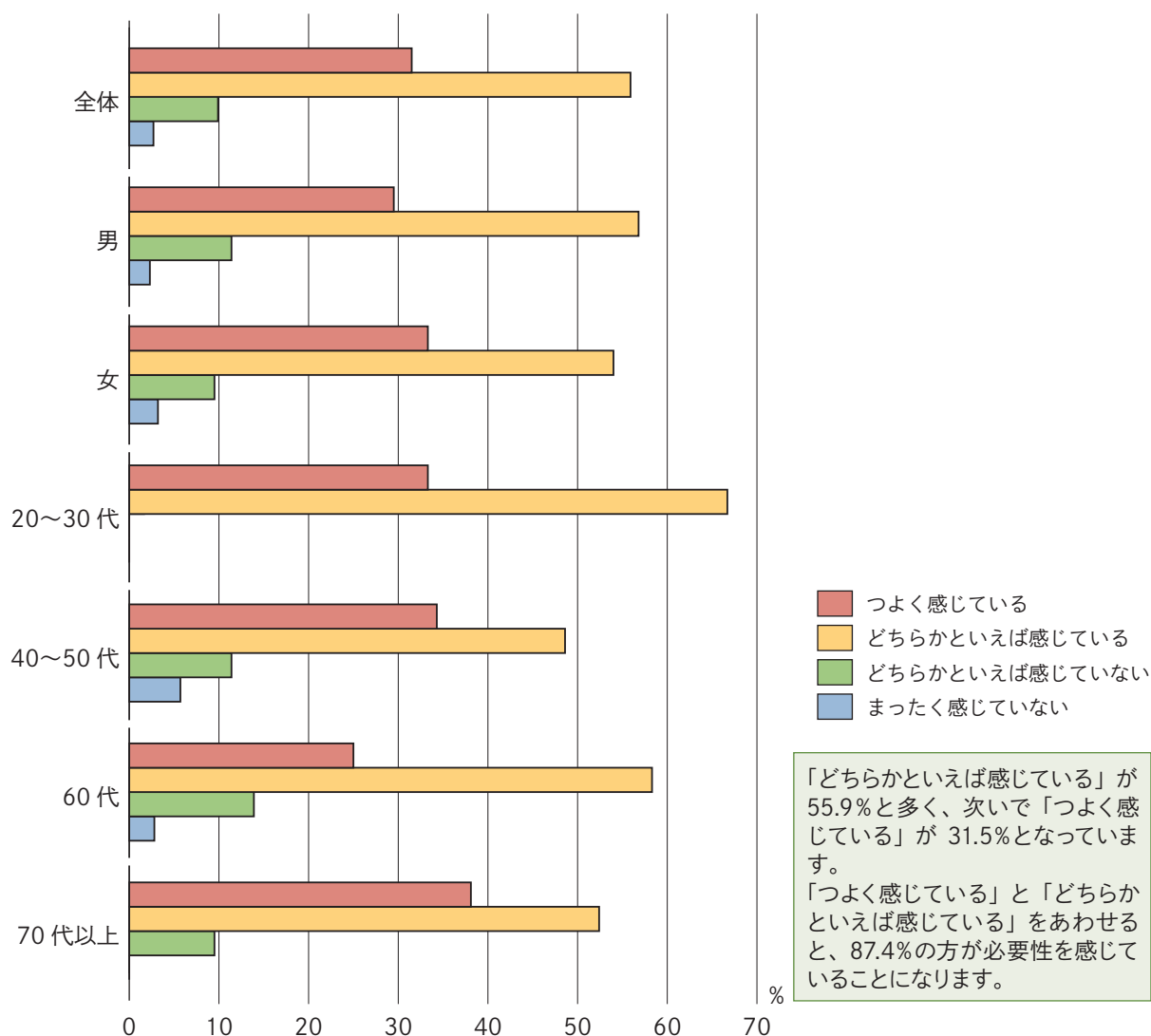
問3-3 休日の回数について（○は1つだけ・不定期の場合は平均を）



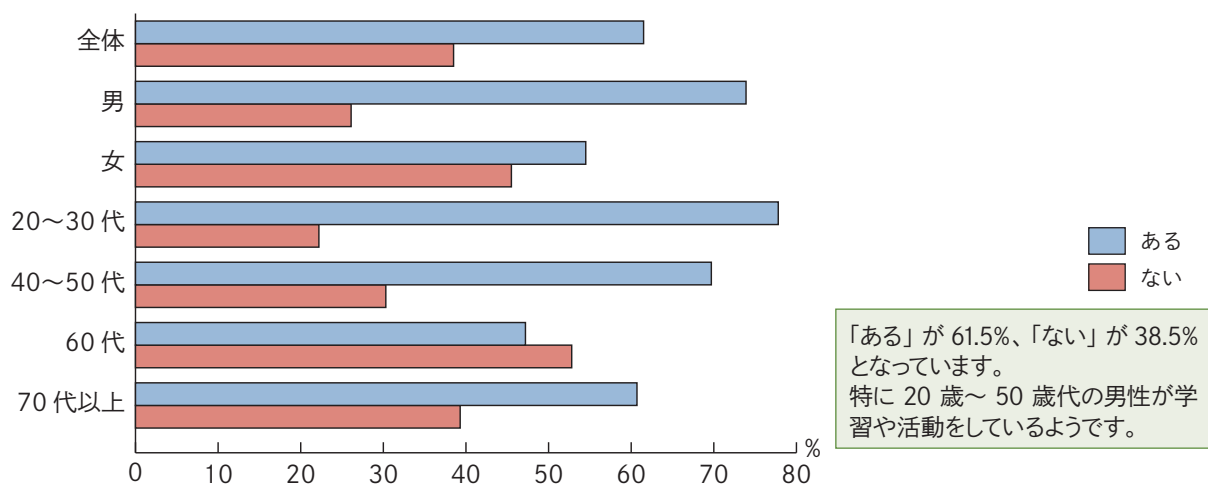
問4 自由に使える時間をどのように過ごしていますか？（○は3つまで）



問5 あなたは日頃、学習や活動することの必要性を感じていますか？（○は1つだけ）

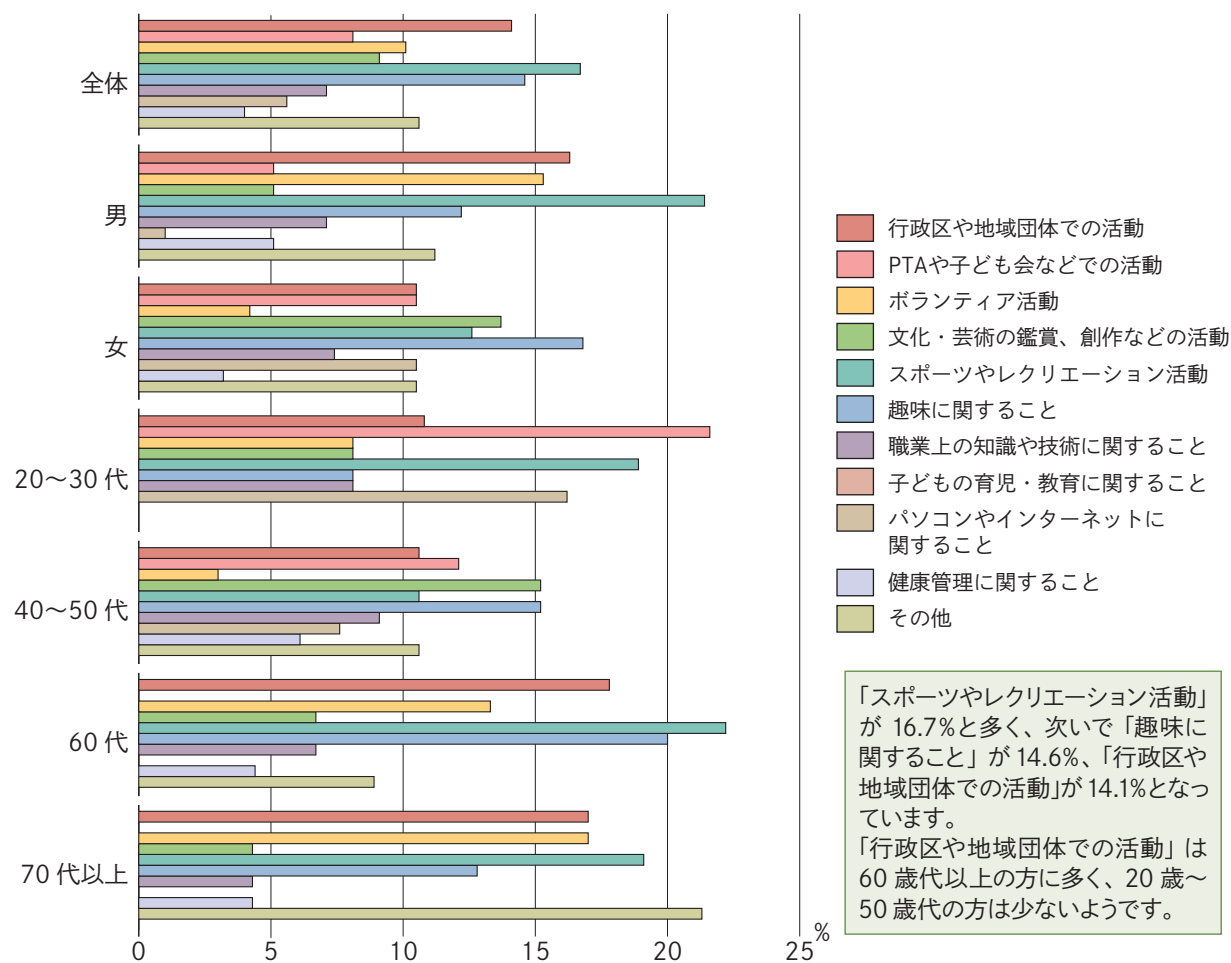


問6 この1年間に、学習や活動をしたことがありますか？（○は1つだけ）



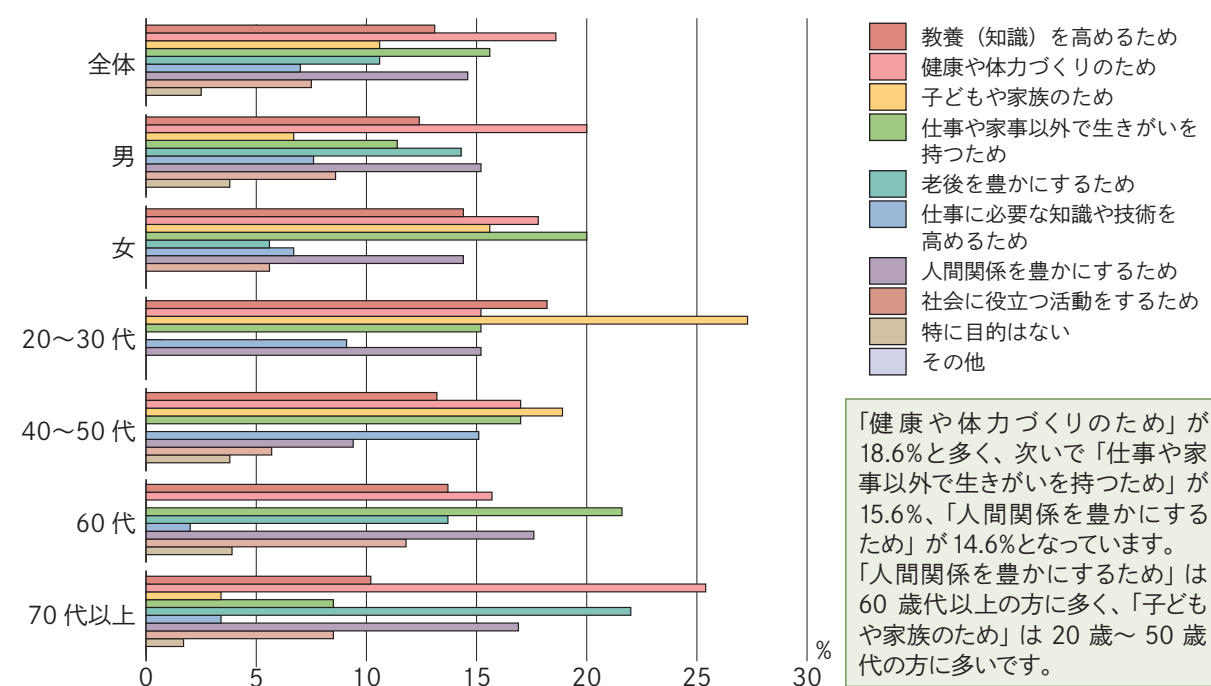
問7-1 【問6で「①ある」と回答した方のみ】

この1年間に学習や活動した内容を次の中からお答えください。（〇はいくつでも）



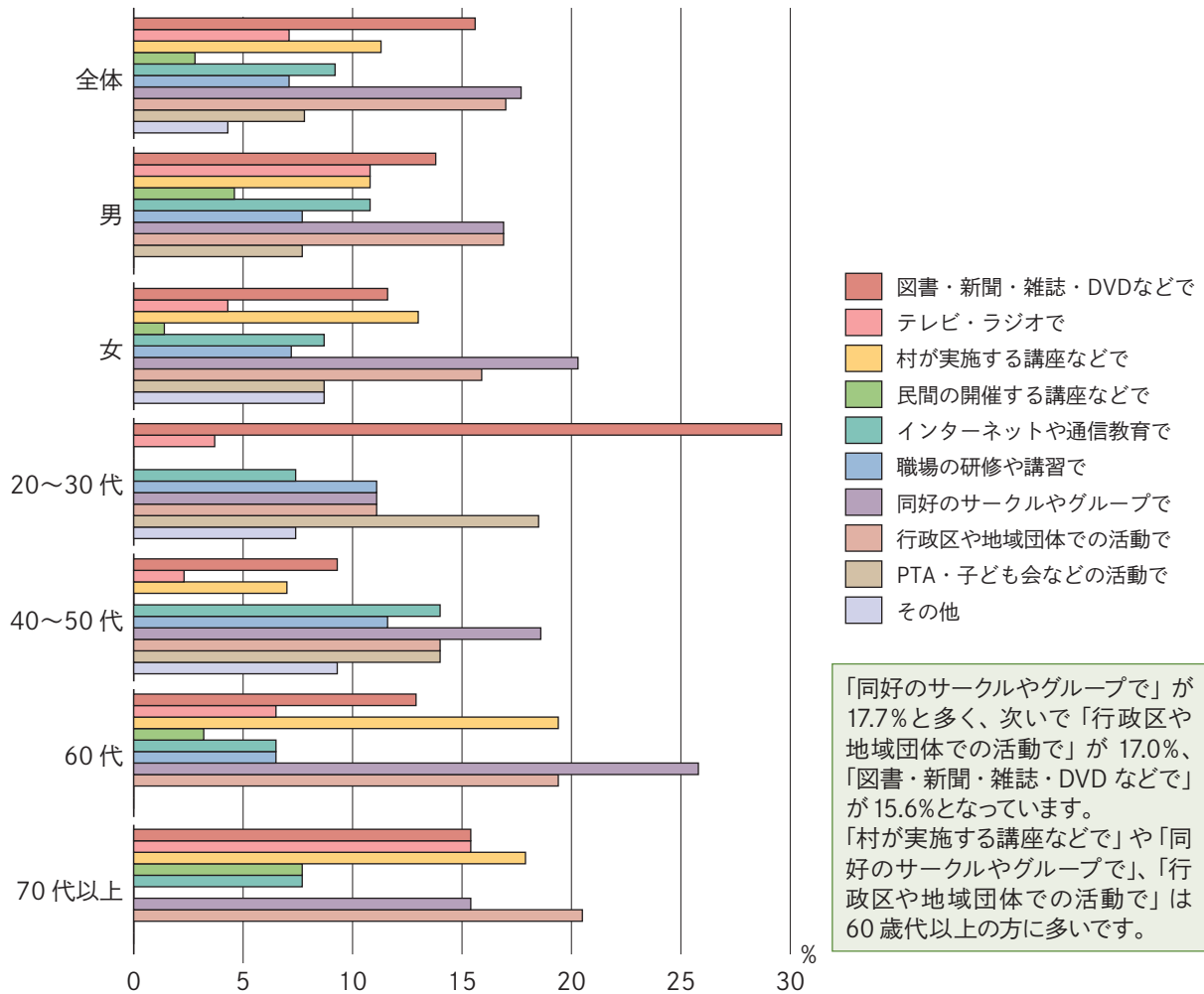
問7-2 【問6で「①ある」と回答した方のみ】

どのような目的で、学習や活動をおこないましたか？（〇はいくつでも）



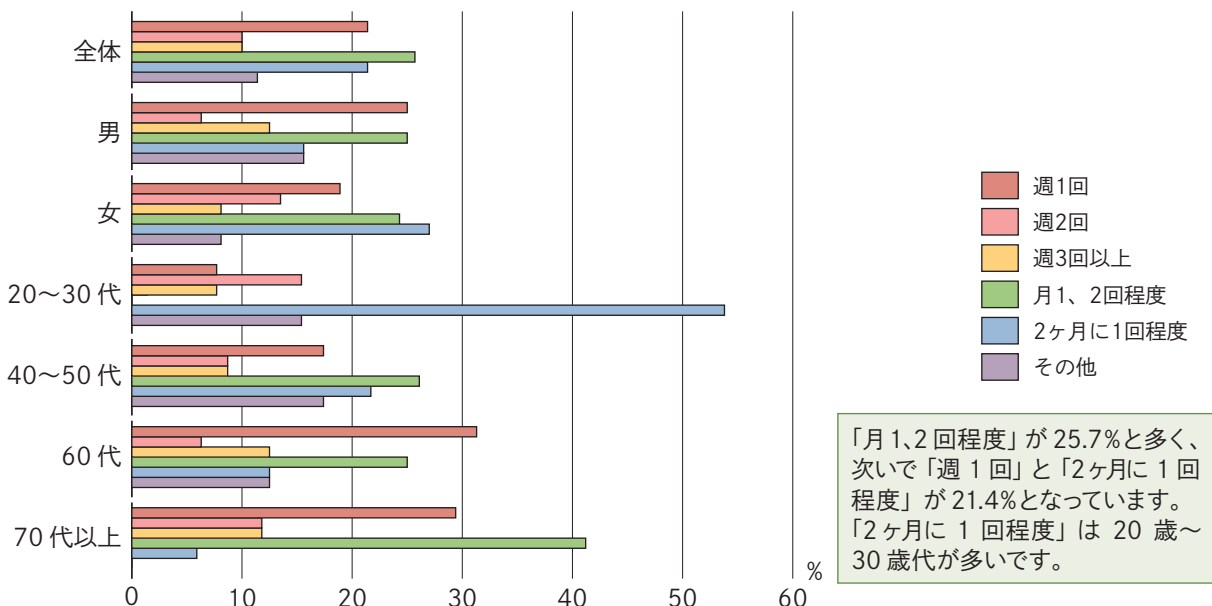
問 7-3 【問 6 で「①ある」と回答した方のみ】

どのような方法で、学習や活動をおこないましたか？（○はいくつでも）



問 7-4 【問 6 で「①ある」と回答した方のみ】

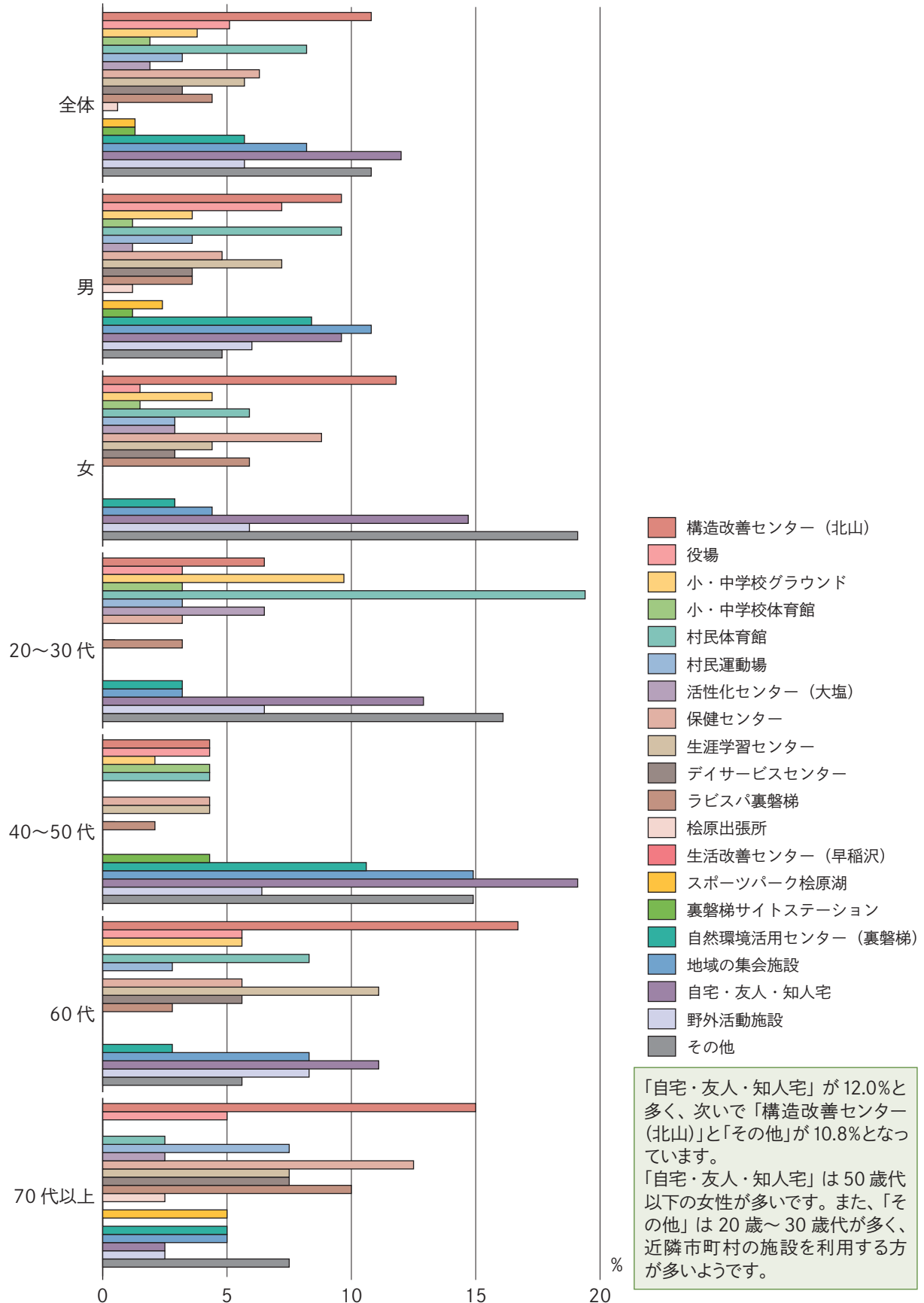
おこなった学習や活動の回数（周期）をお答えください。（○は主なもの1つだけ）



問7-5 【問6で「①ある」と回答した方のみ】

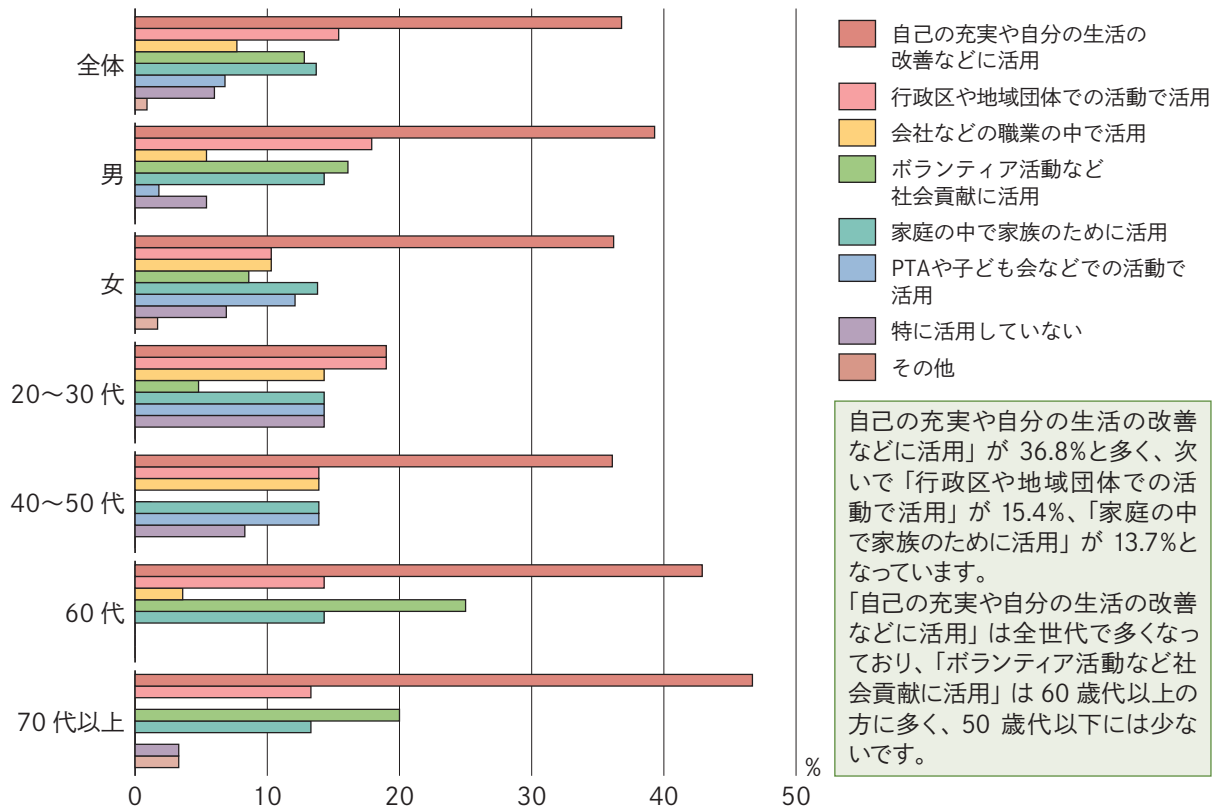
この1年間で学習や活動に利用した主な施設を次の中からお選びください。

(○はいくつでも)



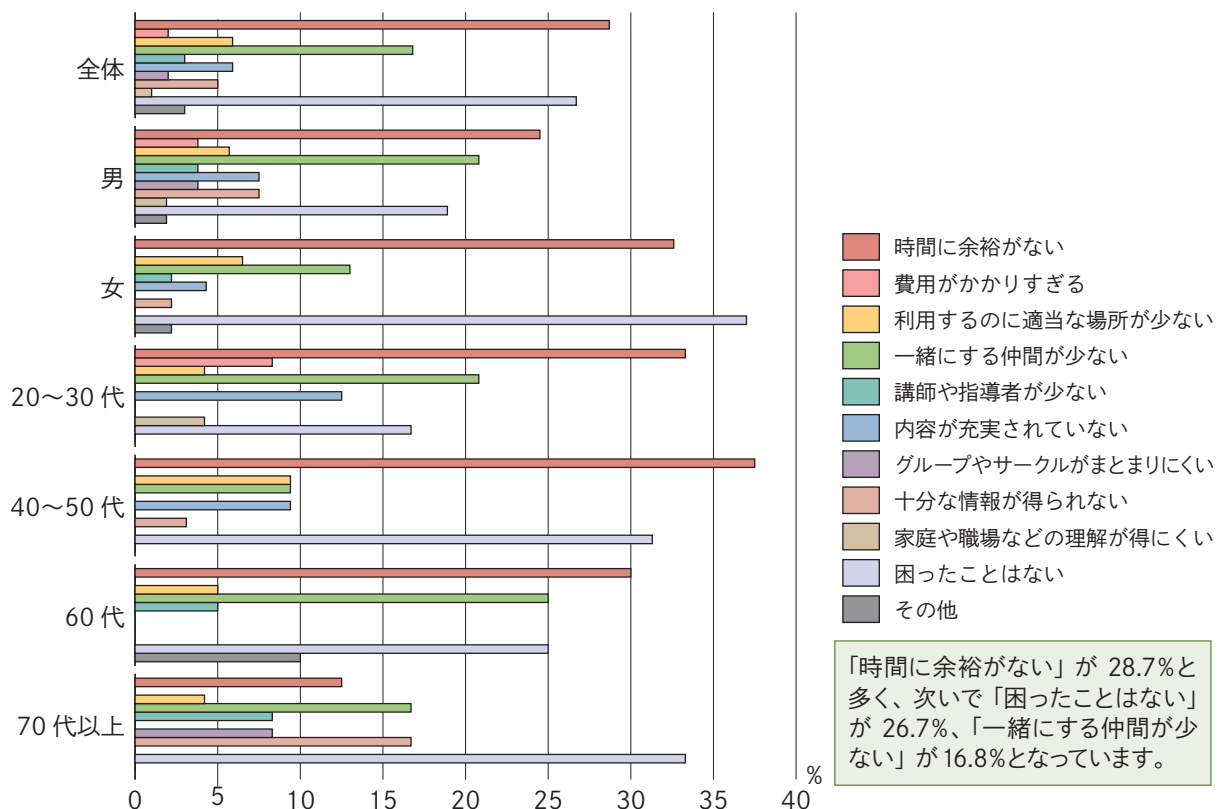
問7-6 【問6で「①ある」と回答した方のみ】

あなたは学習や活動をおこなったものを、どのように活用しましたか？（○はいくつでも）

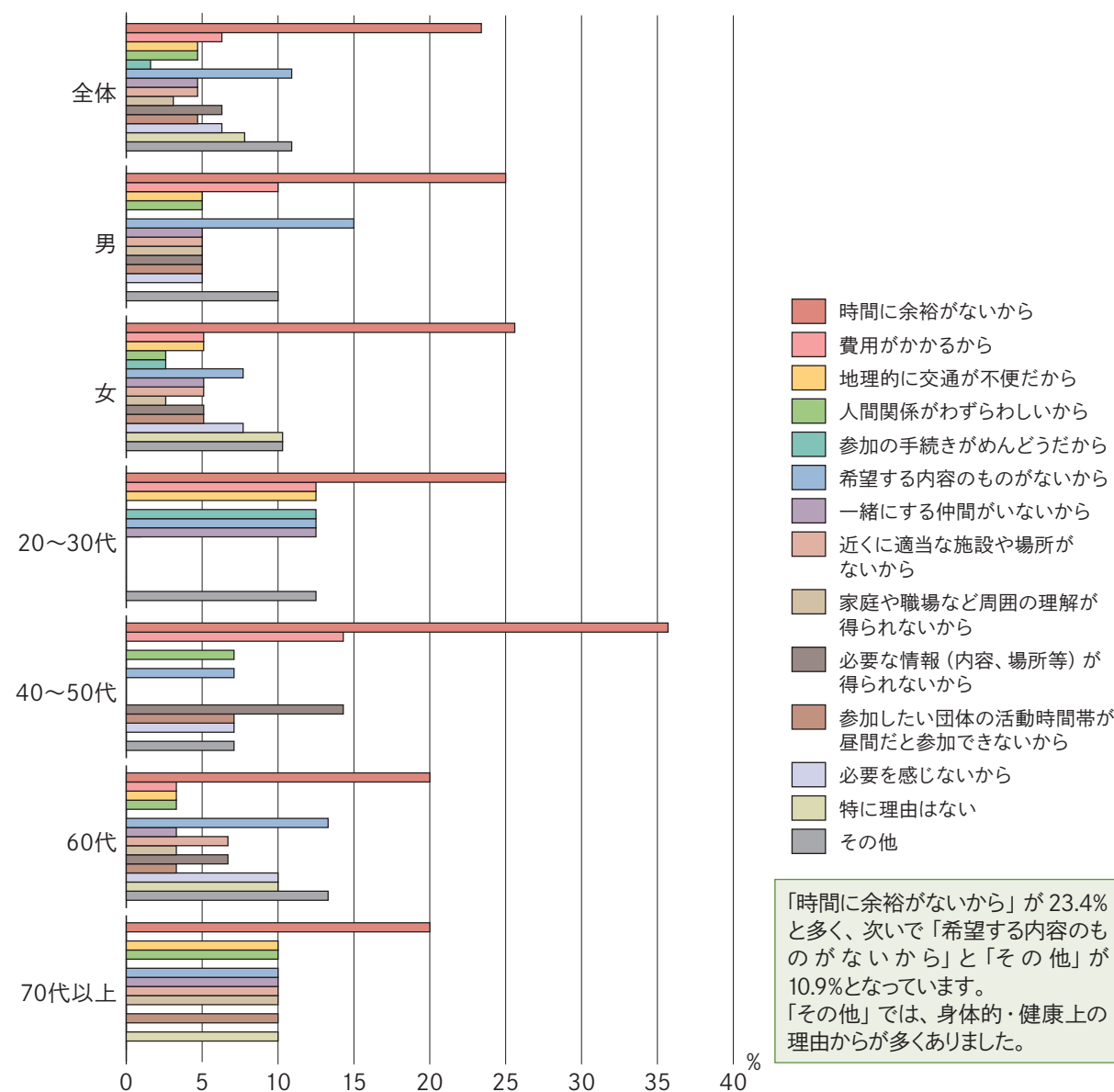


問7-7 【問6で「①ある」と回答した方のみ】

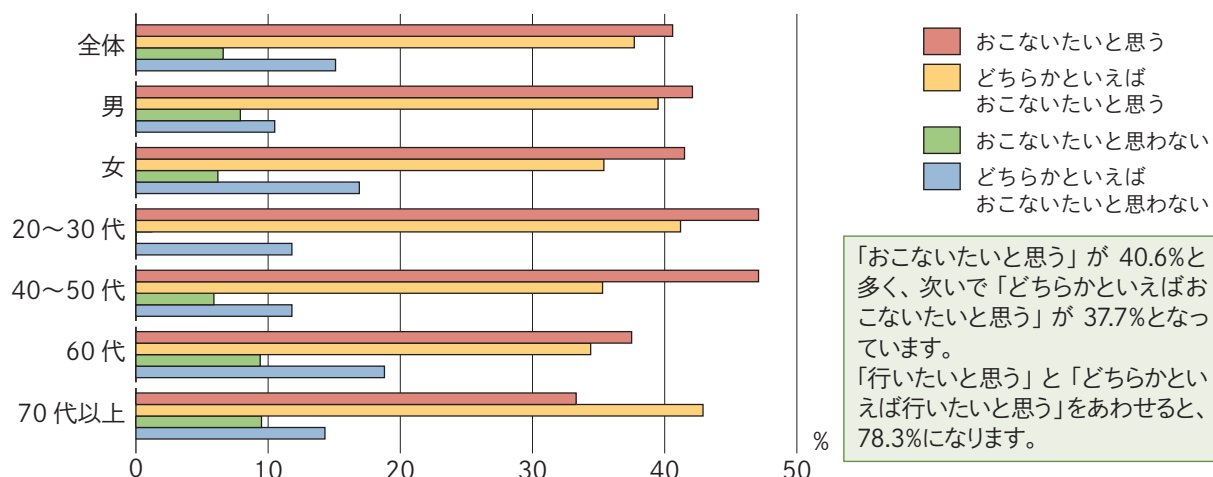
学習や活動をおこなった中で、困ったことはありますか？（○は主なもの3つまで）



問8 【問6で「②ない」と回答した方のみ】
学習や活動をしなかったのはなぜですか？（○は主なもの3つまで）

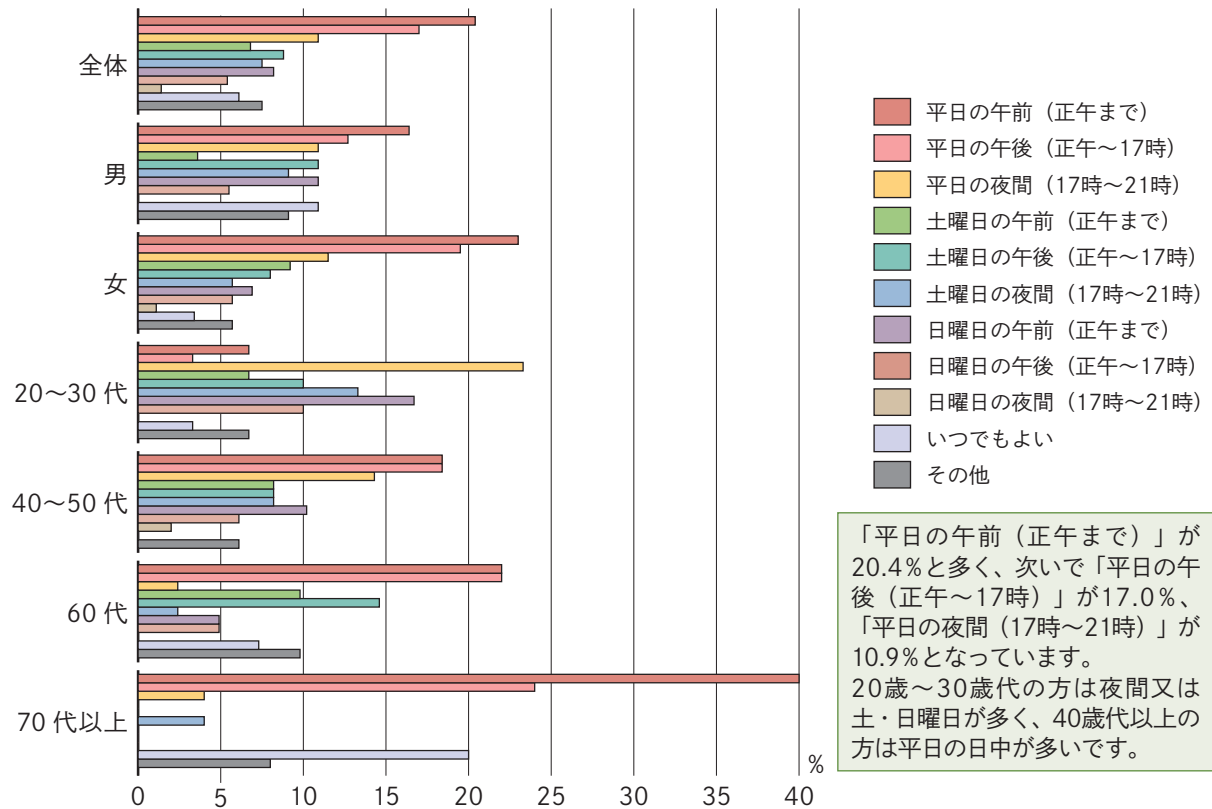


問9-1 今後、学習や活動をおこなうことについて、どう思われますか？（○は1つだけ）



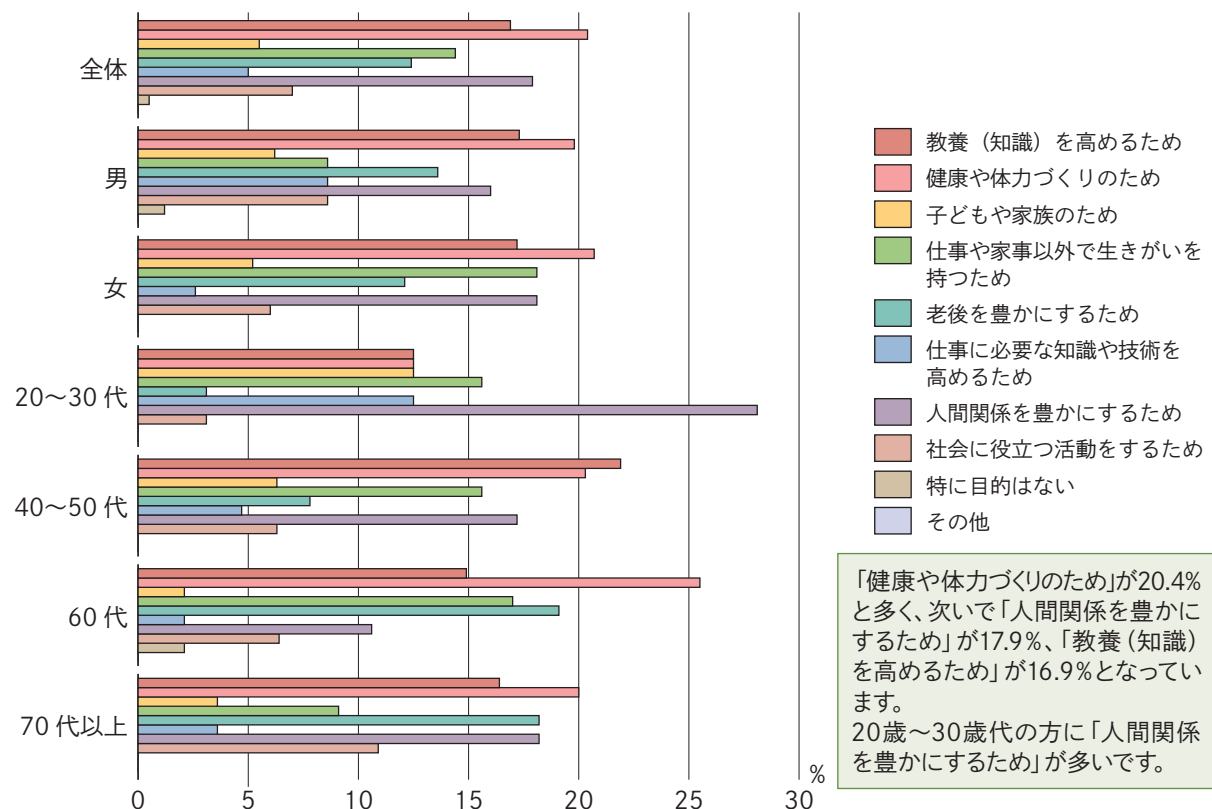
問 9-2 今後、学習や活動をおこなうとしたら、どの時間帯が活動できますか？

(○はいくつでも)



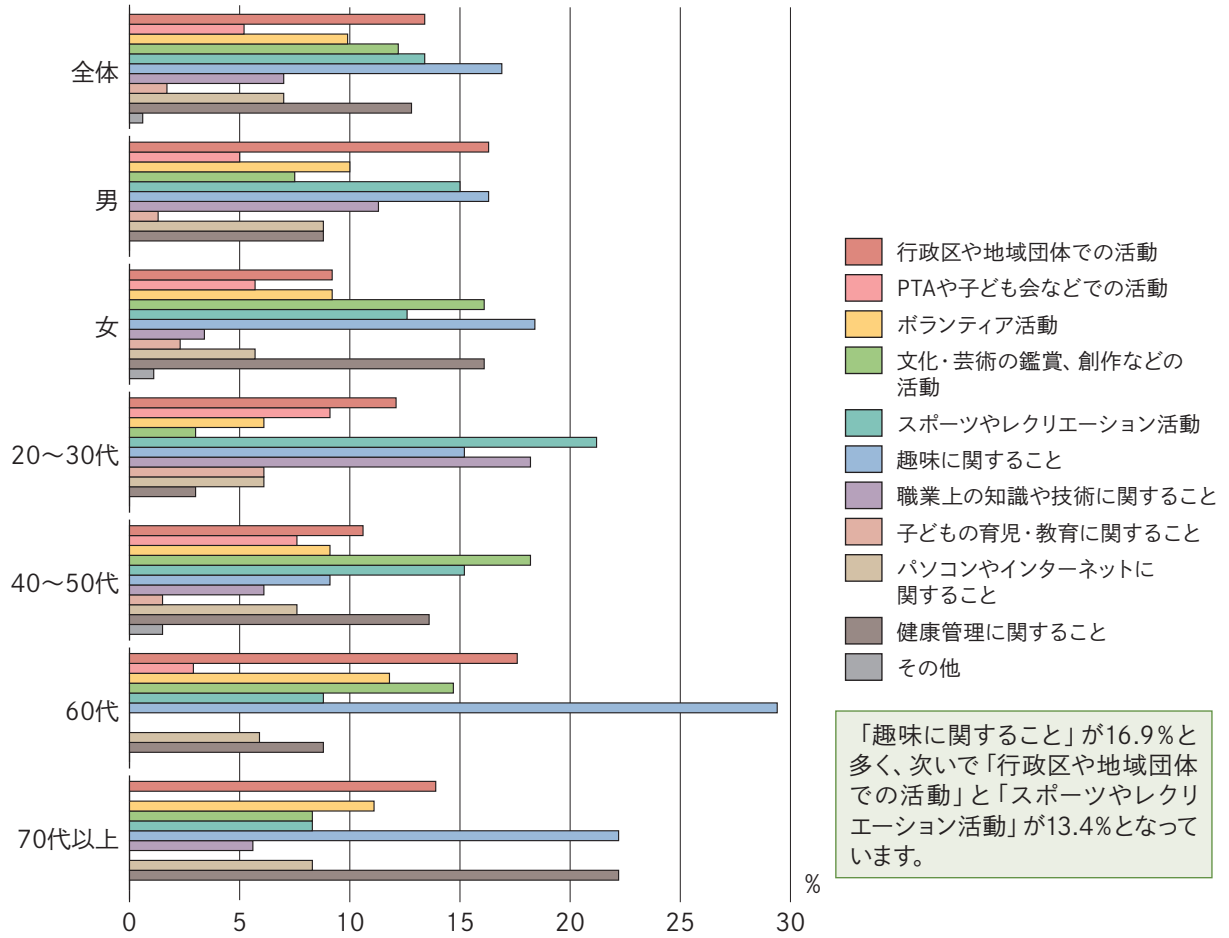
問 10-1 【問 9-1 で「①、②」を選択した方のみ】

今後、どのような目的で、学習や活動を行おうと考えていますか？ (○はいくつでも)



問 10-2 【問 9-1 で「①、②」を選択した方のみ】

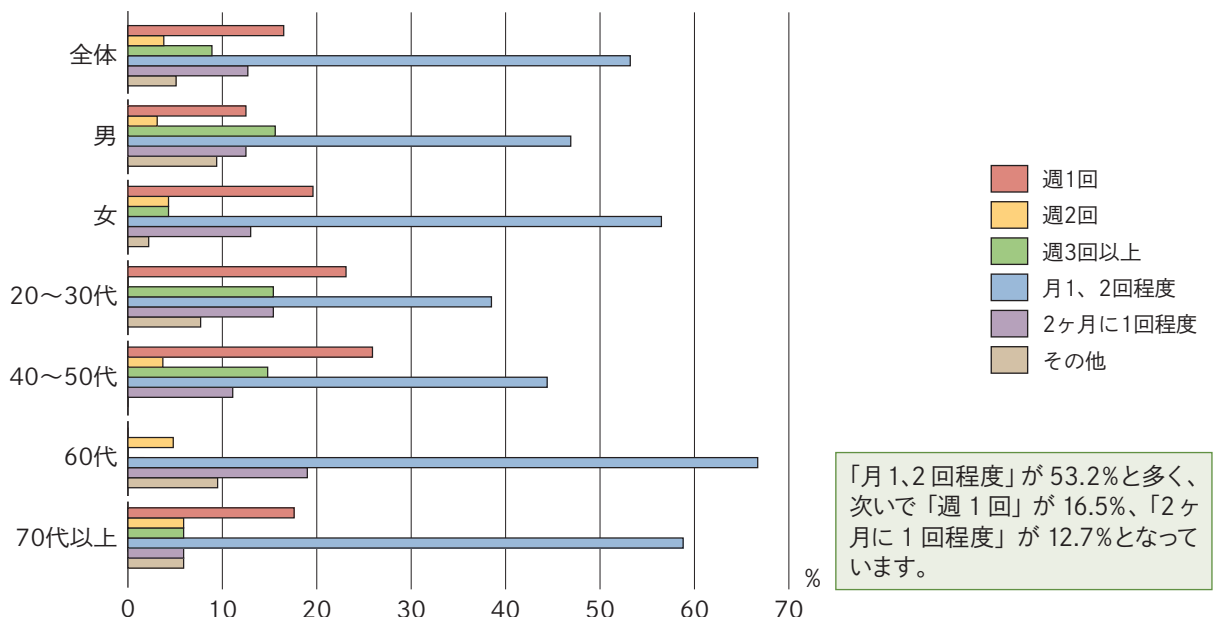
今後、行おうと考えている学習や活動は、どのようなものですか？（○はいくつでも）



問 10-3 【問 9-1 で「①、②」を選択した方のみ】

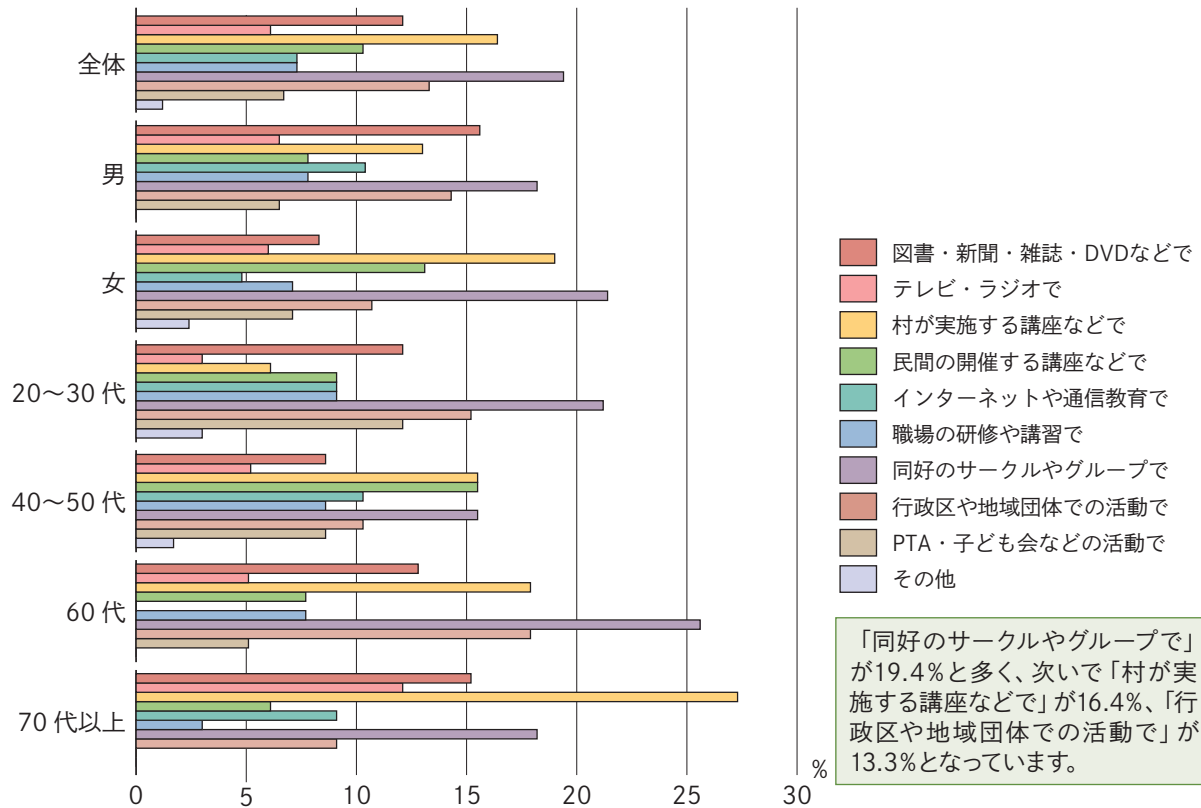
今日、人々のライフスタイル(生活様式)が多様化しております。

あなたが今後望まれる学習や活動の回数(周期)をお答えください。(○は1つだけ)



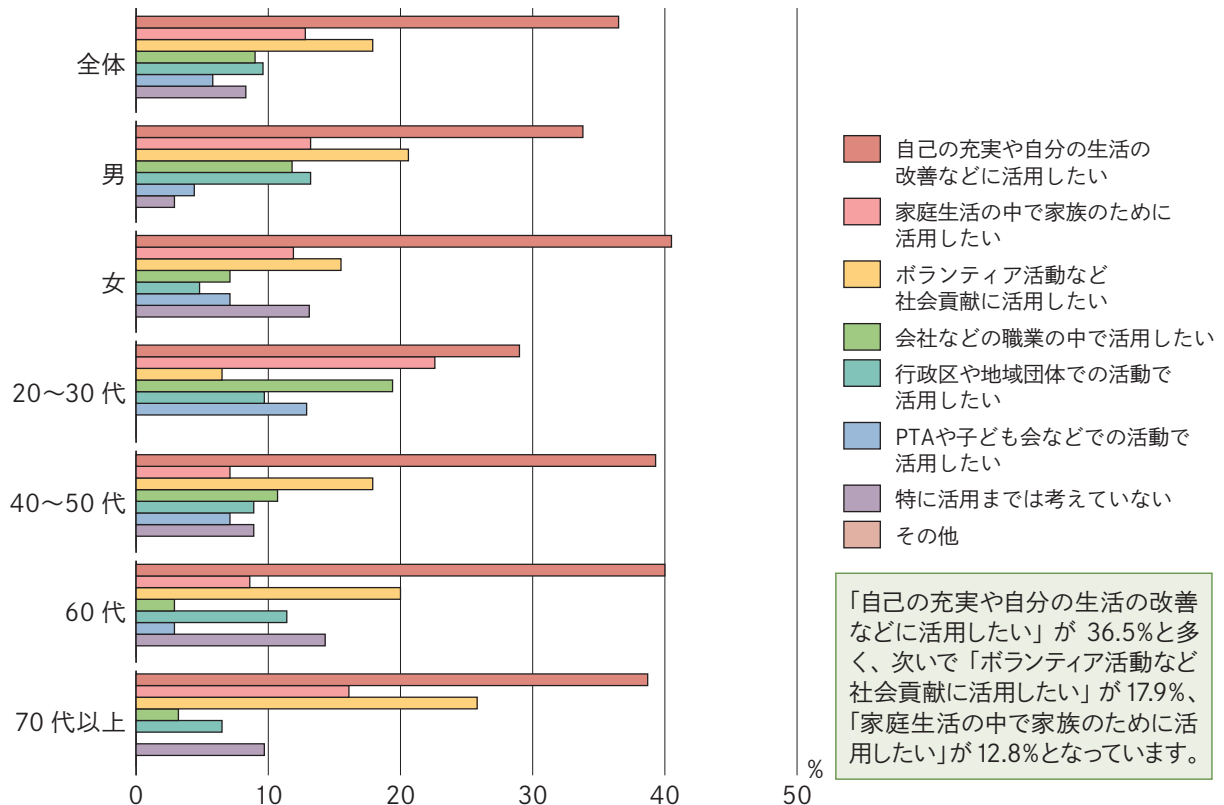
問 10-4 【問 9-1 で「①、②」を選択した方のみ】

今後、学習や活動をどのような方法で、行いたいと思いますか？（○はいくつでも）

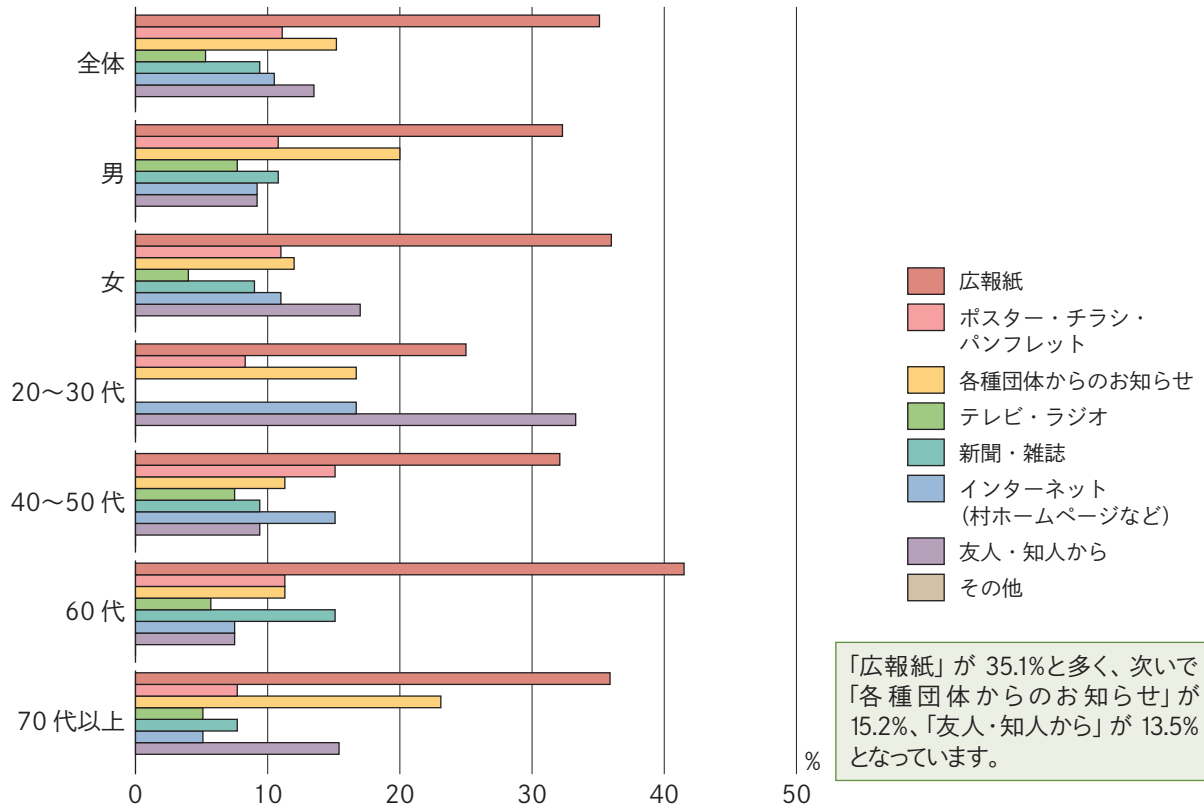


問 10-5 【問 9-1 で「①、②」を選択した方のみ】

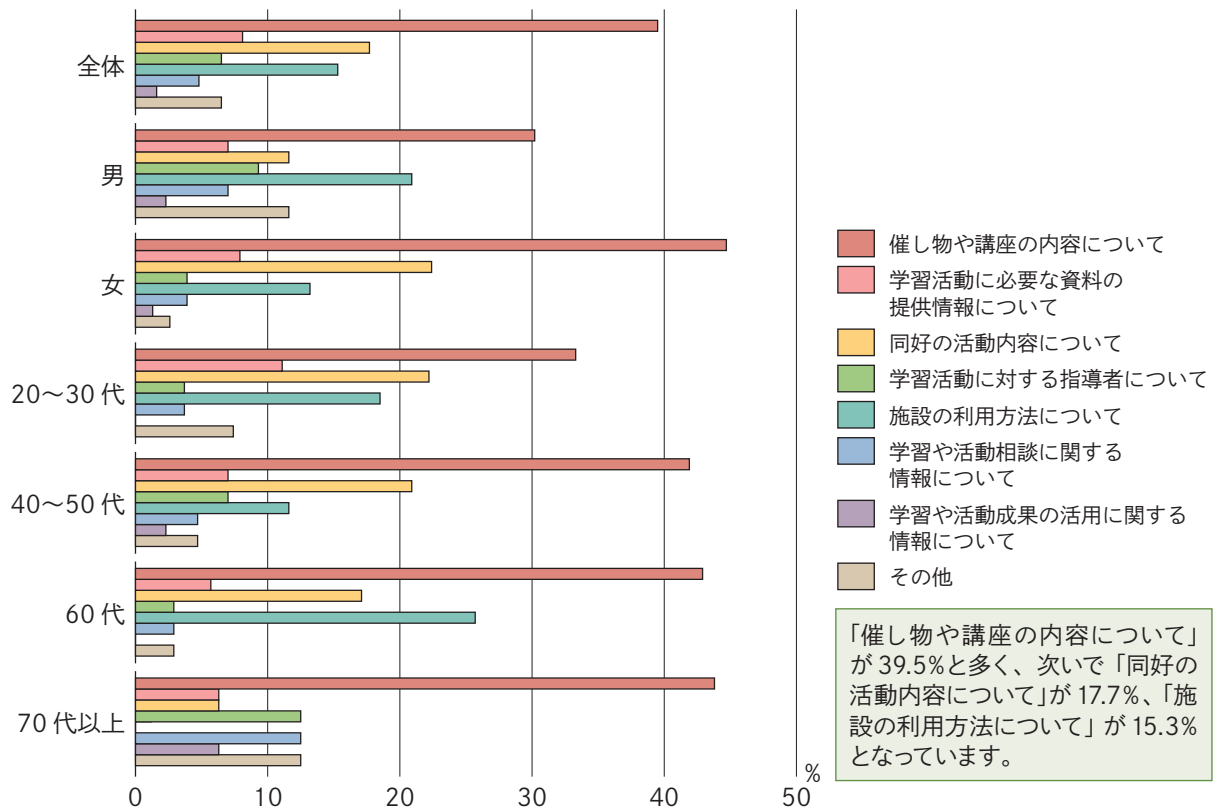
あなたは学習や活動をおこなったものを、今後、どのように活用していきたいと考えていますか？（○はいくつでも）



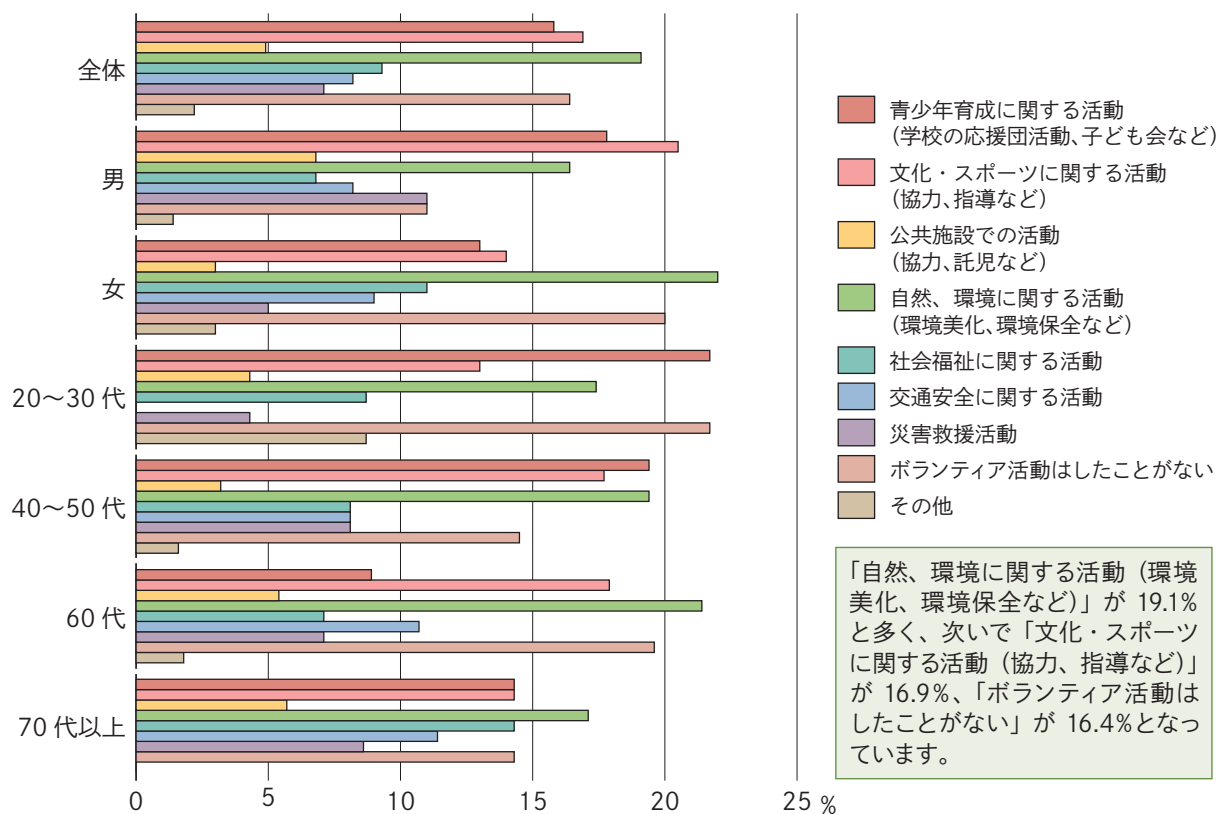
問11 現在、学習や活動をおこなっている、いないにかかわらず、あなたは学習や活動についての情報をどのような方法で得ていますか？（○は主なもの2つまで）



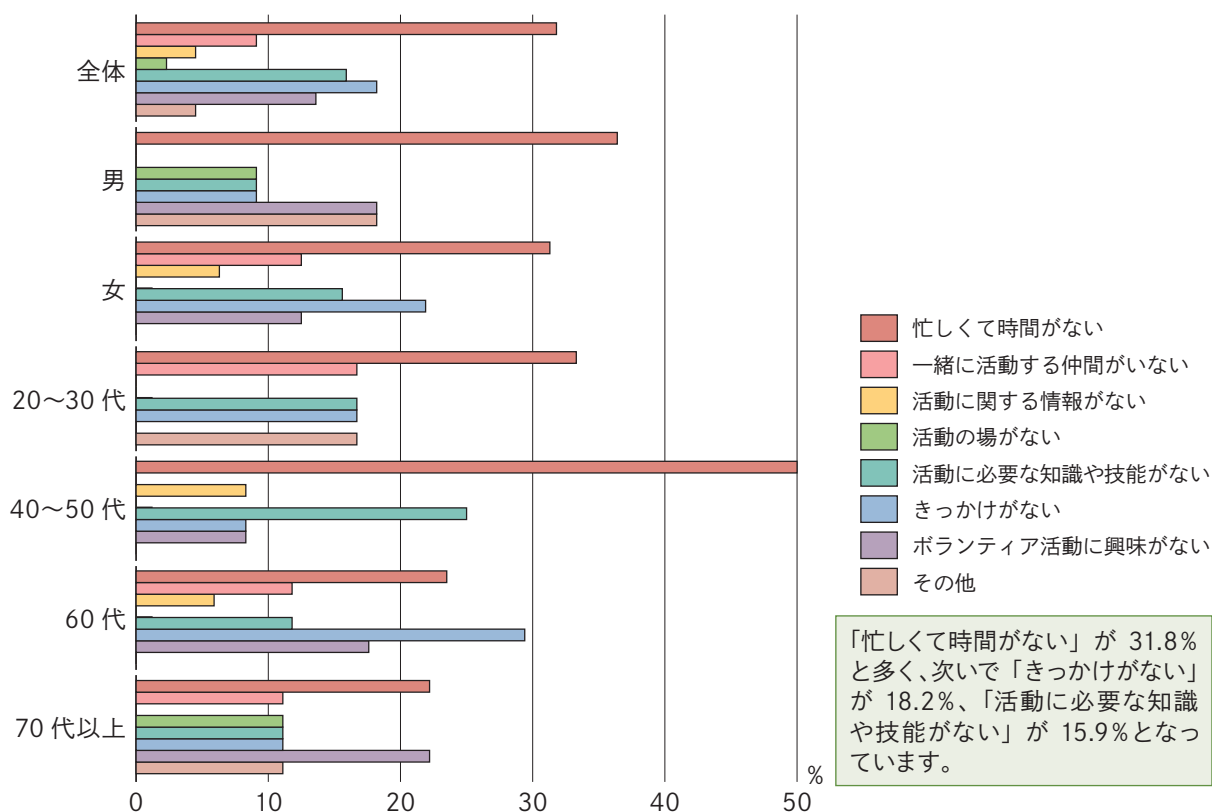
問12 今後学んだり、活動したりするのに、いま以上に、どのような情報があればよいと思いますか？（○は2つまで）



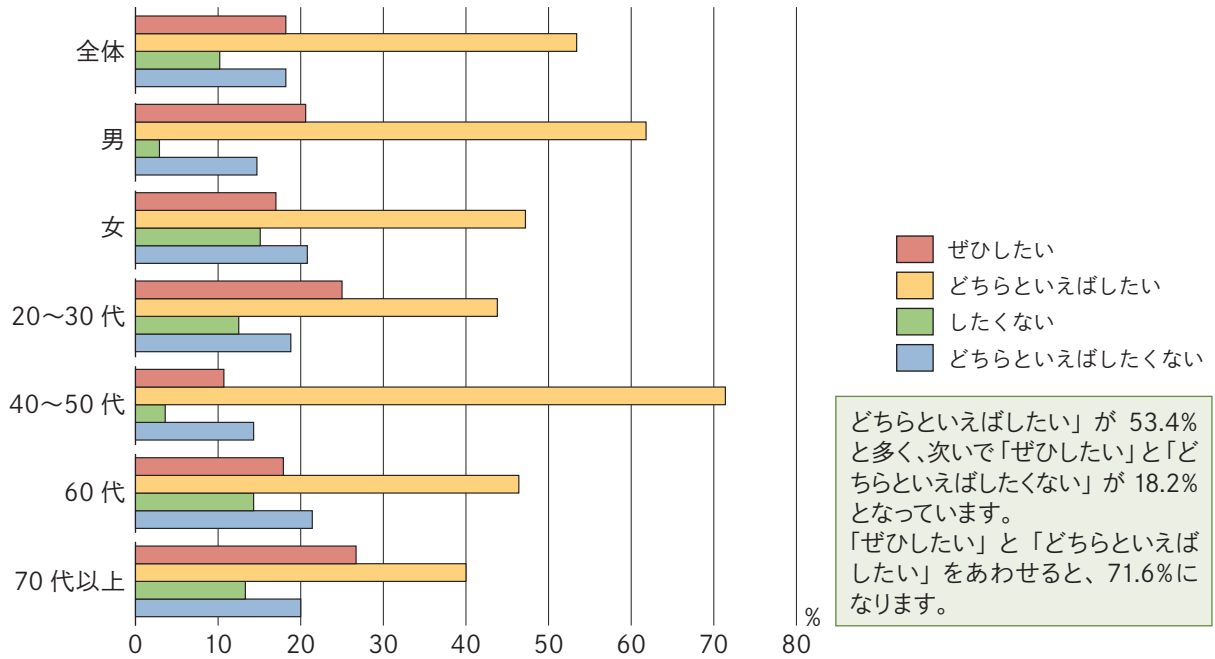
問 13-1 これまでやったことのあるボランティア活動はどのようなものですか？
(○はいくつでも)



問 13-2 【問 13-1 で「⑧ボランティア活動はしたことがない」と回答した方のみ】
その理由は何ですか？ (○は 2 つまで)

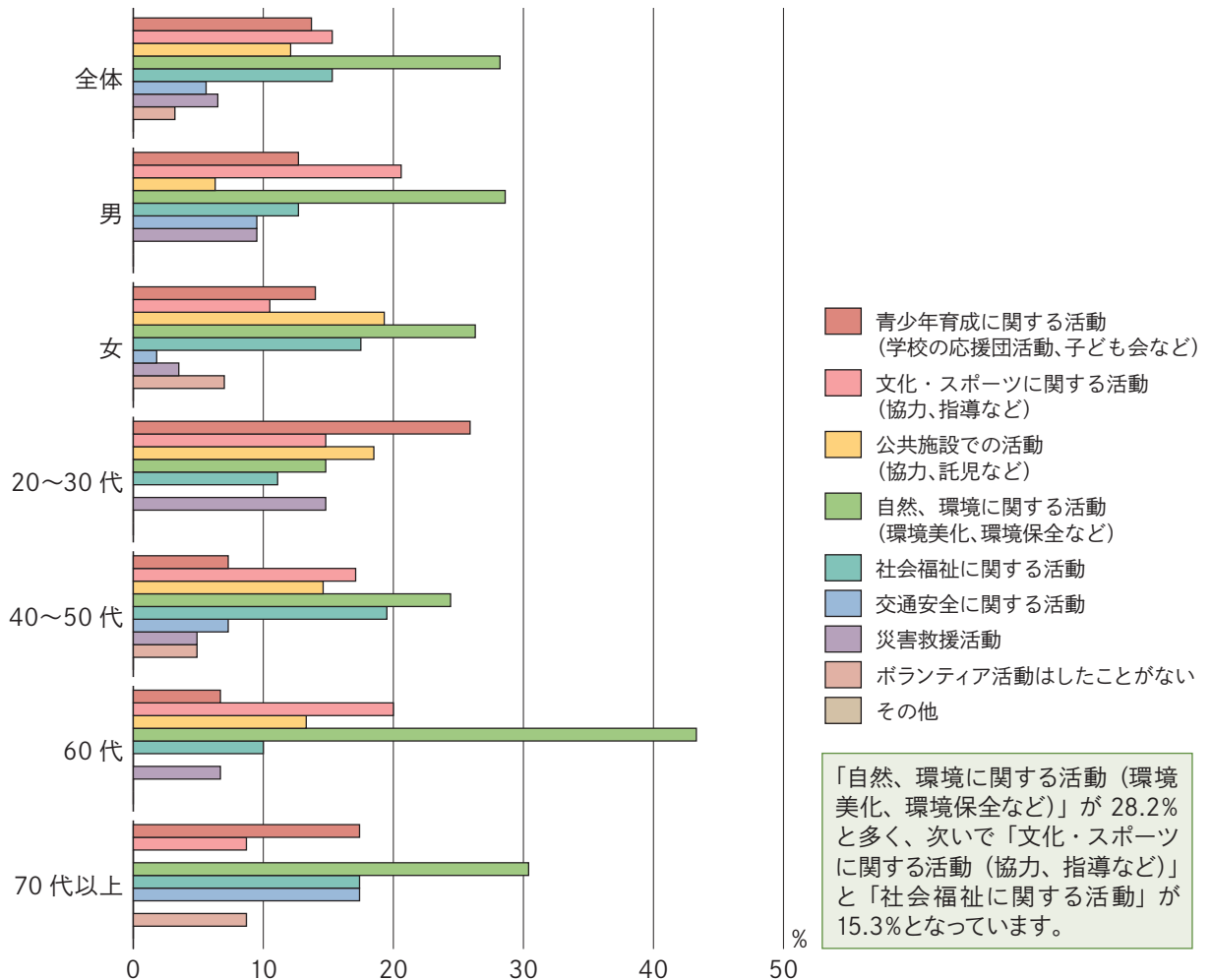


問 14-1 今後、ボランティア活動をしたいと思いませんか？（○は1つだけ）

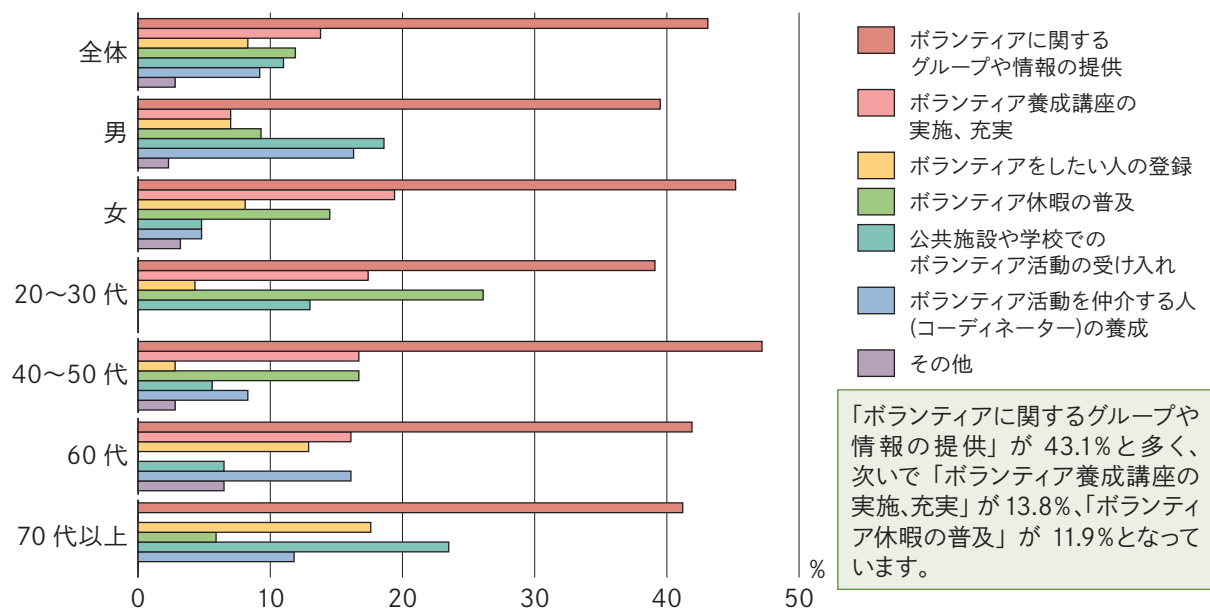


問 14-2 【問 14-1 で「①、②」を選択した方のみ】

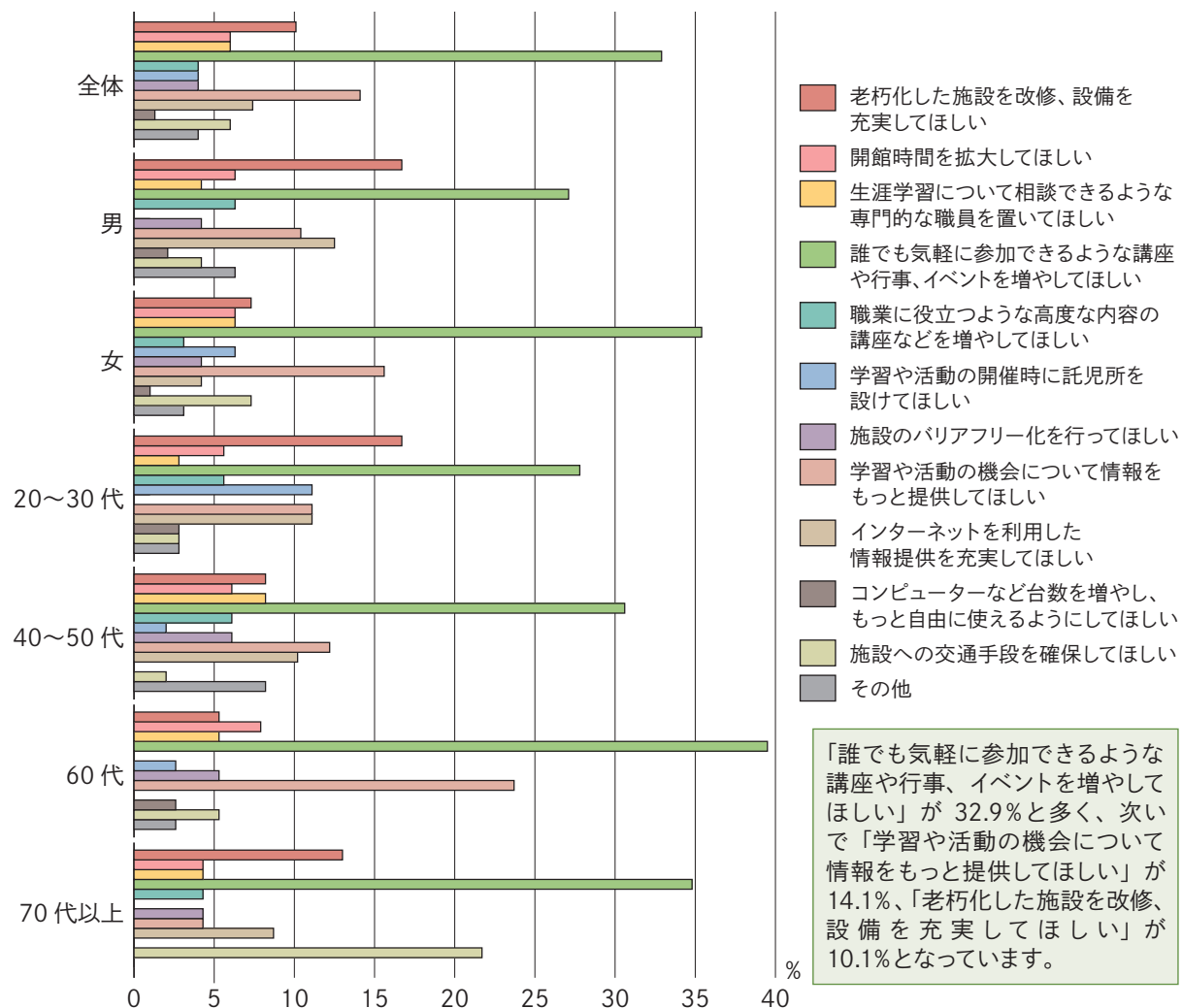
今後、やりたいと思うボランティア活動はどのようなことですか？（○はいくつでも）



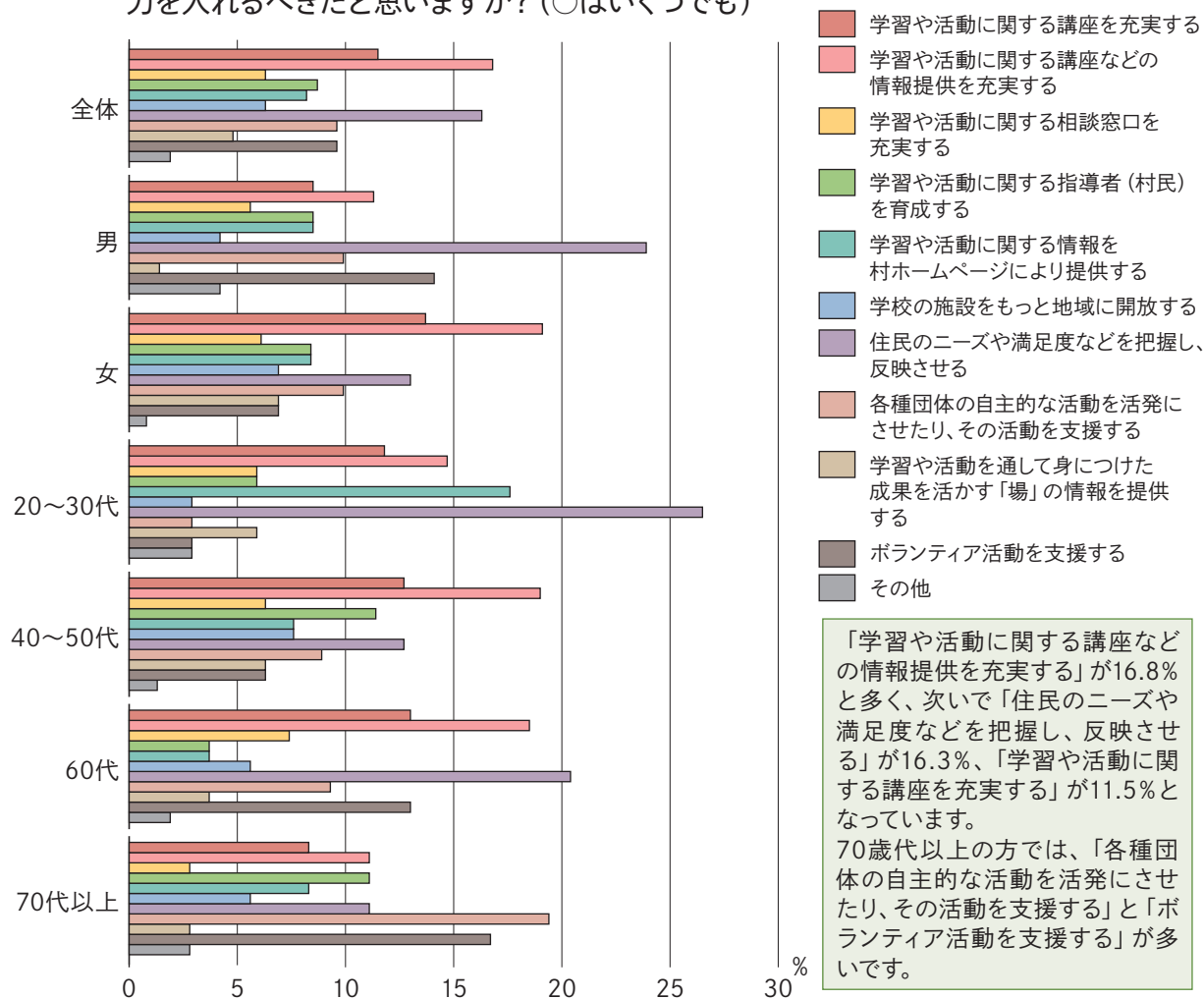
問 15 今後、新たにボランティア活動をしたり、また現在のボランティア活動を充実させたりするために、日ごろ思っていることや希望することはなんですか？(○は2つまで)



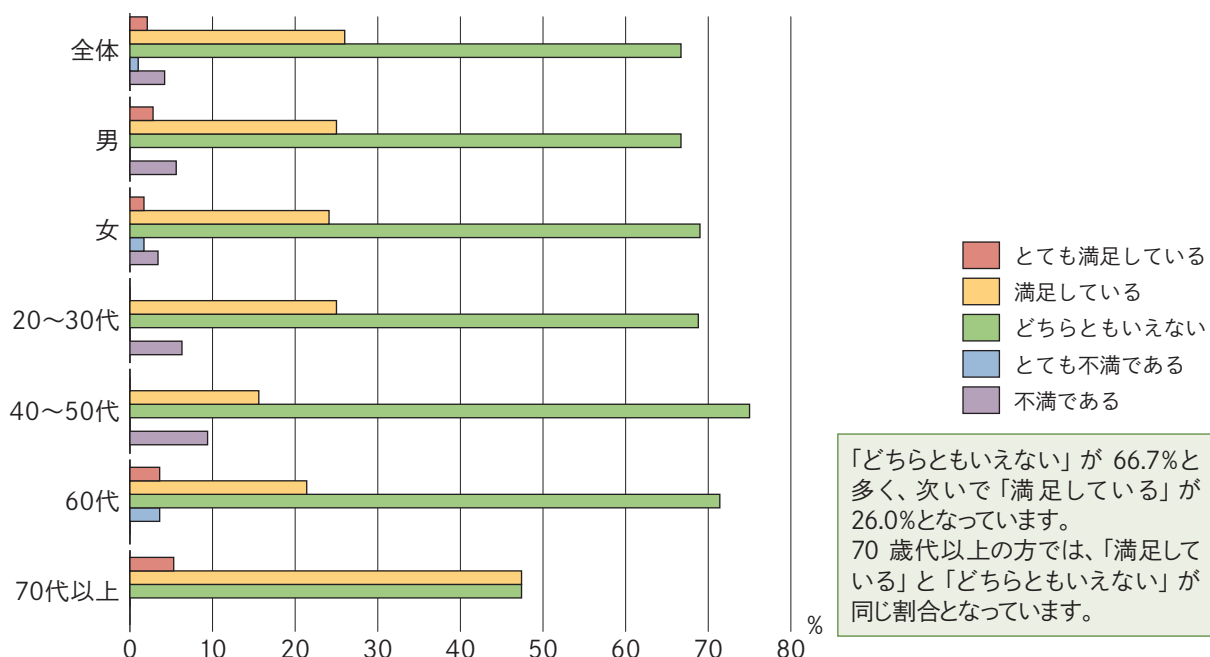
問 16 学習や活動を行うための施設などについて、何か希望や要望はありますか？(○はいくつでも)



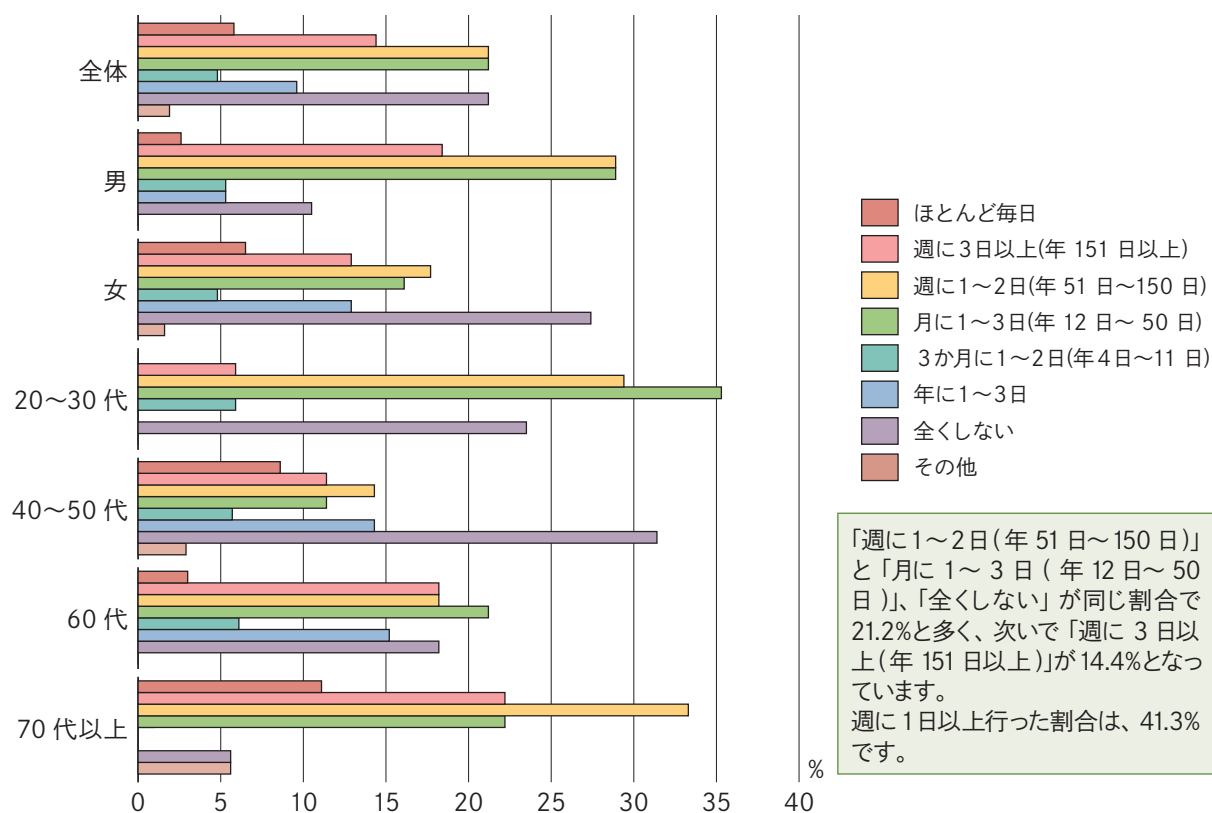
問 17 今後、村民の学習や活動をもっと盛んにしていくために、北塩原村はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか？（○はいくつでも）



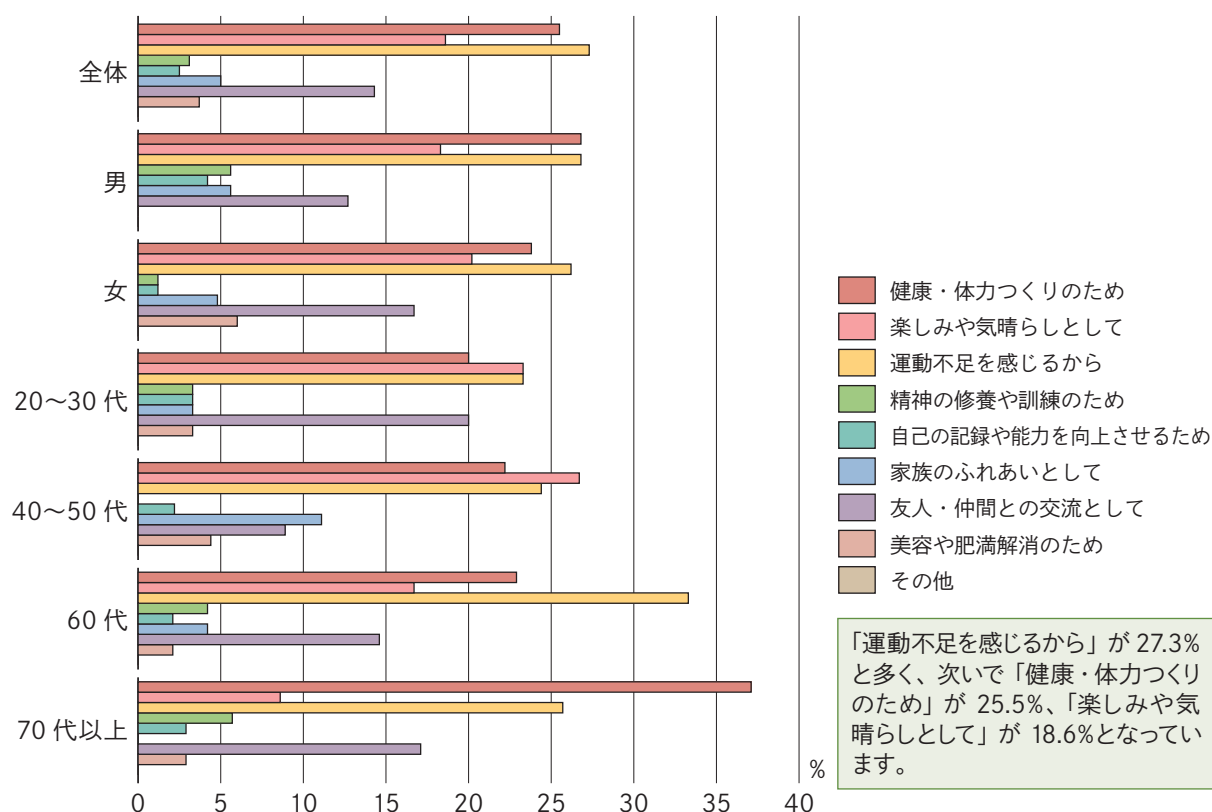
問 18 生涯学習(学習や活動)に関する現在の村のサービス・取り組みについてお聞かせください。(○は1つだけ)



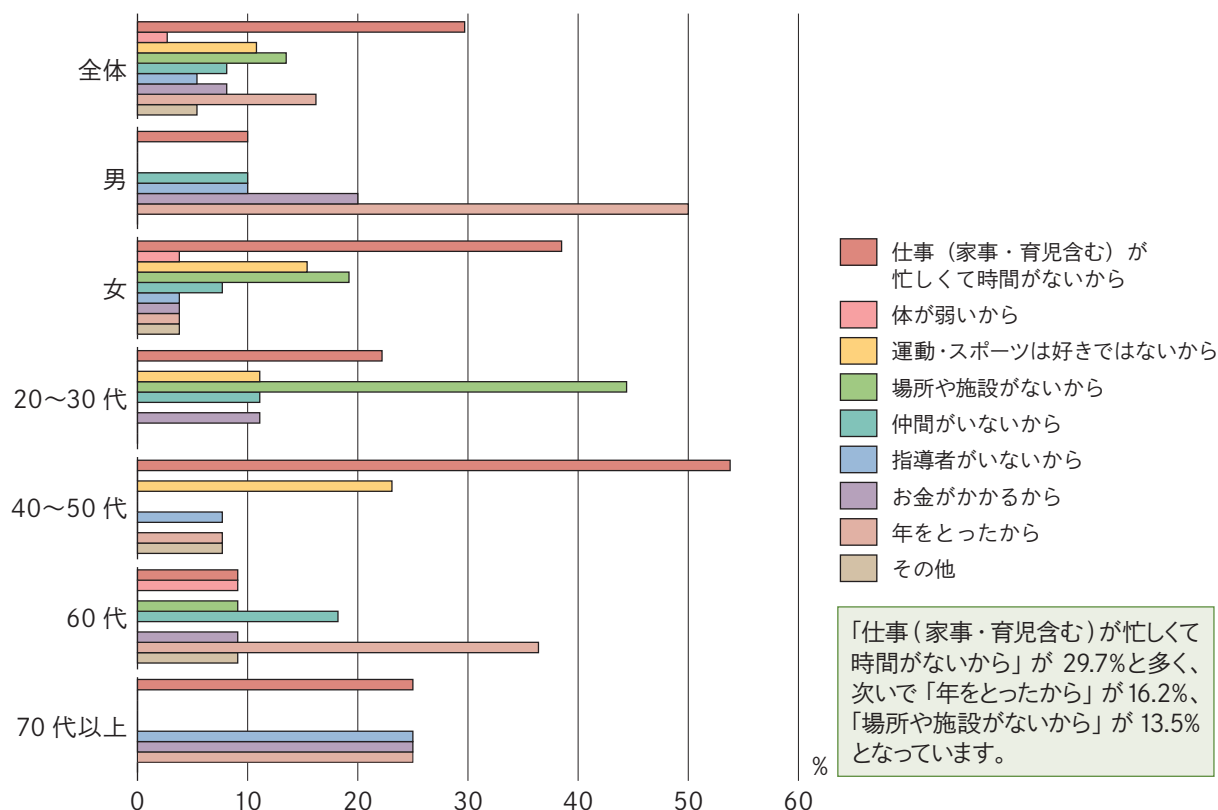
問 19-1 北塩原村では、「村民 1 人 1 スポーツ」運動を推進しています。この 1 年間に運動やスポーツ(散歩などの軽い運動を含める)を行った日数を全部合わせると、何日くらいになりますか。(○は 1 つだけ)



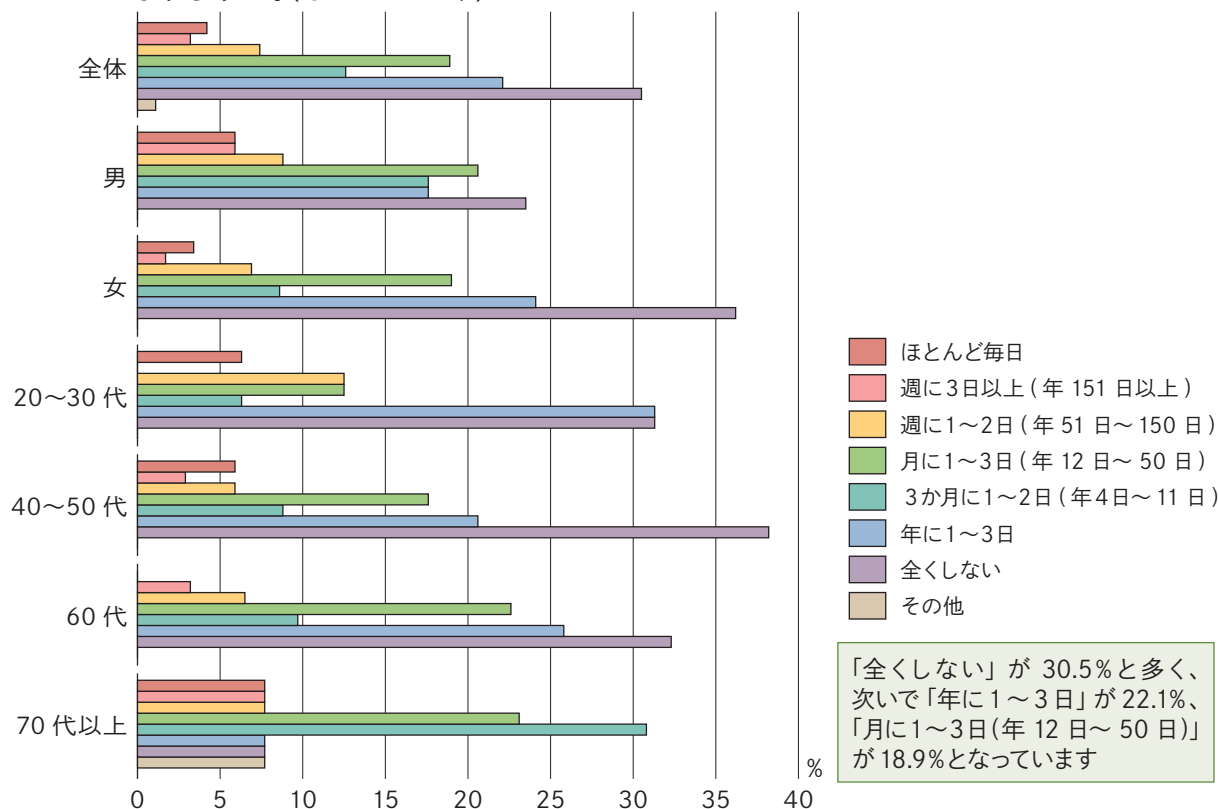
問 19-2 あなたが運動やスポーツをしたのはどのような理由からですか。(○はいくつでも)



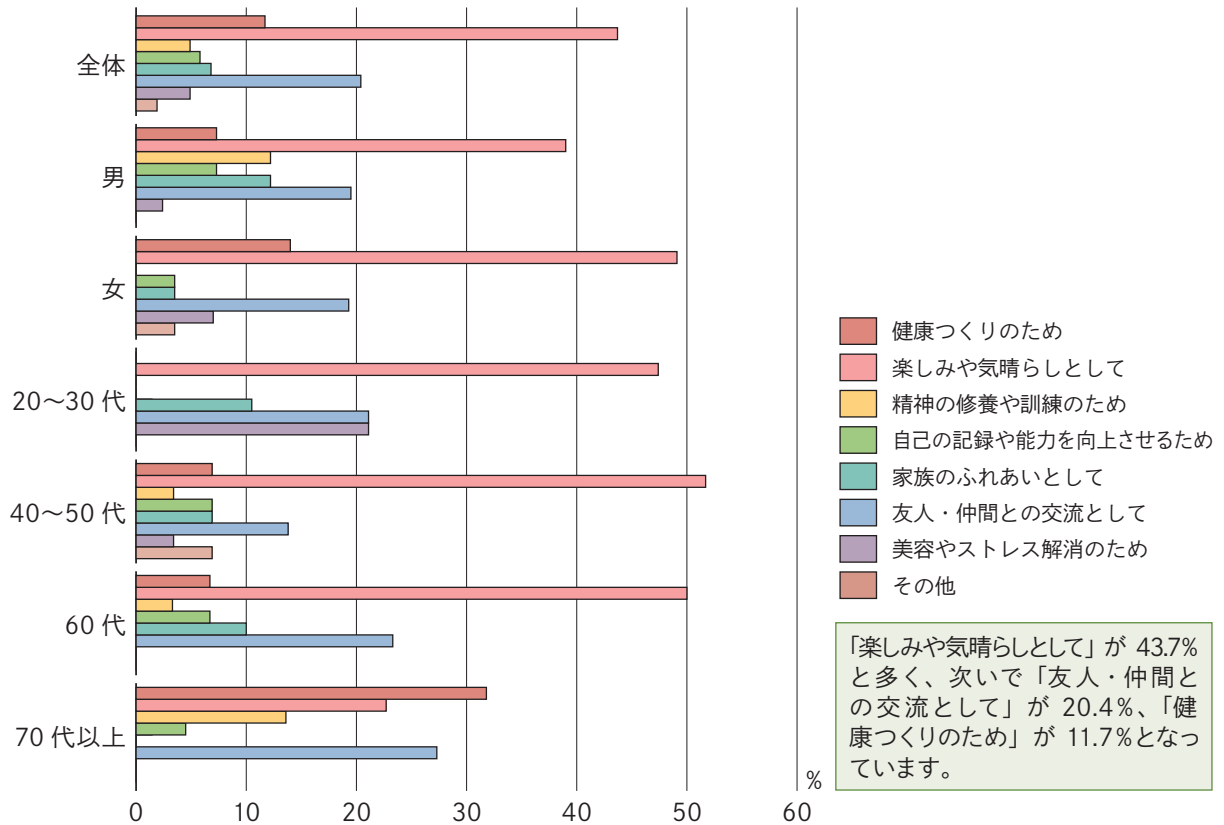
問 19-3 【問 19-1 で「⑦全くしない」と回答した方のみ】
運動やスポーツをしなかったのはどのような理由からですか？（○はいくつでも）



問 20-1 北塩原村では、「村民 1 人 1 文化」運動を推進しています。この 1 年間に文化・芸術の鑑賞や創作、趣味などの文化的な活動を行った日数を全部合わせると、何日くらいになりますか。（○は 1 つだけ）

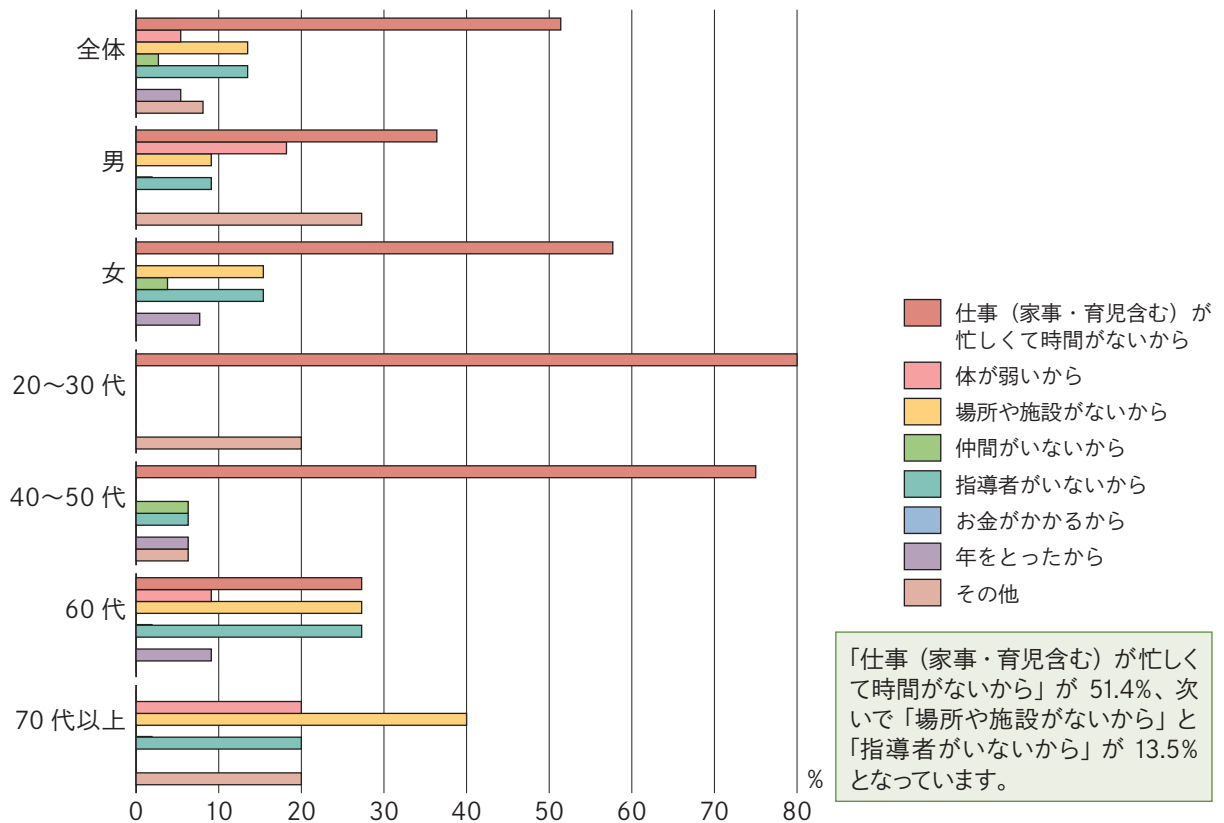


問 20-2 あなたが文化的な活動をしたのはどのような理由からですか。(○はいくつでも)

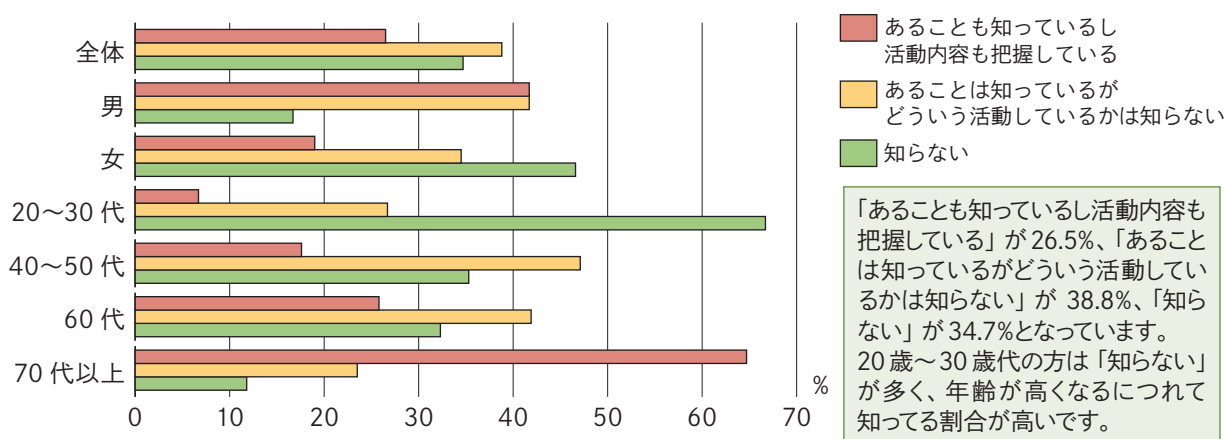


問 20-3 【問 20-1 で「⑦全くしない」と回答した方のみ】

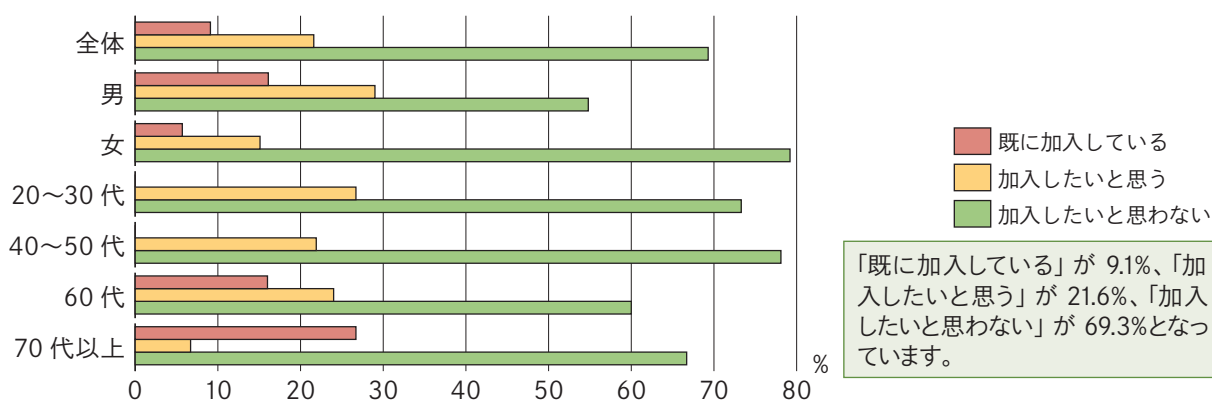
文化的な活動をしなかったのはどのような理由からですか？(○はいくつでも)



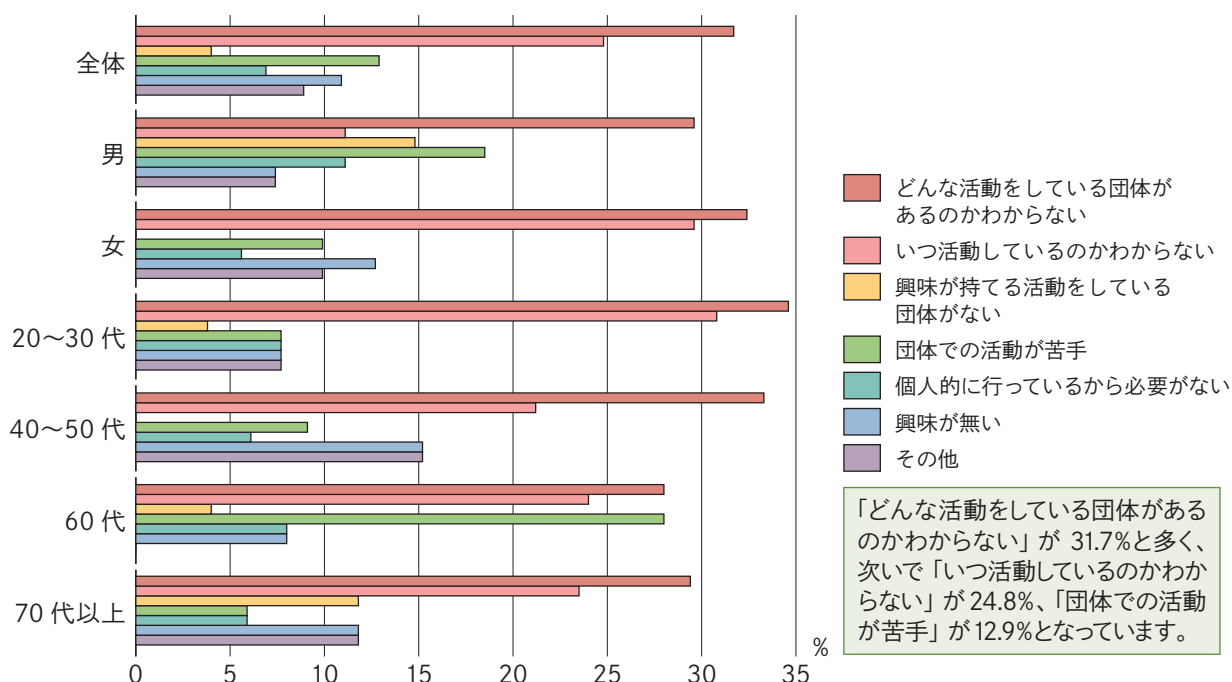
問 21-1 北塩原村には、運動やスポーツ、文化活動をおこなう団体として、北塩原村体育協会と北塩原村文化団体連絡協議会という団体がありますが、知っていますか？（○は1つだけ）



問 21-2 北塩原村体育協会や北塩原村文化団体連絡協議会に加入し、活動したいと思いますか？（○は1つだけ）



問 21-3 【問 21-2 で「③参加したいと思わない」と回答した方のみ】
参加したいと思わないのは、どのような理由からですか？（○はいくつでも）



問 22 北塩原村では、生涯学習(学習や活動)を推進していきたいと考えております。
このことについて、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

- ◇以前村が発するカレンダーの裏側に村の名人等の名前を載せてありましたが、字になって載っているだけであまりにも活用がされてなかったように思われますが、事務の方が多忙なためか活用してこそその名人だとおもいますが如何でしょうか？(北山地区・70歳代・男性)
- ◇私は特定の方のみお付き合いしか出来ないのですが生涯学習はとても良い事だと思います。ぜひ続けて欲しいと思います。(北山地区・60歳代・女性)
- ◇長く長寿会その他やってきましたが現在は介護状態でまったく参加も出来ずに残念です。これからの生涯学習の発展を心よりお祈り申し上げます。(不明)
- ◇北塩原、猪苗代方面と立地条件が全くちがうので村全体が一致しているとは思えず、難しいところがあるとは思いますがみんなで知恵をだし良い方向にもって行き村全体の生涯学習にしてほしい。参加する人が増えるとおもいます。関係者の方々のこれからの方向性に期待しています。(不明)
- ◇村民1人1スポーツとありましたが、子どもから大人までいつでも利用できるスペース(公園+グラウンド又は散歩コースなど)が充実している施設があるとうれしいです。無料で開放してもらえると、村民間で触れ合いが増し、子ども同士遊ばせられる場所が親も家族も安心です。(北山地区・30歳代・女性)
- ◇小学校の子どもは村イベントに参加させて頂き楽しんでいます。大人は仕事や家事があり中々参加できませんが子どもが中学生以上になると休日の時間もとれるので楽しく出来る心と体のリフレッシュできるイベントを期待しています。(北山地区・40歳代・女性)
- ◇60～70、80才以上の年齢別に出来ることと高齢者全体でできることの活動があると入りやすい面もあると思う。昔より役所の対応がやわらかくなってありがとうございます。(北山地区・60歳代・女性)
- ◇子どもについてもっと支援してほしい。(裏磐梯地区・30歳代・女性)
- ◇選んでいただきありがとうございます。折角なのでこんな提案をしてみます。村の空き家を使ってDIY教室をやるのはどうでしょうか？参加者は材料費のみの負担で、本物の大工さんやインテリアコーディネーターの先生を呼んで定期的に開催する。空き家の維持管理もできて一石二鳥。あと、個人的にはCADやイラストレーターの教室があれば参加したい。(北山地区・30歳代・男性)
- ◇改めて生涯学習について考えさせられました。今後、自分の為にも様々な事にチャレンジしていきたいと思いました。子どもと参加できるものには積極的に足を運びたいと思います。(北山地区・30歳代・女性)
- ◇村の野菜や果物、花豆、桧原湖にいる川魚など使った料理やスイーツなどを教えてほしい。料理教室などをやってほしい。お年寄りの作った漬物、煮物などとてもおいしかった。(北山地区・70歳代・男性)
- ◇いろいろと積極的に生涯学習を推進していただきたいと思います。(裏磐梯地区・40歳代・男性)

- ◇友人に聞いた話で面白いと思ったのは住んでいる人の中で自分の持っている知識の講座を自選で募集するというものです。(友人は「源氏物語」について講座を自選提出したこと。(近くだったら聞いてみたかったけれど遠いので無理でした。)募集して5人以上(だったと思う)集まったら開催して、講師料(1回2000円位)ももらうということでした。地方の小都市だからできるのかもと思いますが。(裏磐梯地区・60歳代・男性)
- ◇最近喜多方市在住の方から(たまたま会話の流れですが)北塩原村の教育活動に注目していると言われました。児童、生徒やその親が参加できる活動が今以上にあり、それをPR出来る場が増えたらいいなと思います。先日交流フェスタに参加したのですが、おじいちゃん、おばあちゃんが本当に楽しそうでこちらまで嬉しくなっていました。とてもいいイベントだと思います。(大塩地区・30歳代・女性)
- ◇活動、講座に関してはやはりさまざまな年齢層に対応させるべきかと思います。現在の村の取組やサービスはどちらかという高齢者向きのように思います。(桧原地区・50歳代・女性)
- ◇もっと若い人が積極的に参加しやすいような環境を作って行くべきだと思います。このアンケートのように各家庭にもっと情報を提供していくことが、より良いのかなと思いました。(大塩地区・20歳代・男性)
- ◇貴重な時間が無駄にならない様な学習。(裏磐梯地区・70歳代・男性)
- ◇地域や年代によって活動は様々なので、村で募集している活動に参加するのは難しいことがほとんどです(日程など)。今年の女性の活動に補助金をだします!は良かったです。まずは集まりやすいグループに応じて補助金などを出し、活動を活発にすることから始めてみてはいかがでしょうか。地域や仲間など参加しやすい小さなグループから発展させていく方向の方が参加率が高くなると思います。皆、何かやりたい!と思っているので、きっかけ作り、後押しをしていただけるとうれしいです。(裏磐梯地区・50歳代・女性)
- ◇寝たきりの身体になってしまったのでアンケートの協力することが出来ません。少しでも読んでみましたけれどわからないのでこのままにします。申し訳ありません。(桧原地区・70歳代・男性)
- ◇退職し時間を見つけられるようになったらぜひ参加したいと思っております。楽しい企画楽しみにしています。(大塩地区・50歳代・女性)
- ◇学習したいと思うがなかなか参加できません。幅広く学習したいと思う人が増えるように広報の仕方を工夫してみたらどうかと思う。(桧原地区・60歳代・男性)
- ◇体がだんだん衰えてきているのを感じる今日この頃です。運動をしたいと思っていますがなかなか1人では難しいので皆で体を動かせるような体操やヨガなどの活動があれば参加します。(桧原地区・60歳代・女性)
- ◇現在、村にどのような団体があり、どのような活動が行われるか、ほとんどわからないので簡単に情報を知る事ができればいいなあとと思います。(北山地区・40歳代・女性)



第四次北塩原村生涯学習推進計画策定に基づく 団体アンケート調査 報告書

1. 調査の目的

「第四次北塩原村生涯学習推進計画」の策定にあたり、村内で活動する各種団体の状況・意見・要望などを把握し、計画策定のための基礎資料を得ることを目的とします。

2. 調査方法

- (1) 調査対象 体育協会加盟団体の代表者 23団体
文化団体連絡協議会加盟団体の代表者 15団体
上記に加盟していない村内で活動する団体の代表者 12団体
計 50団体
- (2) 抽出方法 全数調査
- (3) 配布・回収方法 郵送による配布・回収
- (4) 実施期間 平成29年9月29日～10月10日

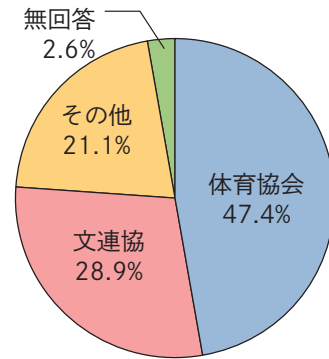
3. 回収結果

- (1) 回収数 38 (団体)
- (2) 有効回収数 38 (団体) (有効回収率=76.0%)
 - 団体比 78.3% (体育協会)
 - 73.3% (文化団体連絡協議会)
 - 66.7% (その他の団体)



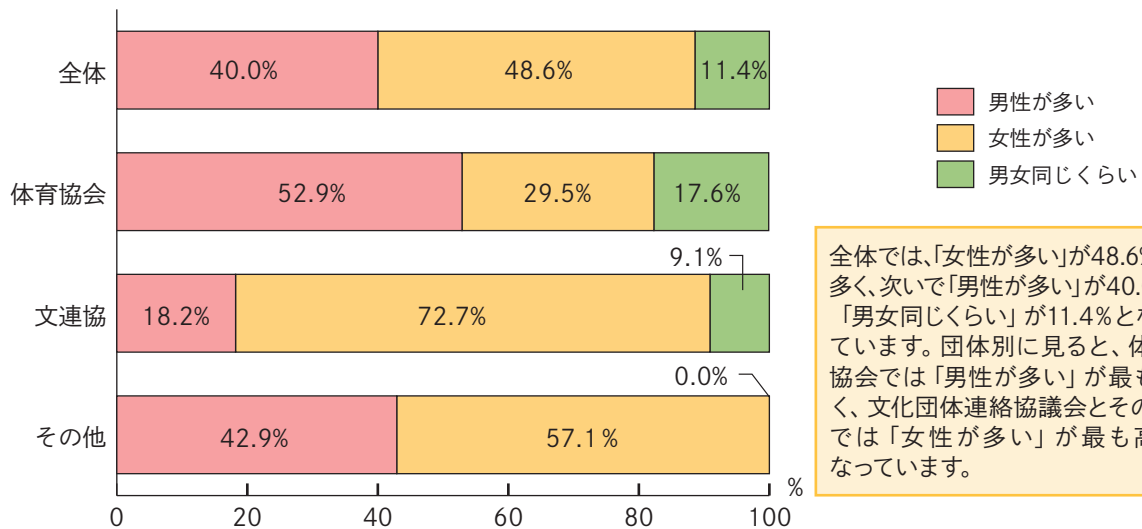
回答いただいた団体の割合

	回収数	配布数	回収率	団体比率
体育協会	18	23	78.3%	47.4%
文連協	11	15	73.3%	28.9%
その他	8	12	66.7%	21.1%
無回答	1	-	-	2.6%
計	38	50	76.0%	



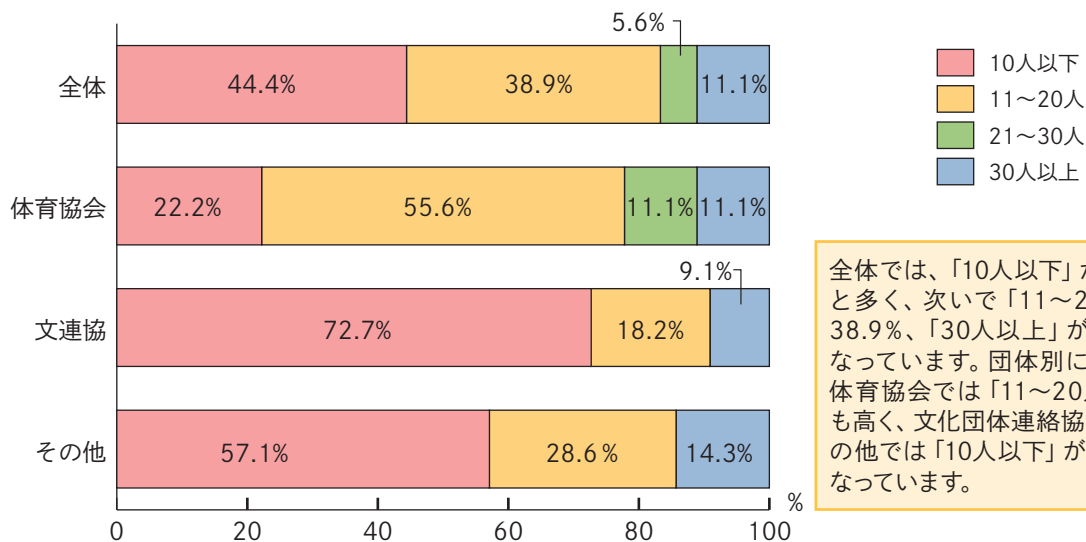
「体育協会」が 47.4%と多く、次いで「文化団体連絡協議会」が 28.9%、「その他」が 21.1%となっています。

問1-1 団体の男女比をお答えください。(○は1つだけ)



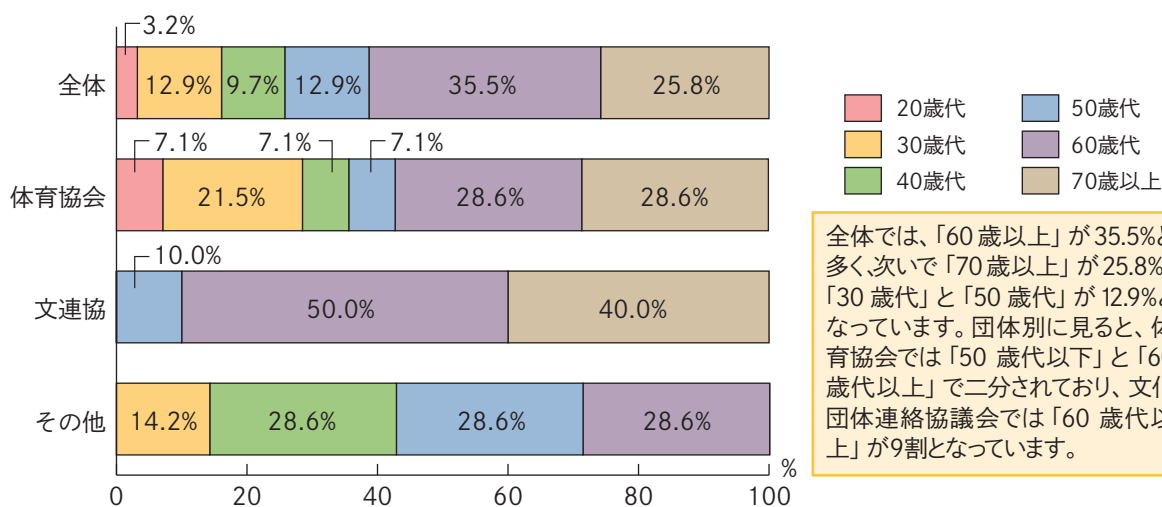
全体では、「女性が多い」が48.6%と多く、次いで「男性が多い」が40.0%、「男女同じくらい」が11.4%となっています。団体別に見ると、体育協会では「男性が多い」が最も高く、文化団体連絡協議会とその他では「女性が多い」が最も高くなっています。

問1-2 団体の人数をお答えください。(○は1つだけ)

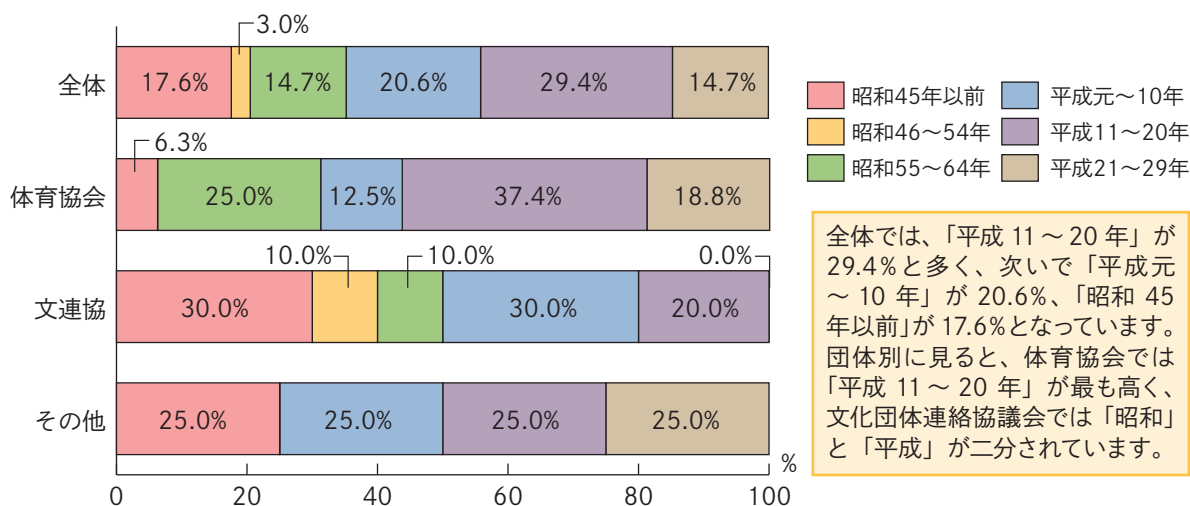


全体では、「10人以下」が44.4%と多く、次いで「11~20人」が38.9%、「30人以上」が11.1%となっています。団体別に見ると、体育協会では「11~20人」が最も高く、文化団体連絡協議会とその他では「10人以下」が最も高くなっています。

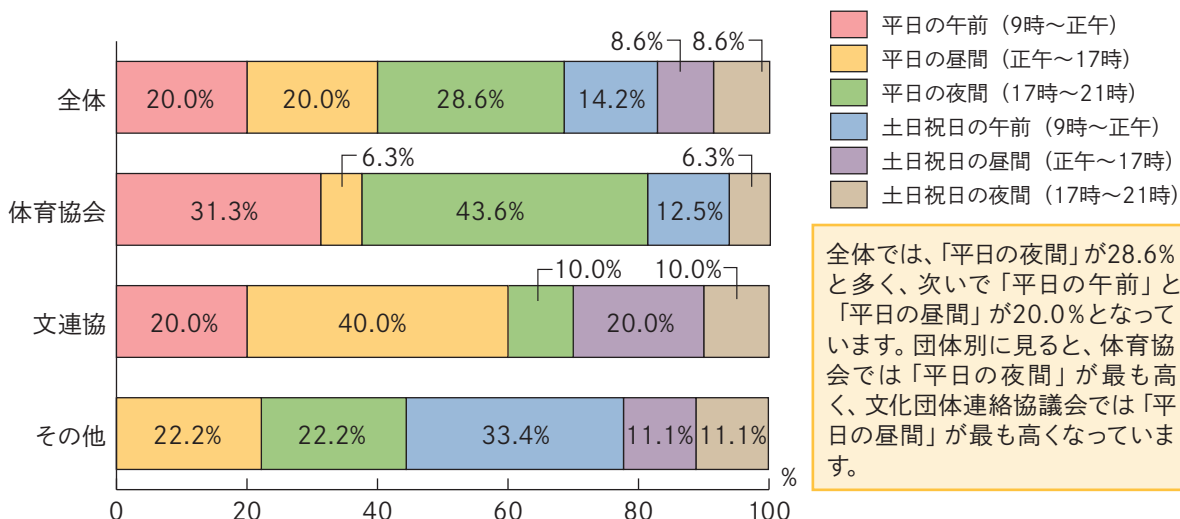
問 1-3 団体の中で一番多い年代をお答えください。(○は1つだけ)



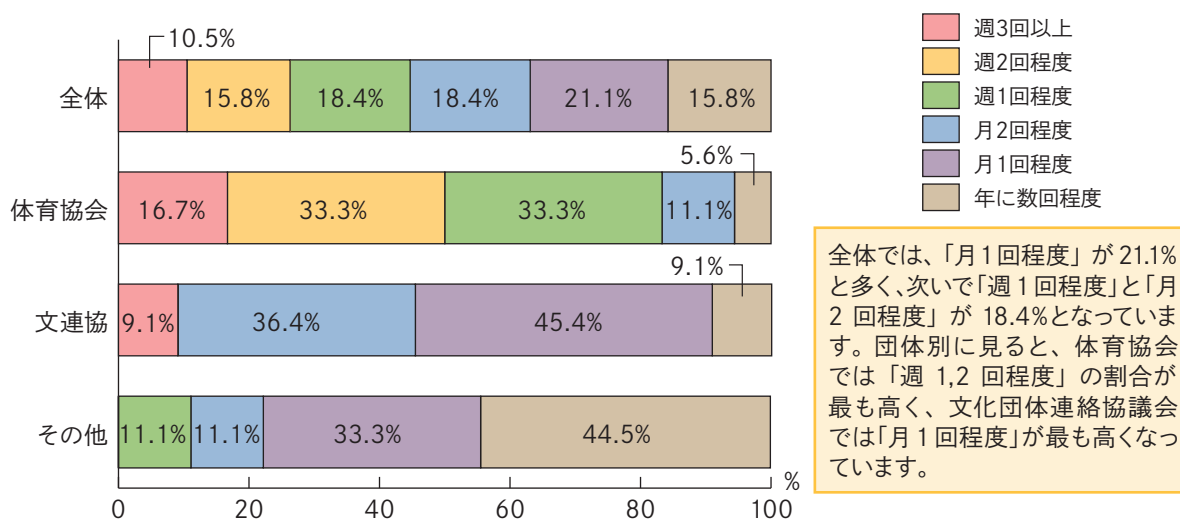
問 1-4 団体の設立された年をお答えください。(○は1つだけ)



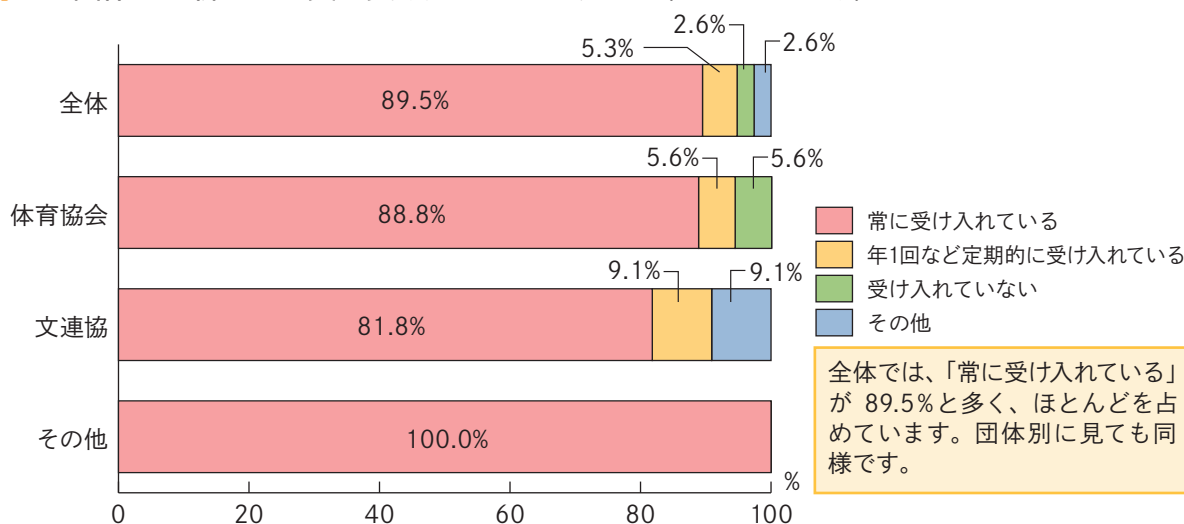
問 2 団体の主な活動日時はどれですか？(○は1つだけ)



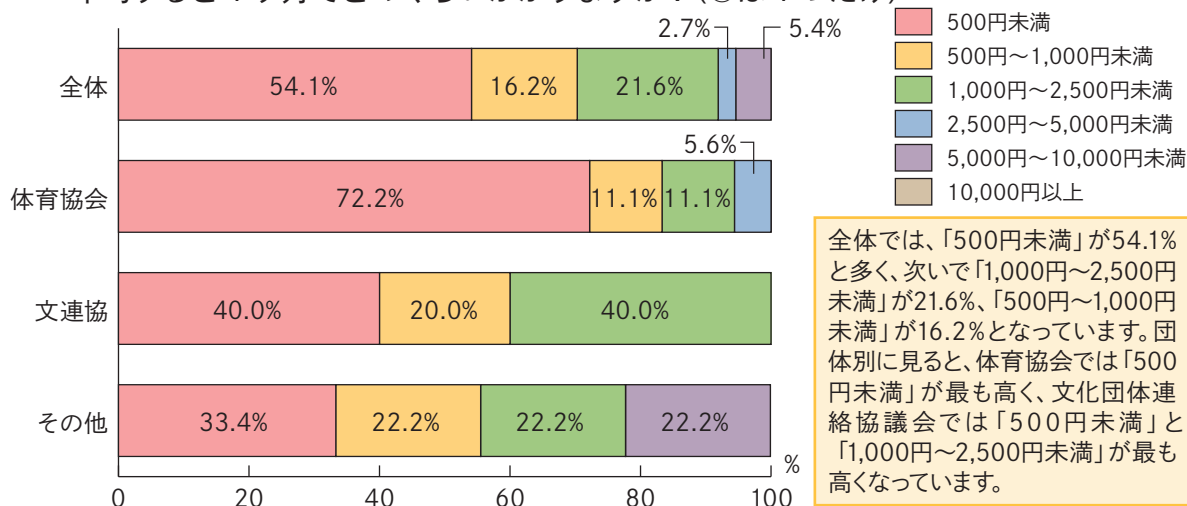
問3 団体の主な活動回数は何回ですか？(○は1つだけ)



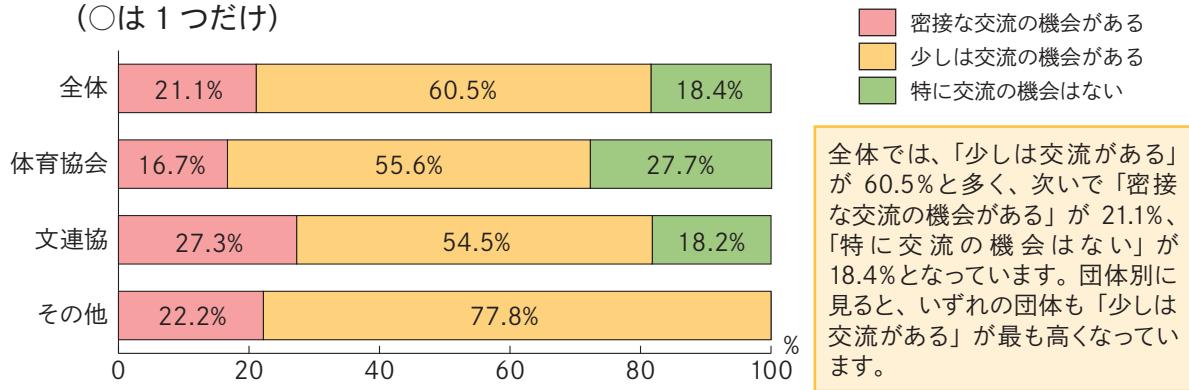
問4 団体では新たな会員を受け入れていますか？(○は1つだけ)



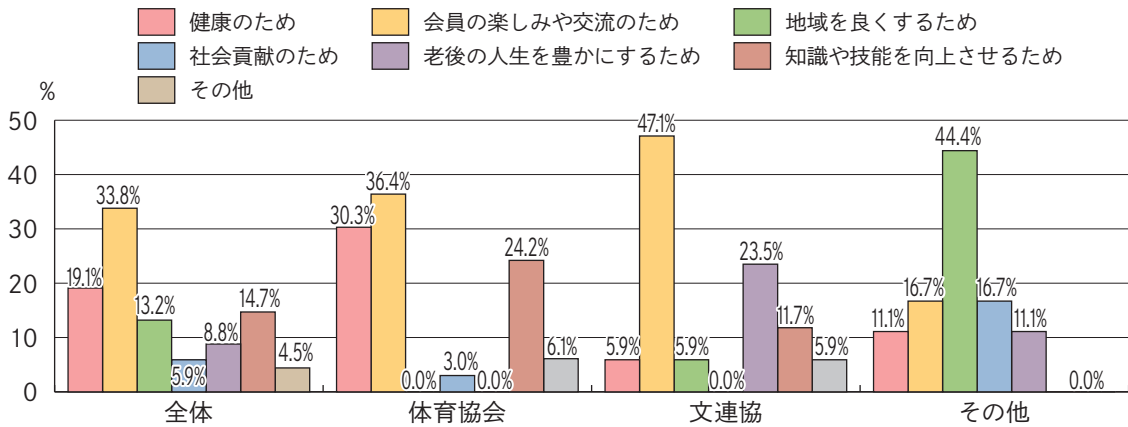
問5 会員が団体の活動に参加するための費用は、平均すると1ヶ月でどのくらいかかりますか？(○は1つだけ)



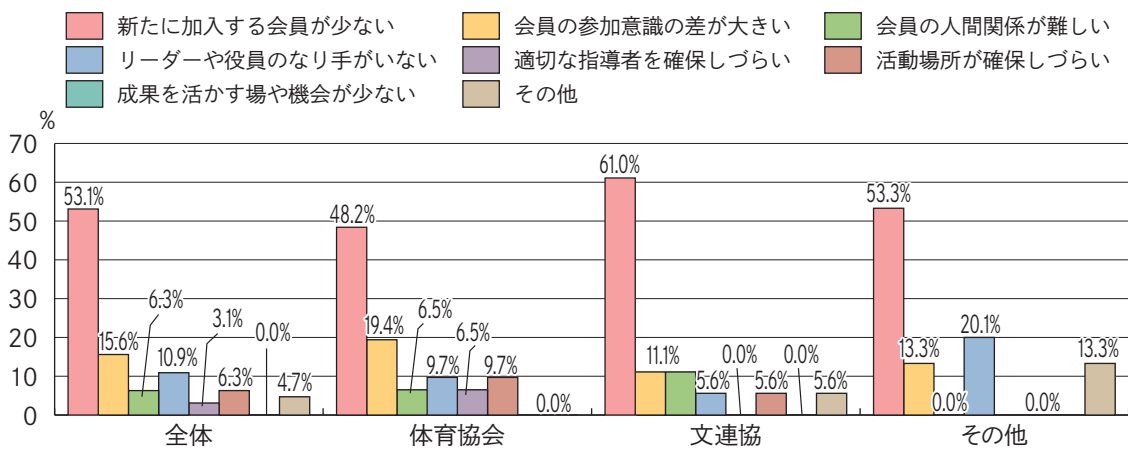
問6 団体では、活動を通じて他の団体や地域の方々と交流する機会がありますか？ (○は1つだけ)



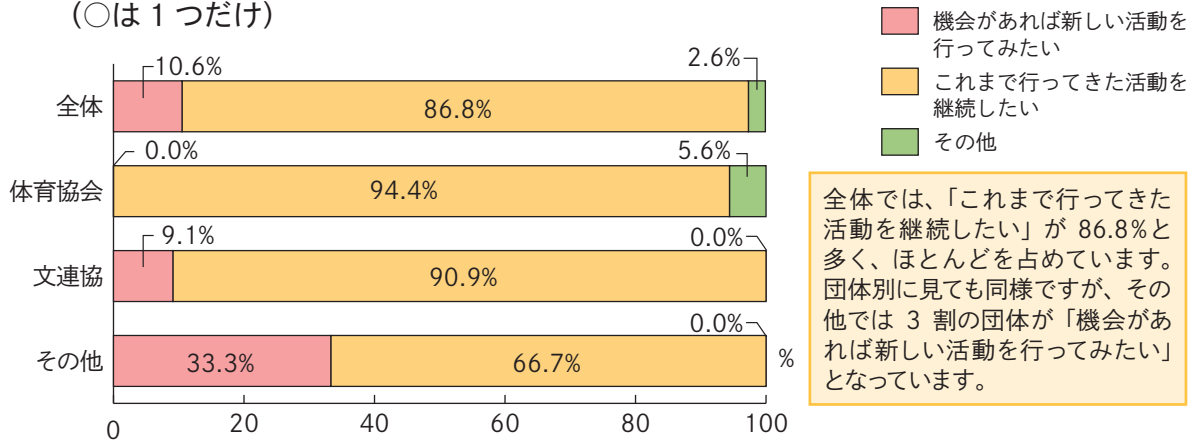
問7 団体の主な活動目的は何ですか？ (○は主なもの2つまで)



問8 団体の抱える問題点は何ですか？ (○は主なもの3つまで)

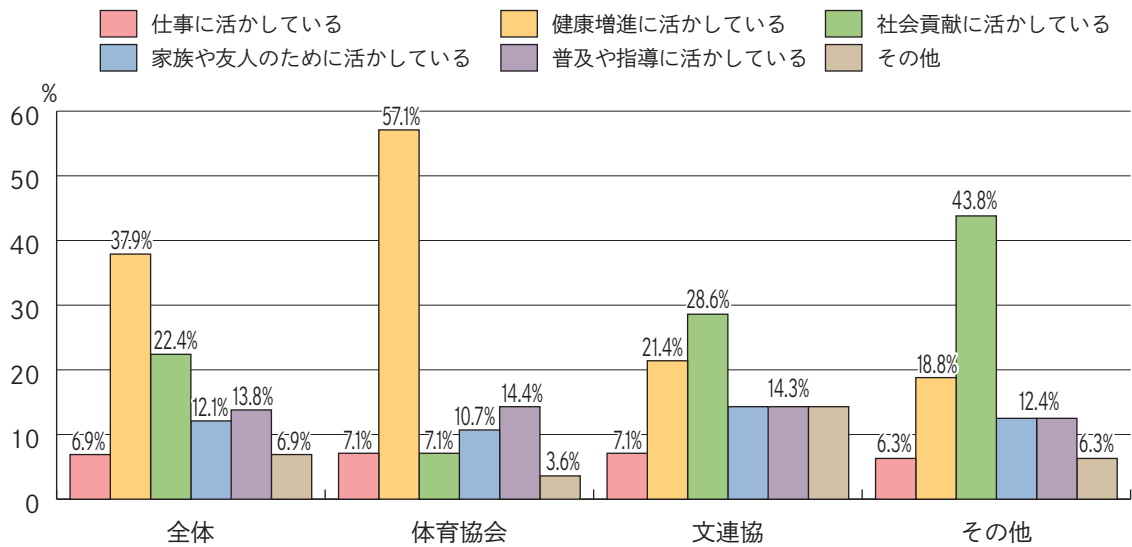


問 9 今後、団体の活動をどのように行いたいと考えていますか？
(○は1つだけ)



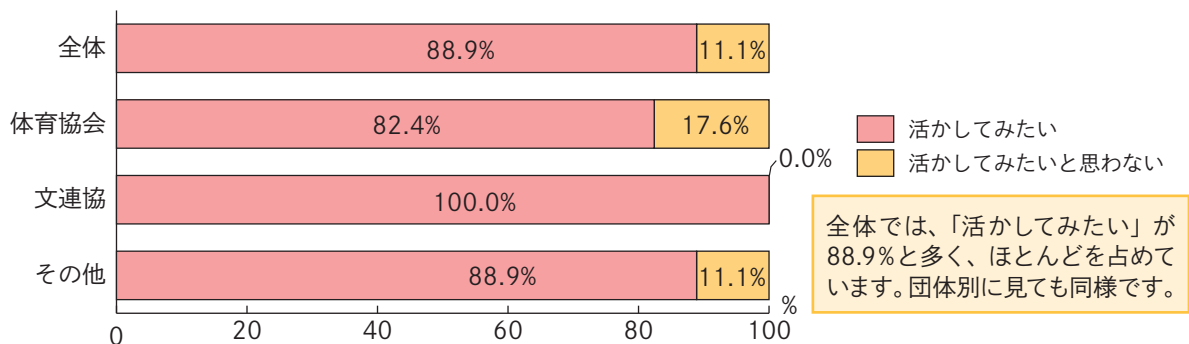
全体では、「これまで行ってきた活動を継続したい」が 86.8%と多く、ほとんどを占めています。団体別に見ても同様ですが、その他では 3 割の団体が「機会があれば新しい活動を行ってみたい」となっています。

問 10 団体の会員は、活動を通じて身につけた知識や技能、経験や人脈などの活動の成果をどのように活かしていますか？ (○はいくつでも)



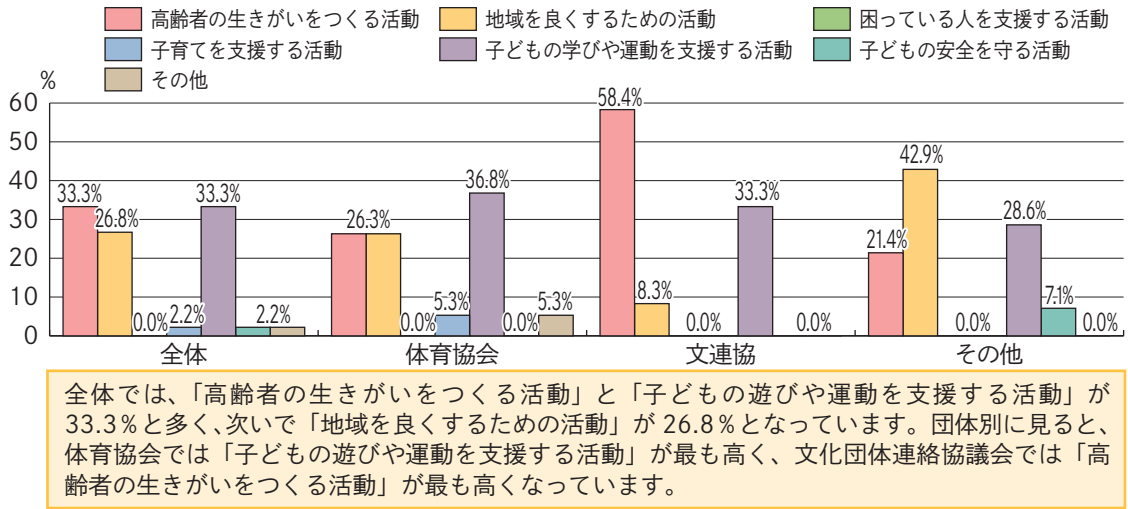
全体では、「健康増進に活かしている」が 37.9%と多く、次いで「社会貢献に活かしている」が 22.4%、「普及や指導に活かしている」が 13.8%となっています。団体別に見ると、体育協会では「健康増進に活かしている」が最も高く、文化団体連絡協議会では「社会貢献に活かしている」が最も高くなっています。

問 11 今後、活動の成果を地域などや学校、福祉施設や生涯学習施設などで活かしてみたいと思いますか？ (○は1つだけ)

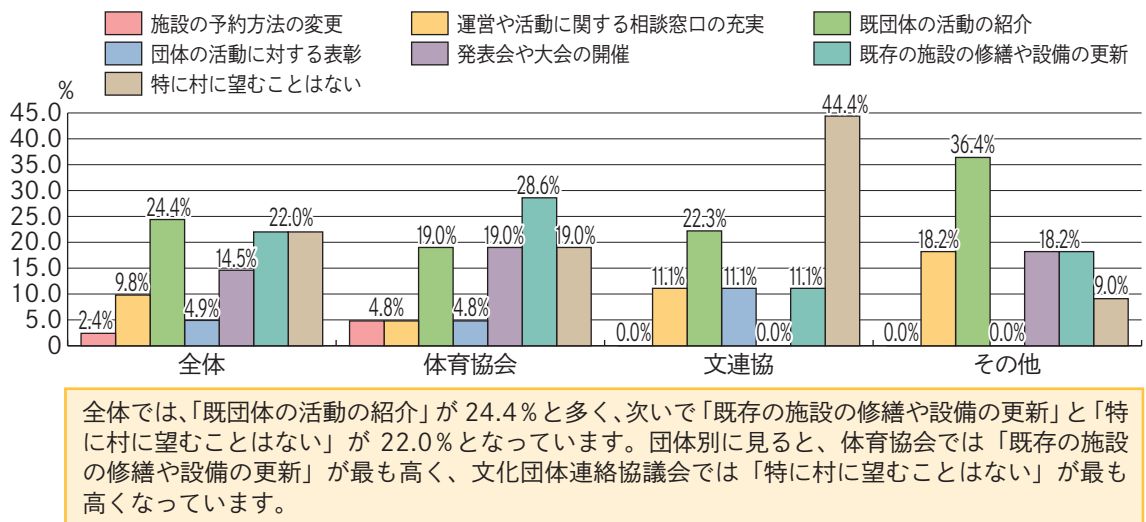


全体では、「活かしてみたい」が 88.9%と多く、ほとんどを占めています。団体別に見ても同様です。

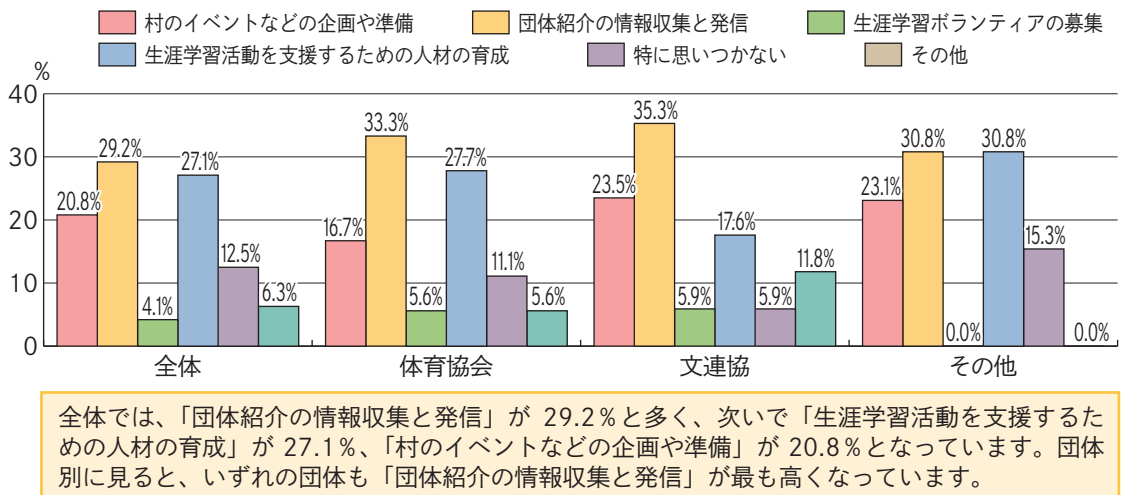
問 12 今後学んだり、活動したりするのに、いま以上に、どのような情報があればよいと思いますか？(○は2つまで)



問 13 村に望むことは何ですか？(○は2つまで)



問 14 今後、村民の皆さんの生涯学習活動を活発にするために、村と、団体の皆さんがともに取り組むことができることは何だと思いませんか？(○はいくつでも)



問 15 北塩原村では、生涯学習(学習や活動)を推進していきたいと考えております。
このことについて、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

- ◇「お茶、生花、囲碁、将棋などおじいちゃん、おばあちゃんがやるもんだ」みたいな考えを取り除かせるような取組も必要。親子生花教室や茶道など公民館主催であっても良いのでは。構造改善センターでの活動時間を夕方、放課後の時間に設定し子供たちが自由に参加できる。現在ありませんが放課後ひろばのような活動の時間があっても良いのでは。(文化団体連絡協議会の団体の方)
- ◇人口の小さな村なりによく支援していただいていると思っています。(文化団体連絡協議会の団体の方)
- ◇年に1.2回の訪問ですが、今までラビスパを利用してお膳を取り食事もそれもまた良いのですが、便利を図ってもらえたらと思います。ビデオ撮影ありがとうございます。これはひきつづき御願ひ致します。(文化団体連絡協議会の団体の方)
- ◇生涯学習の内容を毎月の会報の中で各部の紹介、活動を代表者が記載できるページをさいて多くの人を知ってもらい、参加できるようアピールすれば良いと思います。(体育協会の団体の方)
- ◇今年初めて村からの補助金をいただいての活動ですが、本当に充実し有意義な活動をすることができ、大変感謝しております。部員の皆様とても生き生きとだして来て、私もすごく嬉しいです。ありがとうございます。なかなかそちらに活動報告を持って行けず、心苦しく思っていますが、必ず持ってご報告に伺いますので、もう少しお待ちください。活動のすばらしさを多くの人に知ってもらい、多くの方々のご参加、入部をしてもらいたく、これからも頑張っていこうと思っております。(その他の団体の方)
- ◇高校・大学を卒業しても働く場所がないので村に戻りたくても戻れない、雇用場所の確保が一番大切です。(体育協会の団体の方)
- ◇このアンケートを機会に、村の広報でも各団体の紹介や会員受入の可否を伝えては。(体育協会の団体の方)
- ◇65才雇用が増え、目先の生活で精一杯の時代になりつつあるように思う。従って地域の絆さえ薄れ、協力しあい支え合っていたものにも支障が出てきている。小さな単位もまとまりにくくなっているが、その小さな集団を育て、その集団がまた集まって、中集団となり大きな集団となるべく、せめて、各地域にそのような小集団が活躍していることを祈りたいです。また、情報があれば発信して頂きたいと思います。(その他の団体の方)
- ◇遺跡等を詳しく語り継ぐ人が少なくなり、文書で残すことが望ましいが、その文書を保管するが、個人でなく公で保管し、だれもが閲覧できるようにすること。先代が残したもの(遺跡、文化)を共有でき、現在～未来にしっかりつなげて欲しい。(文化団体連絡協議会の団体の方)
- ◇会員が年々減る中、新しく入っていただける方を募集したいと思っておりますが、どんな形で募っていいかわかりません。村の会報にのせてもらうとか公民館での声掛けでもしていただければと思います。(不明)

第四次北塩原村生涯学習推進計画策定に基づく 青少年アンケート調査 報告書

1. 調査の目的

「第四次北塩原村生涯学習推進計画」の策定にあたり、青少年の学校生活外での実態や意見・要望などを把握し、計画策定のための基礎資料を得ることを目的とします。

2. 調査方法

- (1) 調査対象 村内の小学5年生 28人
村内の小学6年生 23人
村内の中学生 76人 計127人
- (2) 抽出方法 全数調査
- (3) 配布・回収方法 学校を通じて配布・回収
- (4) 実施期間 平成29年10月1日～10月20日

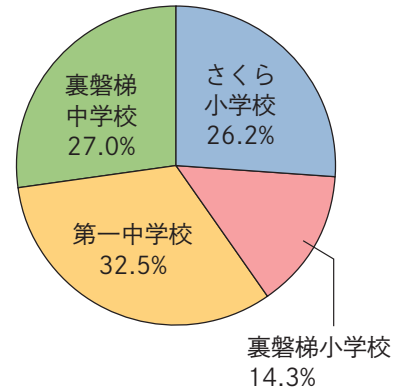
3. 回収結果

- (1) 回収数 126 (人)
- (2) 有効回収数 126 (人) (有効回収率=99.2%)



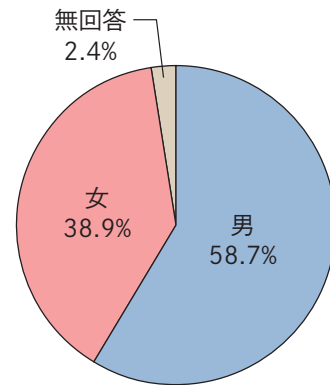
回答いただいた団体の割合

	回収数	構成比率
さくら小学校	33	26.2%
裏磐梯小学校	18	14.3%
第一中学校	41	32.5%
裏磐梯中学校	34	27.0%
計	126	



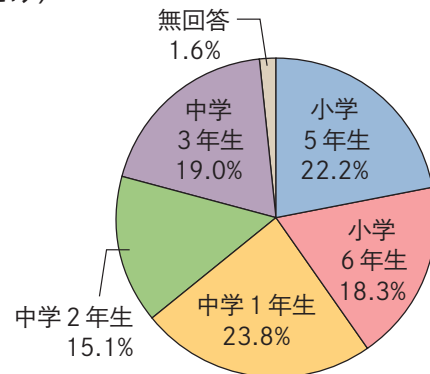
問1-1 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

	回収数	性別比率
男	74	58.7%
女	49	38.9%
無回答	3	2.4%
計	126	



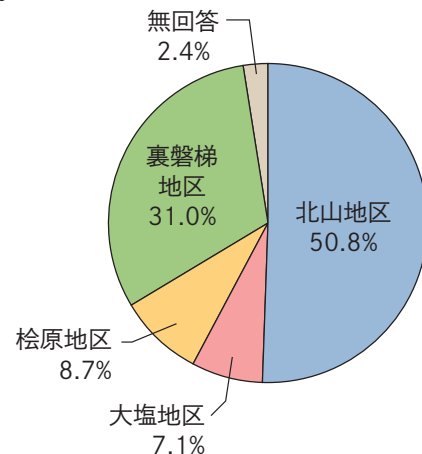
問1-2 あなたの学年を答えてください。(○は1つだけ)

	回収数	学年比率
小学5年生	28	22.2%
小学6年生	23	18.3%
中学1年生	30	23.8%
中学2年生	19	15.1%
中学3年生	24	19.0%
無回答	2	1.6%
計	126	



問1-3 あなたが住んでいるエリアを答えてください。(○は1つだけ)

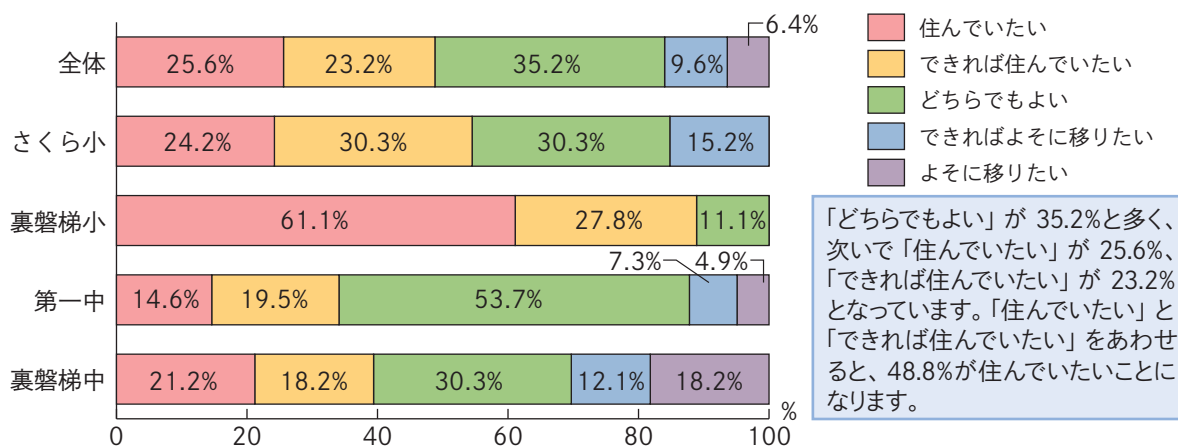
	回収数	地区比率
北山地区	64	50.8%
大塩地区	9	7.1%
桧原地区	11	8.7%
裏磐梯地区	39	31.0%
無回答	3	2.4%
計	126	



問 1-4 あなたの[自慢したい]・[残したい]・[伝えたい]北塩原村ベスト3を教えてください。[自然・景色・食べもの・イベント・行事・人]など何でも結構です。

ランキング	カテゴリ	指数	特に多かった主なもの
第1位	自然	174	自然 74、景色 44、五色沼 21、磐梯山 17、桧原湖 7、空気 3、会津盆地の眺め 3、雄国沼 3、大塩川 2
第2位	食べもの	76	山塩 40、食べもの 24、野菜(高原) 7、花豆 2 他
第3位	イベント	52	イベント 25、行事 11、交流フェスタ 5、火の山祭り 3、文化祭・祭り 2 他
第4位	人	19	人(人柄・人の温かさ・地域の人・友達) 16、協力性(みんな仲良し) 2、人が少ないこと
第5位	施設	12	学校 3、その他村内の公共・観光施設
第6位	観光	2	観光スポット
第7位	歴史	1	柏木城
番外	その他	15	生き物、命、駅伝、動物、母校 他
計		351	

問 2-1 村にこれからも住んでいたいと思いますか？(○は1つだけ)



問 2-2 【問 2-1 で「①住んでいたい」「②できれば住んでいたい」と回答した人のみ】
あなたが住んでいたいと思う理由は何ですか？

ランキング	カテゴリ	住んでいたいと思う主な理由	指数
第1位	自然・景色	北塩原村の自然が好き。空気がきれい。紅葉や雪など景色がきれい。静かで住みやすい。 など	41
第2位	村の人	村の人が親切だから。地域の人はいい人で優しいから。みんなと仲良しだから。 など	14
第3位	土地	村が好きだから。住み心地がいいから。生まれ育った村だから。都会のようにうるさくないから。 など	10
第4位	友達・家族	友達がいるから。友達と離れ離れになりたくないから。家族との時間を大切にしたいから。 など	9
第5位	イベント	イベントが楽しいから。いろんな遊びができるから。スキーなど雪を使った遊びができるから。 など	5
番外	その他	伝統を受け継いでいきたい。家の仕事をやる。食べものおいしいから。 など	4

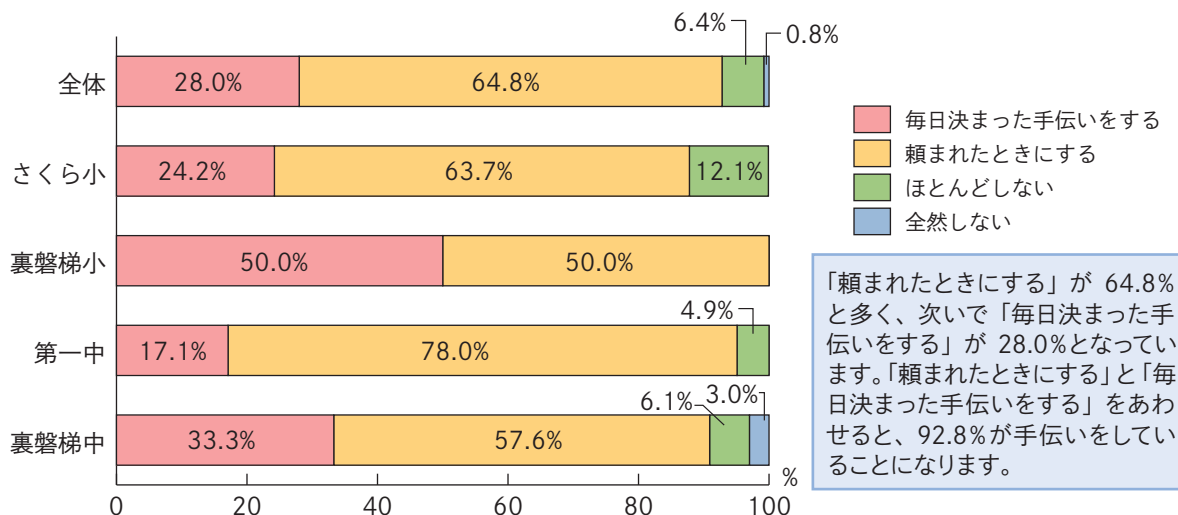
※回答のあった記載内容は、104ページに全て掲載しています。

問 2-3 【問 2-1 で「③できればよそに移りたい」「④よそに移りたい」と回答した人のみ】
 あなたがよそに移りたいと思う理由は何ですか？

ランキング	カテゴリ	よそに移りたいと思う主な理由	指数
第 1 位	少ない・ない	お店の数が少ない。人数が少ない。何もない。 など	9
第 2 位	仕事	将来やりたい仕事がない。仕事が少ない。 大きな会社に勤めたい。 など	8
第 3 位	土地	高いビルに住みたい。便利だから。田舎でつまらない。 都会の生活にあこがれるから。 など	6
番外	その他	老後が心配。違う景色を楽しみたい。 など	3

※回答のあった記載内容は、105 ページに全て掲載しています。

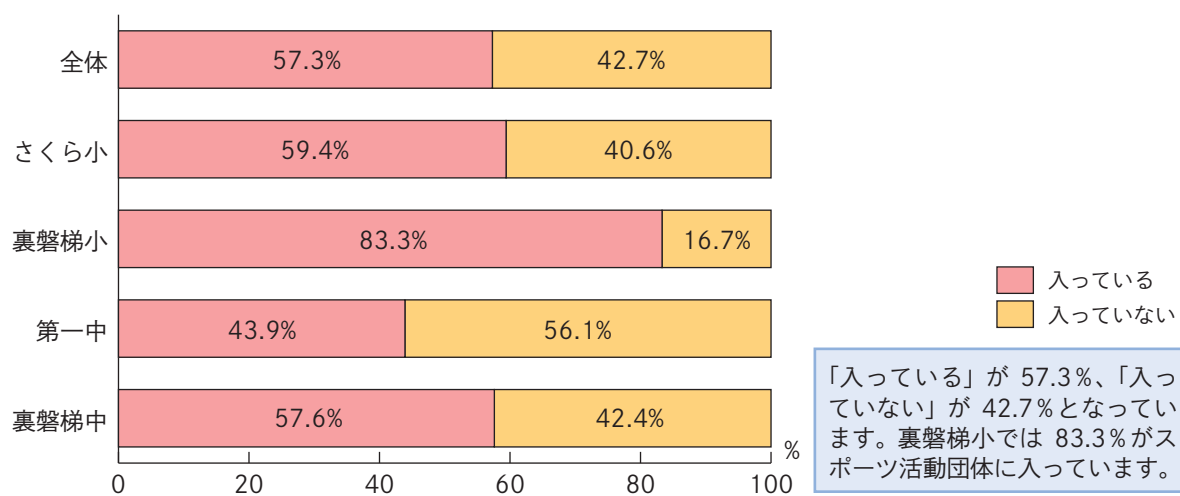
問 3-1 あなたは家の手伝いをしていますか？（○は 1 つだけ）



問 3-2 【問 3-1 で「④全然しない」以外を回答した人のみ】
 どんな手伝いをしていますか？

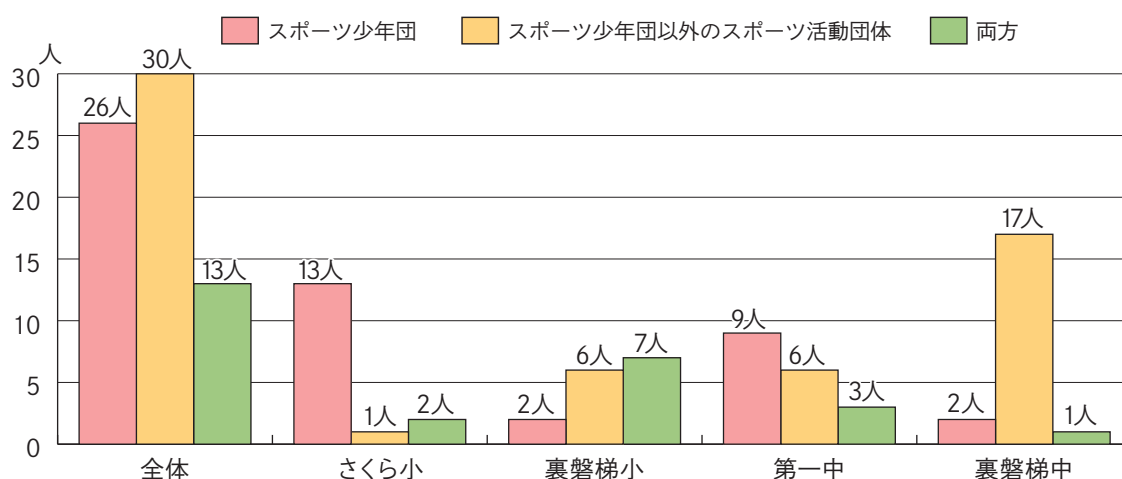
ランキング	カテゴリ	手伝いの内容	指数
第 1 位	食事関係	食器洗い、食器拭き、料理づくり、ご飯よそい。 など	71
第 2 位	掃除関係	風呂洗い、玄関掃除、トイレ掃除。 など	52
第 3 位	布団・衣類	布団たたみ、洗濯物たたみ、洗濯。 など	15
番外	その他	ペットの世話。畑仕事。ペンションの手伝い。荷物運び。 など	12

問 4-1 スポーツ少年団などのスポーツ活動団体(学校以外)に入っていますか？
(○は1つだけ)



問 4-2 【問 4-1 で「①入っている」と回答した人のみ】

あなたが活動しているスポーツ活動団体は何ですか？(○は1つだけ)



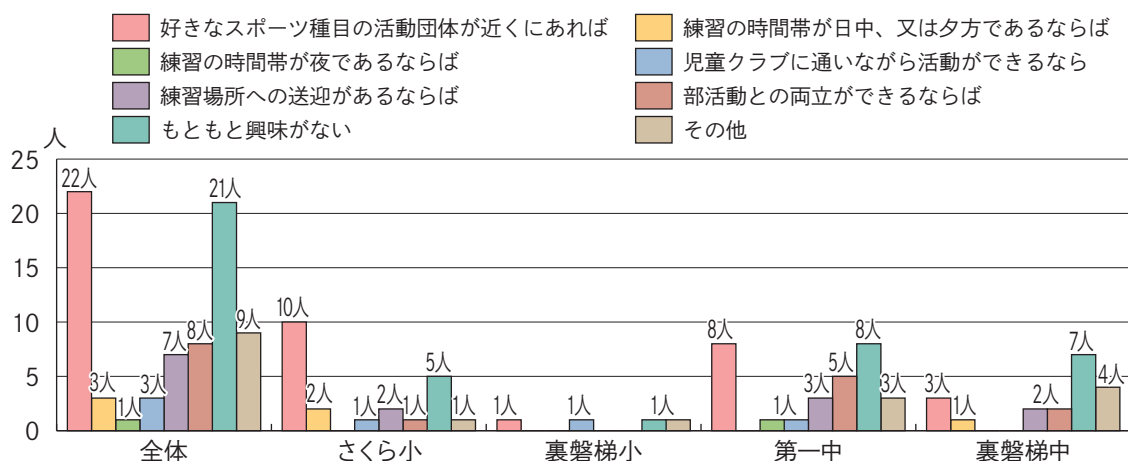
問 4-3 【問 4-1 で「①入っている」と回答した人のみ】

あなたがスポーツ活動団体に入っている理由を教えてください。

ランキング	カテゴリ	スポーツ活動団体に入っている理由	指数
第1位	体力・実力の向上	スポーツの能力を上げたい。足が速くなりたい。強くなりたい。勝った時のうれしさを味わいたい。体力をつけたい。 など	31
第2位	楽しい・好き	練習が楽しい。スポーツ・運動が好き。大会で勝つのが楽しい。1年生から入っているが面白い。 など	23
第3位	挑戦・出会い	いろいろなことに挑戦したい。人との出会いや会話が増える。スポーツに親しみたい。スポーツを好きになりたい。 など	13
番外	その他	なんとなく。勧められた。家の人にむりやり。 など	9

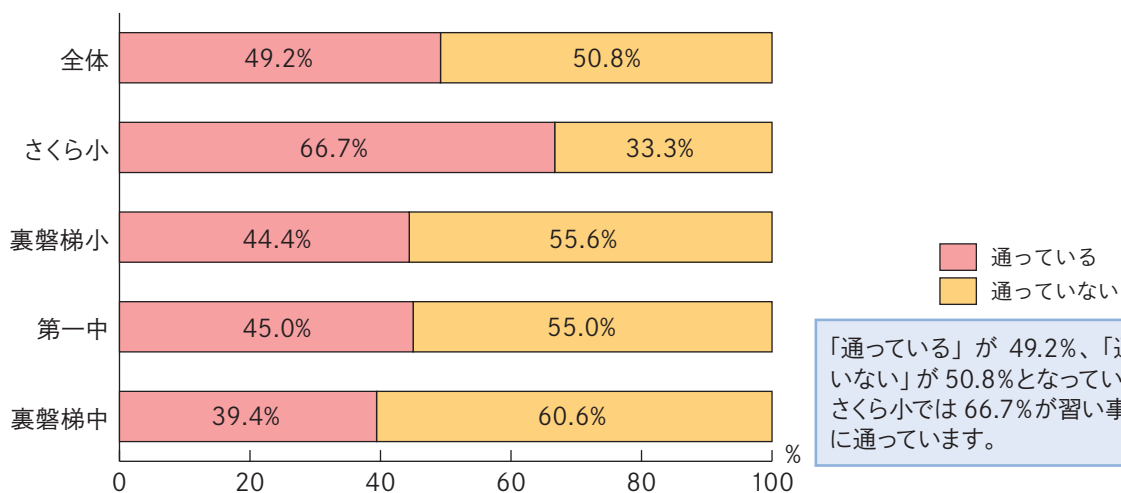
問 4-4 【問 4-1 で「②入っていない」と回答した人のみ】

あなたはどうすればスポーツ活動団体に入りたいと思いますか？（○は 2 つまで）



問 4-1 で【入っていない】と回答した 53 人中、「好きなスポーツ種目の活動団体が近くにあれば」が 22 人と多く、次いで「もともと興味がない」が 21 人となっています。

問 5-1 学校以外で習い事や塾などに通っていますか？（○は 1 つだけ）



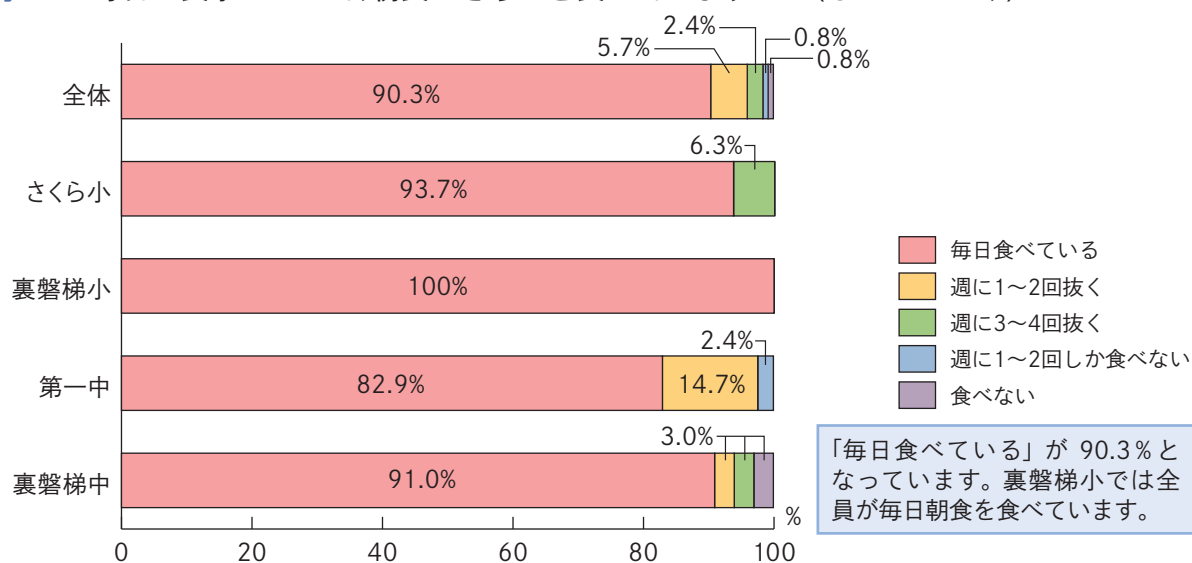
「通っている」が 49.2%、「通っていない」が 50.8%となっています。さくら小では 66.7%が習い事や塾に通っています。

問 5-2 【問 5-1 で「①通っている」と回答した人のみ】

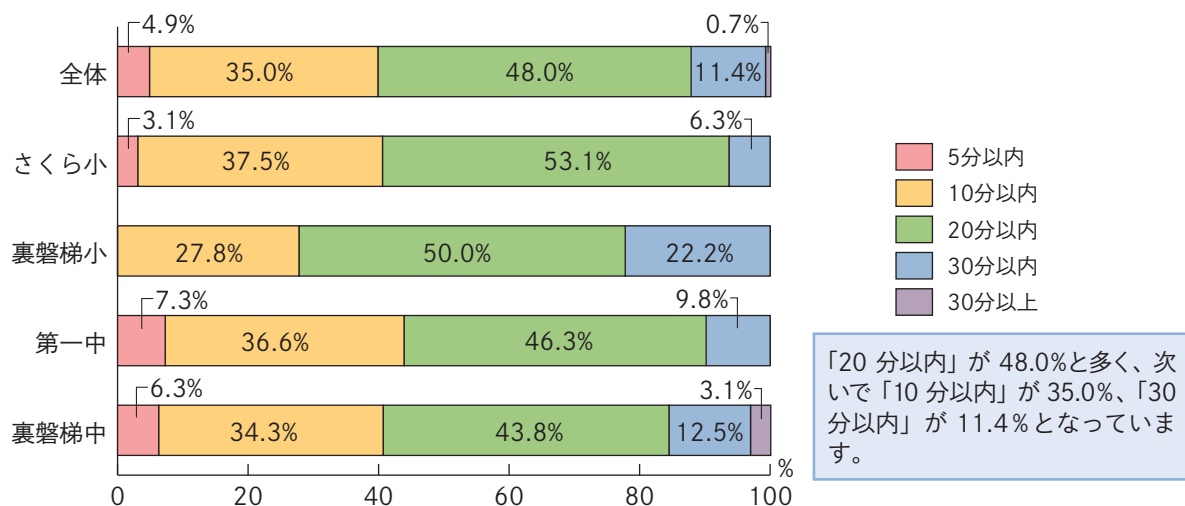
あなたが通っている習い事や塾は何ですか？

ランキング	カテゴリ	指数	備考
第 1 位	塾	32	—
第 2 位	ピアノ・習字・そろばん	18	—
第 3 位	スイミング	6	—
番外	その他	3	太鼓・空手・ブレイクダンス

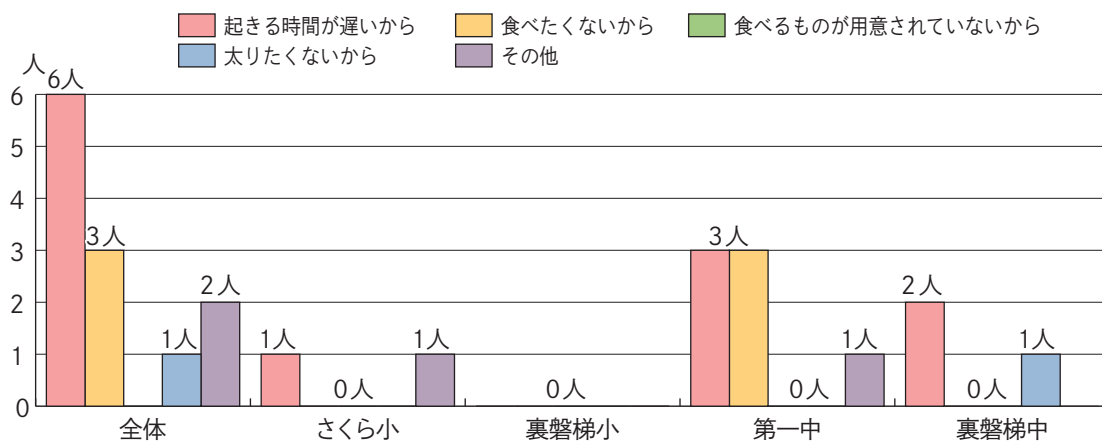
問6-1 毎日の食事について、朝食はきちんと食べていますか？（○は1つだけ）



問6-2 朝食にかける時間はどのくらいですか？（○は1つだけ）

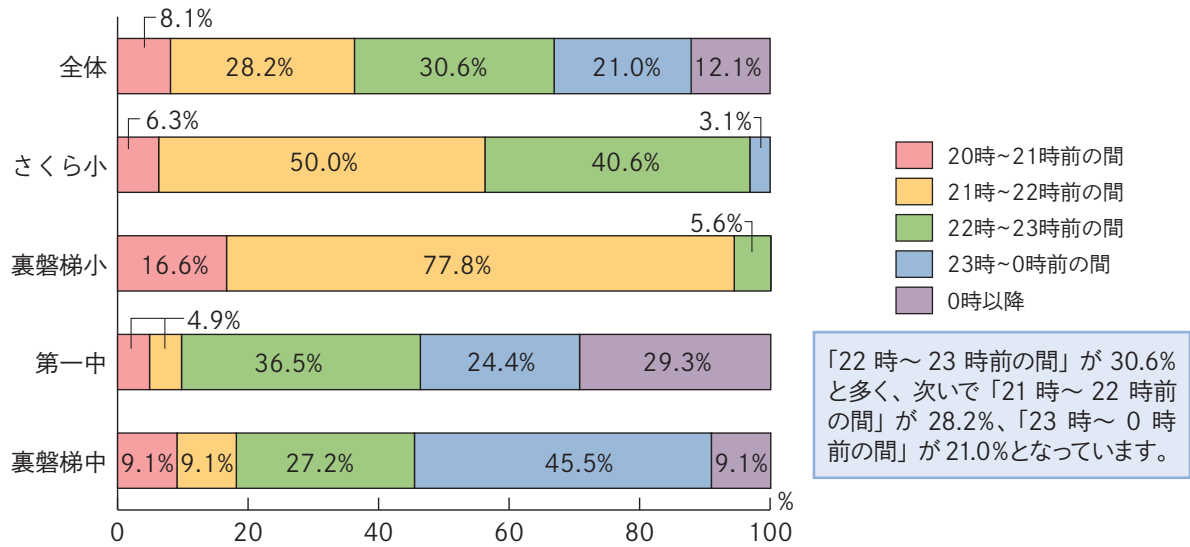


問6-3 【問6-1で「①毎日食べている」以外に回答した人のみ】 朝食を抜く、又は食べない理由は何ですか？（○は主なもの1つだけ）

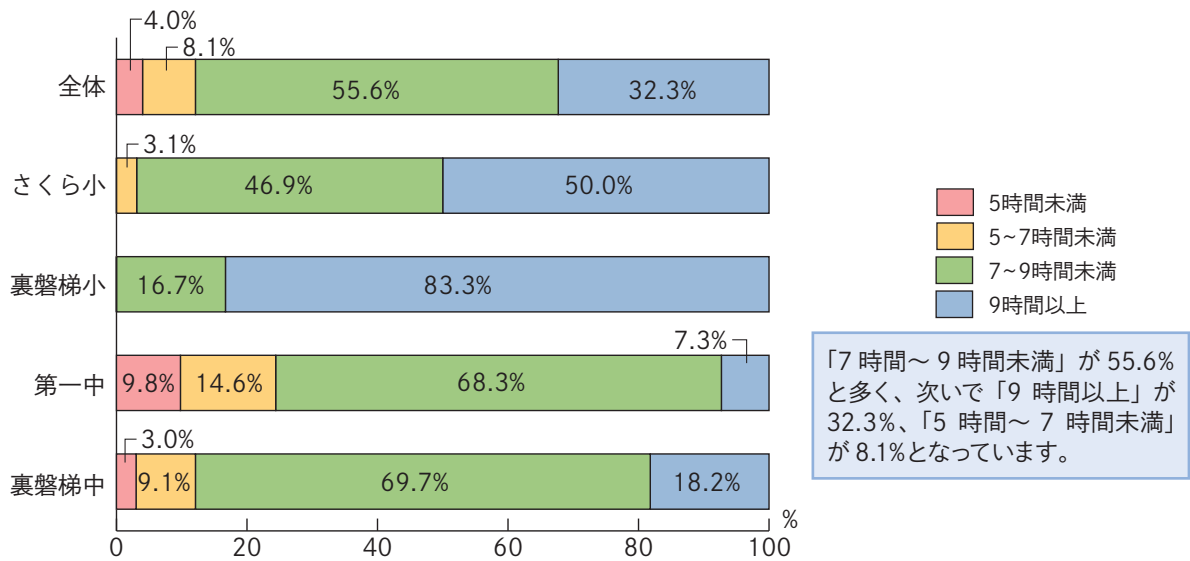


問6-1で【毎日食べている】以外に回答した12人中、「起きる時間が遅いから」が6人と多く、次いで「食べたくないから」が3人となっています。

問 7-1 平日は毎日何時ごろ寝ていますか？（○は主なもの 1 つだけ）



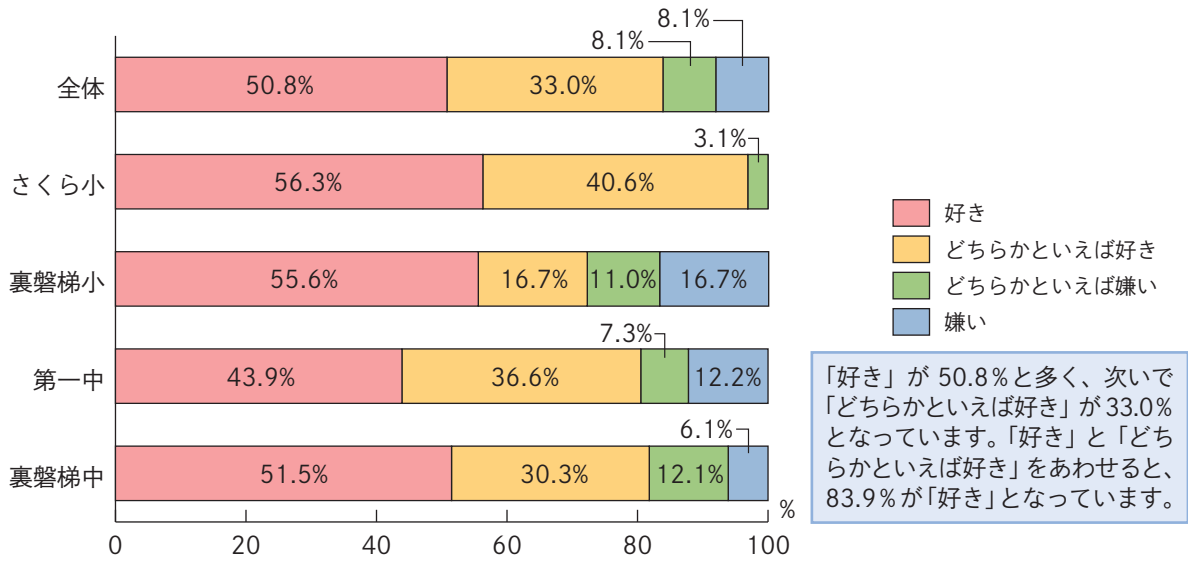
問 7-2 平日の毎日の睡眠時間は何時間ですか？（○は主なもの 1 つだけ）



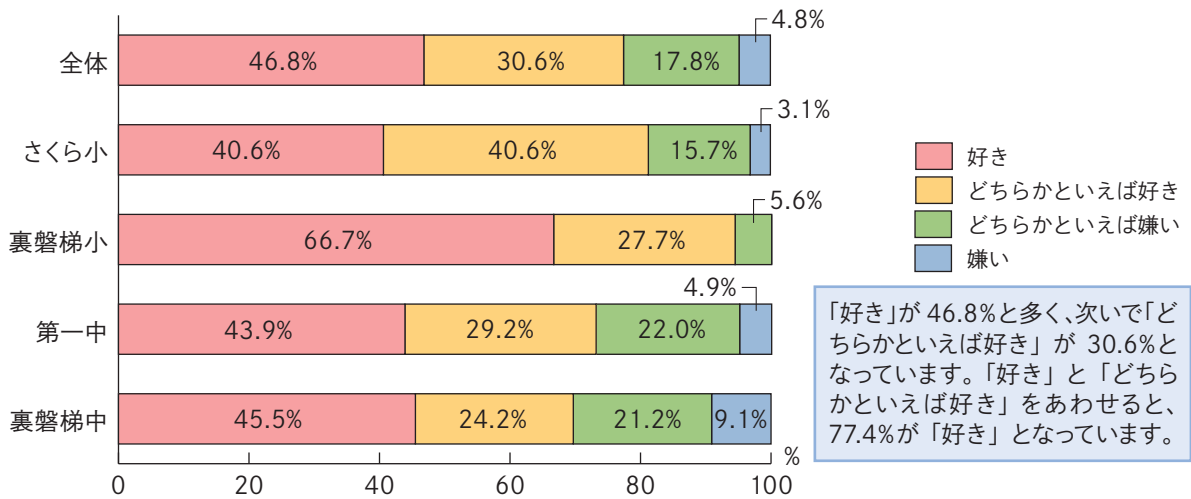
問 7-3 【問 7-1 で「23時以降」に寝ていると回答した人のみ】
寝る前に何をしていますか？

項目	指数	備考
勉強をしている	18	—
インターネットやゲームをしている	10	—
テレビを見ている	6	—
本や漫画を読む	5	—
その他	5	音楽鑑賞・手伝い・ダンス・入浴・普通に寝れない

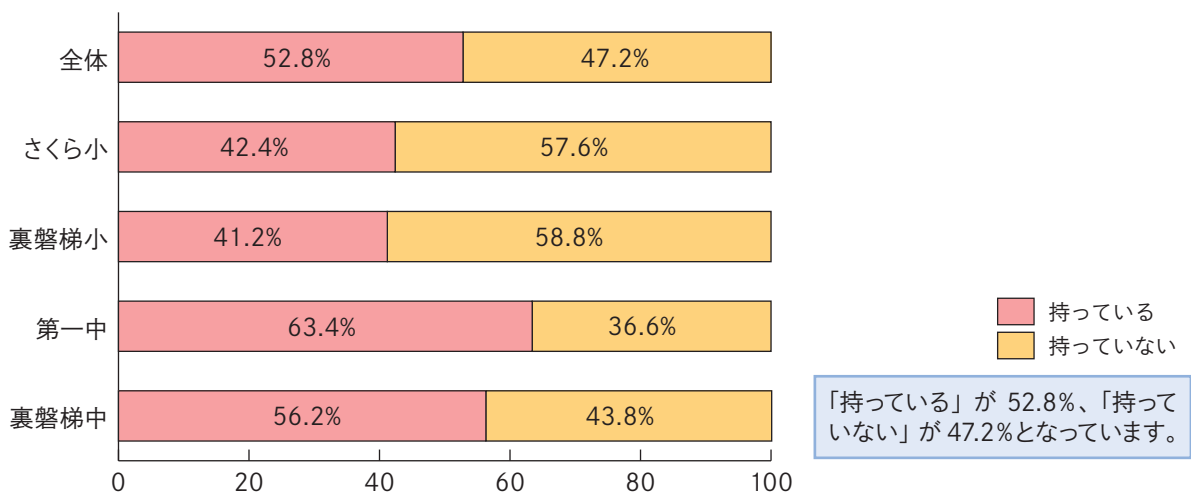
問8-1 マンガを読むのは好きですか？(○は1つだけ)



問8-2 マンガ以外の本を読むのは好きですか？(○は1つだけ)

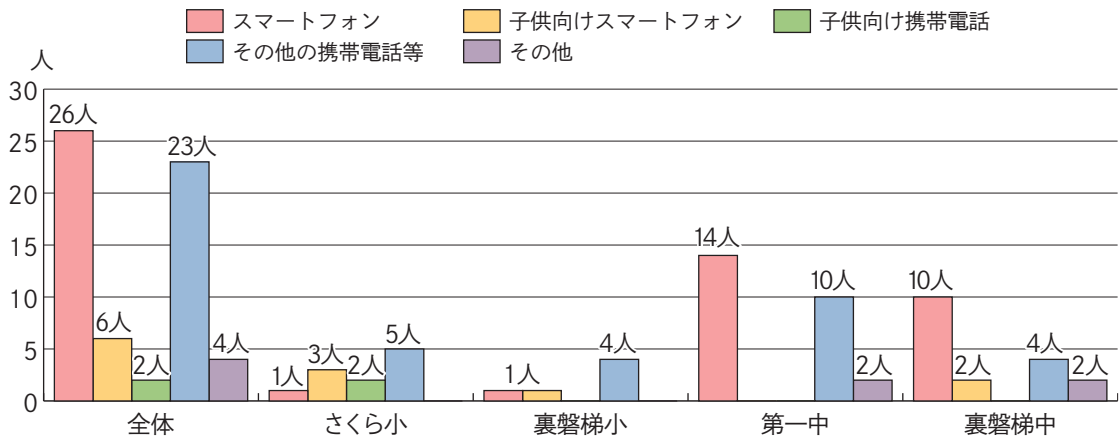


問9-1 携帯電話(スマートフォン含む)を持っていますか？(○は1つだけ)



問 9-2 【問 9-1 で「①持っている」と回答した人のみ】

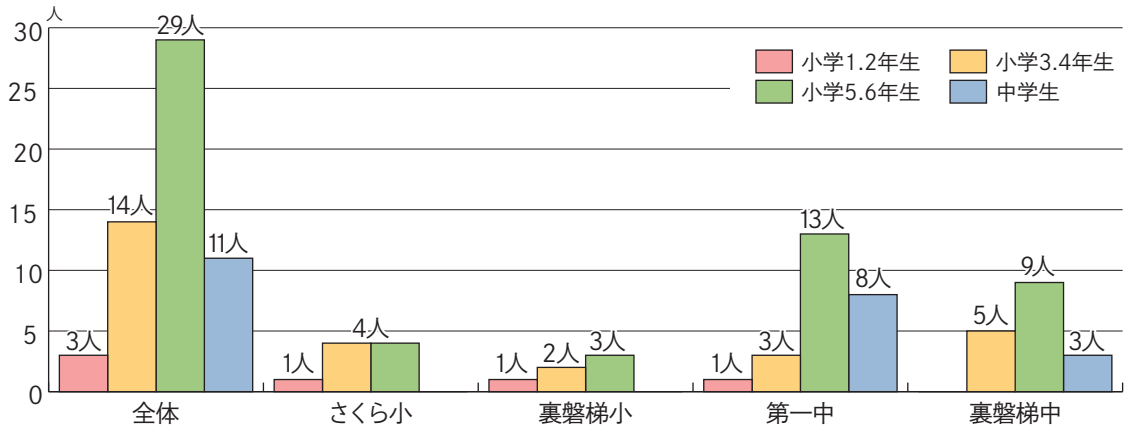
あなたが持っている携帯電話の種類は何ですか？（○は 1 つだけ）



問 9-1 で【持っている】と回答した 65 人中、「スマートフォン」が 26 人と多く、次いで「その他の携帯電話等」が 23 人となっています。

問 9-3 【問 9-1 で「①持っている」と回答した人のみ】

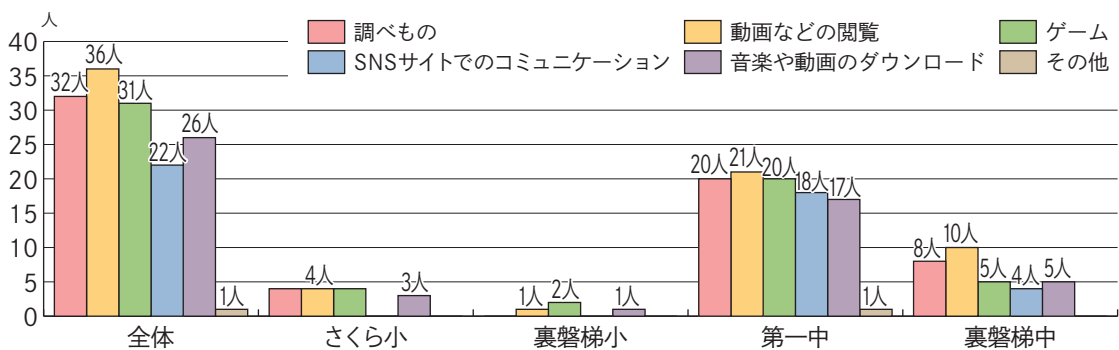
あなたが携帯電話を使い始めたのは何歳からですか？



問 9-1 で【持っている】と回答した 65 人中、「小学 5・6 年生」が 29 人と多く、次いで「小学 3・4 年生」が 14 人となっています。

問 9-4 【問 9-1 で「①持っている」と回答した人のみ】

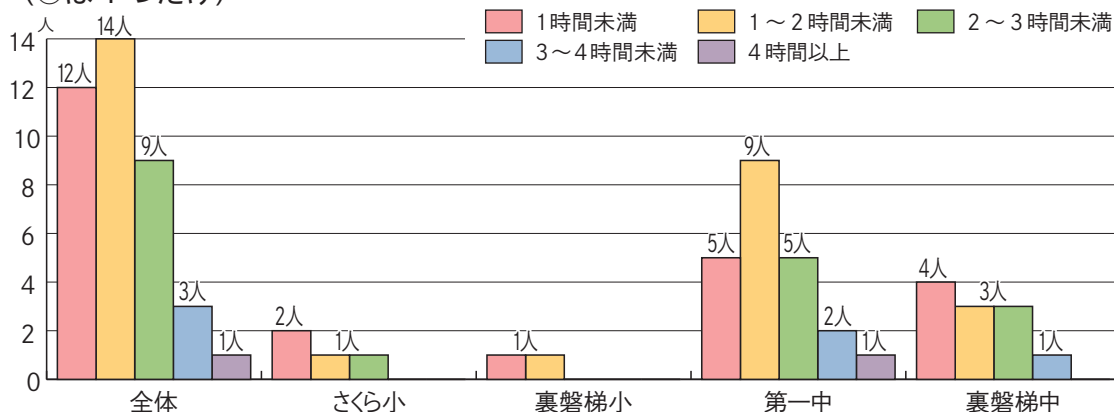
あなたは携帯電話のインターネットを使って何をしていますか？（○はいくつでも）



問 9-1 で【持っている】と回答した 65 人中、「動画などの閲覧」が 36 人と多く、次いで「調べもの」が 32 人、「ゲーム」が 31 人となっています。

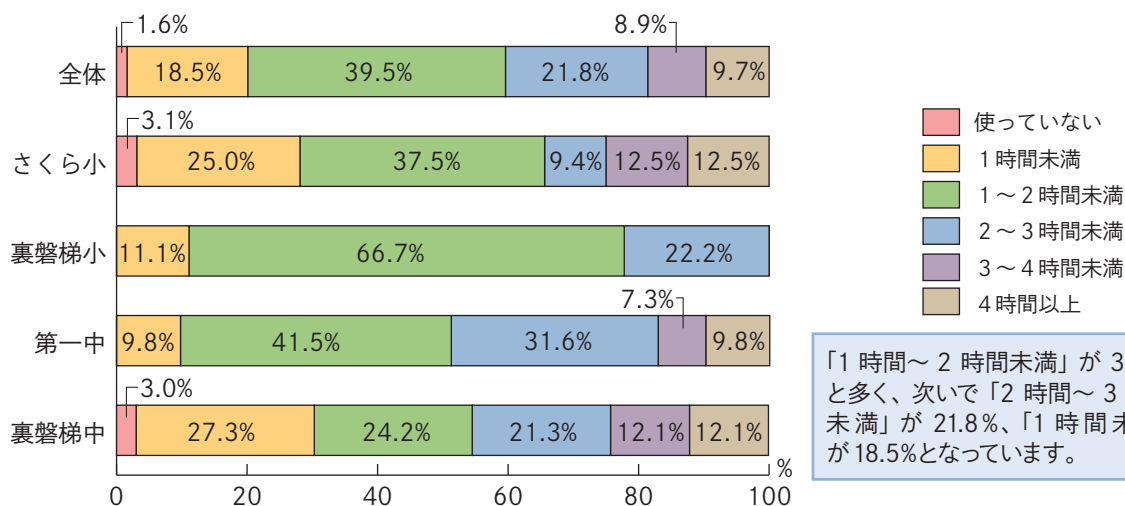
問 9-5 【問 9-1 で「①持っている」と回答した人のみ】

あなたは一日に平均して、どのくらいの時間、携帯電話でインターネットを使いますか？
 (○は1つだけ)



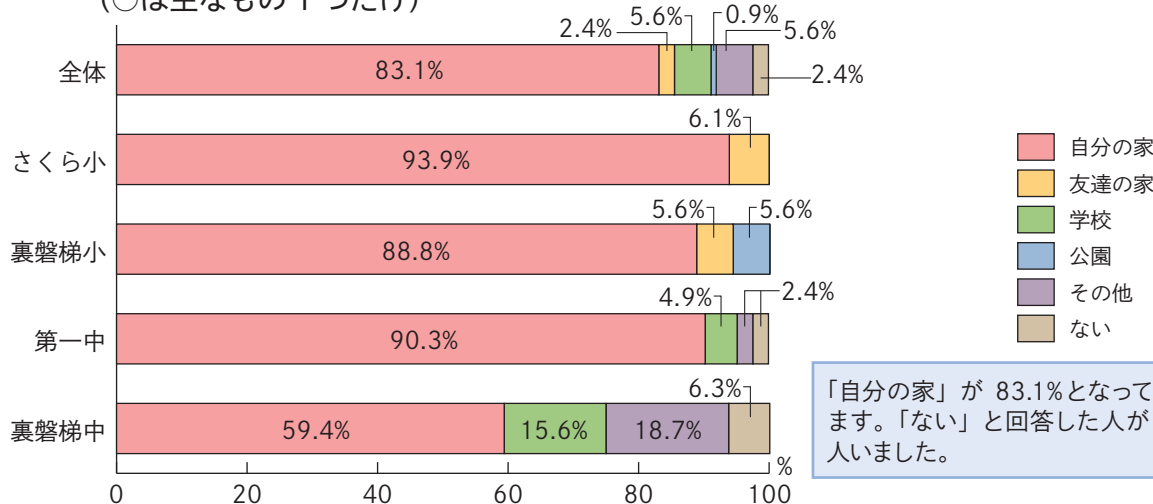
問 9-1 で【持っている】と回答した 65 人中、「1～2 時間未満」が 14 人と多く、次いで「1 時間未満」が 12 人、「2～3 時間未満」が 9 人となっています。

問 10 あなたは一日に平均してどのくらいの時間、メディア(テレビ・ゲーム機・PC・タブレット・スマートフォン等の電子機器全て)に触れていますか？(○は1つだけ)



「1 時間～2 時間未満」が 39.5% と多く、次いで「2 時間～3 時間未満」が 21.8%、「1 時間未満」が 18.5% となっています。

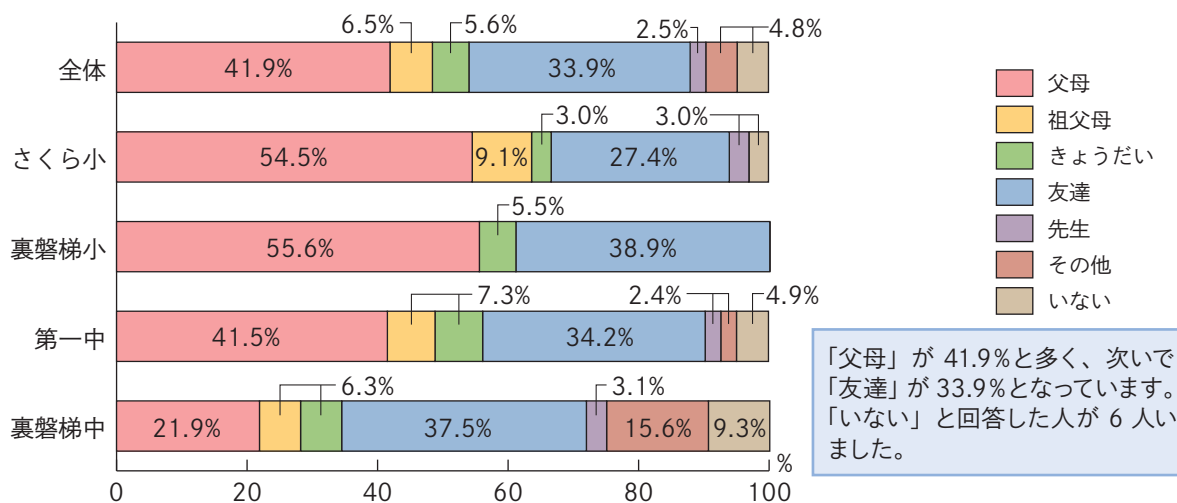
問 11-1 あなたにとって、ほっとできる場所、安心してすごせる場所はどこですか？
 (○は主なもの1つだけ)



「自分の家」が 83.1% となっています。「ない」と回答した人が 3 人いました。

問 11-2 あなたが困ったり悩んだりしたとき、話したり相談できる人はいますか？

(○は主なもの1つだけ)



問 2-2 あなたが住んでいたいと思う理由は何ですか？

～ 記述分を掲載 ～

- ◇景色が良かったり、自然がよいから。
- ◇みんないい人で優しいし、自然豊かできれいだから。
- ◇自然がたくさんあるし、村の人が優しいから。
- ◇きれいな村だから。悪い人がいないから。
- ◇仲良しの友達と離れ離れになりたくないから。
- ◇村の人が皆親切で良いことがたくさんあるから。
- ◇この村がとても好きで楽しい事がいっぱいだし、有名だから。
- ◇空気がきれいだし、イベントも楽しいから。
- ◇北塩原村にはきれいな場所があるから。
- ◇虫や動物などの生き物がいっぱいいるから。
- ◇村の人が優しく、自然を満喫できるから。
- ◇空気がきれいだし、山に囲まれていていい気持ちになるから。
- ◇景色がきれいで、きれいな空気だから。友達がいるから。
- ◇大塩の自然が好きだし、大人の人達とも親しい人が多いから。
- ◇冬には雪が降ってスキーをやったり、雪遊びなどができるから。
- ◇みんなと仲良しで、空気もきれいだし、この村にも慣れたから。
- ◇ずっと北塩原に住んでいるから、できれば住んでいたいから。
- ◇自然がとてもきれいで、すがすがしい気持ちになれるから。
- ◇自然が豊かで、住んでいる人が皆優しいから。
- ◇自然がきれいで、おもしろいイベントがたくさんあるから。
- ◇景色はきれいだし、村の人は、優しくて親切だから。
- ◇自分の中で、朝昼晩と過ごしやすいから。
- ◇村をこれからも守っていききたい。伝統を受け継いでいきたい。
- ◇皆が優しいし、自然が豊かで空気がキレイだから。
- ◇地域の人が優しいから。自然が豊かで住みやすいから。
- ◇優しい方や美味しいものがたくさんあるから。
- ◇地域の人たちが優しくだったので。
- ◇きれいな景色を見ていたい。
- ◇場所がものすごくいい所にあるから。
- ◇人数は少ないが親しい友人がいるから。
- ◇景色は良いし、食べ物もうまいし、人は優しいし、ずっとここに住んでいたい。
- ◇他の町などに行ったりすると、ああ～やっぱ裏磐梯っていいなって心から感じるから。
- ◇自然豊かで住んでいるといつも自然に癒されるから。クラスのみんなの事が大好きだから。
- ◇村の人が優しいから。
- ◇自分が育った所だから。
- ◇自然があるし、豊かだから。
- ◇自然がいっぱい楽しいから。
- ◇この村が好きだから。
- ◇いろんな遊びができるから。
- ◇学校が好きだから。
- ◇友達と仲良しだから。
- ◇自分が育った所だから。
- ◇自然が良くて、人も優しいから。

- ◇自然が豊かだから。
- ◇景色（紅葉・雪）がきれいだから。
- ◇自然が美しいから。
- ◇自然の方が好きだから。
- ◇家族との時間を大切にしたい。
- ◇自然と一緒に暮らしたいから。
- ◇自然が豊かだから。
- ◇景色がキレイだから。
- ◇空気がキレイだから
- ◇家の仕事をやるから。
- ◇住み心地がいいから。
- ◇空気がキレイで住みやすいから。
- ◇静かだから。
- ◇空気がキレイで静かだから。
- ◇自然が美しいから。
- ◇この村がキレイで大好きだから。
- ◇すごく落ち着くから。
- ◇都会のようにうるさくないから。
- ◇自然豊かでいいなと思ったから。
- ◇この北塩原で生まれ育ったから。
- ◇地域の人が優しいから。
- ◇自然が良いから。
- ◇自然がいっぱいあるから。
- ◇安心できるから。
- ◇きれいでゴミが少ないから。

問2-3 あなたがよそに移りたいと思う理由は何ですか？

～ 記述分を掲載 ～

- ◇学校の数が少ない、お店の数が少ない、もっと人数がいるほうがいい、都会がいい、部活を増やしてほしい。
- ◇都会は仕事いろいろあって、楽しそうだから。
- ◇将来の夢を叶えるには、ここでは無理だから。
- ◇将来の希望する職が決まっているため。
- ◇ここにはないものを知りたいし、慣れない土地でのいろんな出会いが好きだから。
- ◇いろんなちがう景色などを楽しみたい。
- ◇まずお店が近くにないので、老後が大変だと思うから。
- ◇都会の生活に憧れる。もう少し発展しているところに行きたい。
- ◇村を出て大きな会社に務めたいから。
- ◇色々なお店の仕事を体験したいから。
- ◇田舎で、つまらないから。
- ◇近くに店がない。
- ◇高いビルに住みたいから。
- ◇将来の夢を叶えるため。
- ◇大人になった時仕事が少ないから。
- ◇やりたい仕事が都会にあるから。
- ◇便利だから。
- ◇何もないから。
- ◇ここには、新鮮な海の幸はないから。
- ◇何もないから。
- ◇自然はいいが、カメムシが多い。
- ◇都会はなんでもあるから。

問12 最後に、北塩原村がもっと良い村になるためには、何が必要だと思いますか？また、その理由はなぜですか？あなたの考えをご自由に書いてください。

【さくら小学校】

- ◇ゴミ拾いをする。掃除をする。
- ◇ゴミのポイ捨てをもっと減らす。
- ◇お店を増やしてほしい。理由は駄菓子屋が一つしかないから。
- ◇このままでいいです。
- ◇学校のスポ少を増やす。理由は個数が限られてるから。
- ◇ゴミなどをポイ捨てしない。理由は、ゴミをポイ捨てしている人がいるからです。
- ◇人口を増やす。そのために、学費を負担するなどの村人の特典をつくる。
- ◇自然を大切にす。
- ◇ゴミをそこらへんに捨てないようにすればいい。
- ◇自然を大事にしてほしい。
- ◇北塩原村がもっといい村になるには、もっと行事を増やしてほしい。中学の部活でバレーをやしてほしい。

- ◇ごみのポイ捨てはやってはいけないことを、もっとしっかりはっきり表すこと。
- ◇ゴミを捨てない、自然を汚さないため。
- ◇挨拶だと思います。理由は挨拶をしても返してくれないから、挨拶をされたら必ず返せば、より良い村になると思います。
- ◇もっと自然を大切にするとよい。理由は、きれいな景色なのに木をたくさん切ってしまうから。
- ◇ポイ捨てをやめる。事故は絶対に起こさない。事故が起きて危険な場所と言われたくないから。
- ◇いろいろな所に、北塩原村の良い所のポスターを貼るといい。理由はポスターだとそのポスターを見た人がいろいろな人にポスターに書いてあったことを広めてくれると思うから。
- ◇ゴミをポイ捨てしたり、環境に悪い事をしないように一人一人が意識する事が必要。
- ◇ゴミが少しだけ落ちているので、ゴミがそれ以上増えないようにゴミ拾いを毎日する。
- ◇おかしなゴミをその辺に捨てない。理由はその辺にゴミが落ちてると、汚いから。
- ◇ゴミをそこら辺に捨てない。理由は、公園に遊びに行くとゴミが落ちているから。
- ◇ゴミなどを外に捨てない事。その理由はゴミがたまにおちているからです。
- ◇ゴミをポイ捨てしない。理由は、道や草むらにゴミが落ちていることがよくあるからです。
- ◇ポイ捨てをしないこと。なぜなら歩道にゴミが落ちていて不快だから。
- ◇ポイ捨てなどはしないで、自然を守っていくように呼びかける。
- ◇環境を大切にす。理由は一日の生活が大切だから。
- ◇スポーツをやる人が増やすことで、スポーツをやっている人が多いからです。もっといろんなスポーツがあった方がいいと思います。
- ◇みんなが、決まりを守って過ごす。(飛び出しなど)理由は北塩原村でも事故がおきるから。
- ◇建物をもっと建てる。
- ◇交流フェスティバルでイベントがもっとちょっと多くてもいいと思う。

【裏磐梯小学校】

- ◇ゴミを捨てずきれいにす。
- ◇ゴミ拾いなどをして、キレイにしていくこと。
- ◇クリーンアップの活動を増やしたらいいと思います。なぜかという、歩いているとタバコなどがみつかるからです。
- ◇ゴミをあちこちに捨てないことと、空気をよごさないようにする。
- ◇クリーンアップ活動を増やし、少しでもゴミを減らしたらどうか。
- ◇ゴミを拾う。クリーンアップ活動の時、ゴミ(たばこなど)がたくさん落ちていたから。
- ◇学校でもやっているけど、村をきれいにすため、ゴミを拾ったり、できるだけリサイクルして観光客がふえるようにしたい。
- ◇もっと自然が豊かになってほしい。ゴミが落ちていたりするから。
- ◇スーパーマーケットがあれば、遠くまで行かなくても良いから。
- ◇お店です。目黒商店などありますが、もう少しお店があった方がいいと思います。
- ◇ゴミ拾いが必要だと思います。セブンイレブンの裏に自転車などが落ちていて汚かったから。
- ◇自然を大切にす、ゴミを減らす。ゴミが道などによく落ちているから。
- ◇ゴミ拾い。北塩原村にはゴミが落ちているから。
- ◇自然への思いやりが必要だと思います。なぜかという、たまに釣り上げた魚が捨ててあったり、ゴミが捨ててあって自然を汚したり、こわしたりする人がいるからです。
- ◇もっとゴミ拾いをする。あいさつを元気よくする。
- ◇自然を大切にす。外にゴミを捨てない。
- ◇すぐにゴミを拾って村をきれいにす。なぜなら、観光客が来た時に、きれいな村だと思われるから。
- ◇駐車場を増やす。駐車場が少なくて違うところで車をとめているところを見たから。

【第一中学校】

- ◇もう少し公共施設を増やしてほしい。何も無さすぎるから。
- ◇もっと活発な村にする。活発にしないとずっとこのままだから。
- ◇自動販売機やコンビニの設置。
- ◇もっと知名度を上げる。こういう事をしているんだと、知ってもらいたいから。
- ◇もっと挨拶をする事。挨拶をしたら今日一日楽しくできると思うから。
- ◇ゴミなどをポイ捨てしない。ゴミが落ちてたら拾う。
- ◇木をできるだけ切らない。生き物がへるから。
- ◇スーパーが必要。喜多方市に行くのが面倒だから。
- ◇ゴミが落ちていないかを確認する事、イベントは皆が集まってくるから、たまにゴミがおちていることがあるから。
- ◇ずっと元気である事。一人一人が挨拶をする事。
- ◇観光場所をもっと増やす。人がたくさんくるから。
- ◇道路をきれいにする。(割れているところがあり、危ないと思ったから。)
- ◇コンビニが北山にも出来るといいと思う。
- ◇ゴミを持ち帰る事でもっといい村になると思う。村のガソリンスタンドから街灯がなくて困っている人がいるから、つけたほうがいい。
- ◇最近ゴミがおちてたりするので、しっかりゴミ箱に捨ててほしい。
- ◇あいさつや、コミュニケーション
- ◇木とかをどんどん切っていくのではなく、木を切らないで自然をそのままにしてほしいと僕は考えてます。
- ◇活動をもっと活発にしてほしい。もっとアピールすると村中明るくなると思う。
- ◇店をふやす。店が少ないから。
- ◇店がほしい。(不便だから)
- ◇もう少しお店が増えてもいいと思います。
- ◇歩行者が歩ける場所がほしいです。最近交通関係がこわいので。
- ◇もっと皆の交友関係を良くする。
- ◇店を増やす。
- ◇もっといろいろな所にアピールすることが必要だと思う。あまり知られていないと思うから。
- ◇特にないです。
- ◇仕事を増やす。
- ◇ない。
- ◇村民との触れ合いの場を増やす。
- ◇挨拶。地域の繋がりを強くするため。
- ◇ゴミ拾い。ゴミが落ちているときがあるから。
- ◇広場。村がにぎやかになるから。
- ◇ゴミをポイ捨てしない。
- ◇地域の行事をもっと増やして、地域の人との交流を深める。
- ◇交通の便のよさ、街灯の設置。住んでいて不便だと感じたことがあるから。
- ◇コンビニ。近くにないから。
- ◇ゴミを拾う。たまに歩いているとゴミが落ちているから。
- ◇ゴミを減らす。道端にゴミが落ちているので、キレイな村だと言えないと思うから。見てて不愉快だから。
- ◇もう少し自然を大切に、情報系をもう少し取り込んでほしいです。
- ◇地域の繋がり。

【裏磐梯中学校】

- ◇ゴミをなくす。みんながもっと協力しあう。
- ◇ポイ捨ての看板とかが必要だと思います。理由はタバコの吸い殻や、ゴミをそこらへんに捨てている人がいるからです。
- ◇村民の声をきくべきです。上の人たちの意見だけで決めては困る人が絶対です。
- ◇暮らしやすくする。
- ◇北塩原一中と裏中を差別しないでほしい。裏磐梯でかせいでる金で北一中は良い思いをしている。だから裏中や裏磐梯をもっと良くして下さい。
- ◇人。年々人が減ってきているから。
- ◇村の環境を一定に保つこと。ゴミなどが落ちていたりするから。
- ◇ゴミ拾いをする必要があると思う。理由はクリーンアップ活動のとき、細かい所にゴミがあったから。
- ◇村の伝統を受け継いでいくことが大切。
- ◇隠し事などなく、何も悪いことしないとと言えるような人。
- ◇原発の風評被害をなくす。
- ◇村の人の意見を広く積極的に聞き入れ、その意見を少しでも多く生かすこと。
- ◇ゴミ拾いをする。
- ◇元気な挨拶。
- ◇国立公園だからと言って、自然をただほっておくと、どんどん景色が汚くなってしまうと思う。観光地をもっとキレイに保ち、お客さんがもっと楽しめるように工夫しないとお客さんが減ってしまう。
- ◇私はこのままでいいと思う。無理に木を切ったりして、建物を建てたりするのは少し違うと思うから。
- ◇村全体 Wi-Fi を（ちゃんとした）とばさなければならないと思います。あと街灯とか。
- ◇ゴミ捨て禁止の看板を作る。理由はクリーンアップ活動でゴミがいろいろな所にちらほらあって（主にタバコ）それなのに、ゴミ捨て禁止の看板はあまりなかったから。
- ◇ゴミ拾い。学校で行われたクリーンアップ活動で、ゴミが多かったのでもっと良い、キレイな北塩原村になると思います。
- ◇クリーンアップ活動などの活動をもっと増やす。村をもっとキレイにするため。
- ◇学校内だけかもしれませんが、まとまりがないです。もっと人の事を考えられる中学生、または大人であってほしいです。自分の事ばかり考えないでください。大人はもっと子供たちに教えてあげてください。お願いします。中学生は誰かに頼りすぎないで。
- ◇元気が必要。
- ◇人を増やす。自分からゴミ拾いをする。
- ◇無駄なことにお金を使わず、もっと村のためになること、教育などに使って下さい。剣ヶ峰のホテル（旅館？）を改修して、新しい建物か子供が遊べる公園などを作ってほしいからです。
- ◇クリーンアップ、村がキレイになるから。
- ◇ゴミを外に捨てない。
- ◇道路の照明。夜は暗くて不気味だから。
- ◇イベントや祭り、人を呼び寄せる行事をやる事が必要だと思います。理由は人がだんだん少なくなっているからです。
- ◇様々なイベントを通して、北塩原村をしってもらおう。
- ◇もっとクリーンアップ活動をしてほしいです。理由は、ゴミを見かける事がすごく多いので、自然を守るためにもクリーンアップ活動した方が良いと思います。

第四次北塩原村生涯学習推進計画

平成 30 年 3 月策定

編集・発行 北塩原村生涯学習推進本部

事務局 北塩原村教育委員会 公民館

住所 〒966-0402

福島県耶麻郡北塩原村大字大塩字下六郎屋敷 2134 番地

電話 0241-23-5236

FAX 0241-33-2522

Mail k-kouminkan01@vill.kitashiobara.fukushima.jp